

第Ⅳ章 無医地区等に働く保健婦の活動と アドミニストレーションの展望

——保健婦調査より——

はじめに

前章の中で、へき地における多様な健康問題が指摘され、へき地の保健婦活動を拡大し、充実する必要性の大きいことが明らかになったと思われる。本調査結果によれば、保健婦自身もその8割以上の者が、へき地における保健婦活動の拡大、充実の必要性を明らかにしている。が、それが実際にできるかどうかの見通しになると、6割前後の人が悲観的な展望をもっている（表Ⅳ-1）。確かにへき地における保健婦不足は深刻であり、足不解消への行政的努力等がまず急務であろう。行政管理庁は、この努力を促すように「保健対策に関する行政監察結果」を昭和53年10月に次のように報告している。すなわち、へき地をかかえる市町村に保健婦無配置が多いことを指摘し、それらを改善するとともに、配置が容易でないところには、過疎地域等保健婦及びへき地保健指導所保健婦（本来市町村配置になっている）をはじめとして、保健所保健婦の市町村駐在制の実施を勧告している。

しかし、愛媛県を除くと無医地区担当、島担当保健婦の現在の職場定着意識及び職業継続意識は、それ以外の地区の担当保健婦のそれらよりも若干低い傾向にある（表Ⅳ-2）。このことからみても、へき地を担当する市町村保健婦の確保や保健所保

健婦の市町村駐在は容易でないと思われる。そこで、まずへき地に働く保健婦の現在の活動体制等をみなおす必要がある。もしこの活動体制等の改善をする見通しが若干なりともつけば、へき地の保健婦不足解消への行政的努力も促されることになるだろう。本章はこのようなへき地の保健婦の現在の活動体制等のみなおしのための1つの試みにすぎない。

ところで、さきほど、無医地区、島に働く保健婦の職場定着意識、職業継続意識がそれ以外の地区の保健婦に比べて若干低い傾向にあるといった。しかし、それらの意識が高ければよい、というわけではないだろう。それらの地区で働く保健婦の活動内容そのものも問わなければならない。つまり、へき地の多様な健康問題の解決にこたえていく保健婦活動内容か否かが問われる。だが、保健婦活動の質的向上に積極的な人は、職場定着意識及び職業継続意識も高いともいえる（図Ⅳ-1, 2）。

そこで、本章では無医地区等に働く保健婦が、その地区での健康問題の解決にとって必要な活動を展開しうるために活動体制をどのように整える必要があるかを検討しようと思う。この検討方法については、私達は保健行動論³⁾、援助行動論⁴⁾を援用しようと思っているので、最初に保健婦の援助行動についての視点、またそのような視点で実施した調査の項目について説明しておきたい。

表 IV-1 保健婦業務の拡大・充実に関する比率
(百分率)¹⁾ ()内は実数

道県	担当地区	拡大・充実の必要があると思うもの		拡大・充実することができないと思うもの	
		無医地区	無医地区以外	無医地区	無医地区以外
北海道	担当地区	85.7 (66)	—	53.0 (35)	—
	無医地区以外	—	—	—	—
秋田県	担当地区	88.0 (81)	84.5 (142)	60.5 (49)	51.4 (73)
	無医地区以外	—	—	—	—
新潟県	担当地区	81.1 (43)	75.0 (36)*	65.1 (28)	69.4 (25)*
	無医地区以外	—	—	—	—
県	担当地区	島	島以外	島	島以外
	愛媛県	86.3 (44)	88.2 (179)	59.1 (26)	68.7 (123)
鹿児島県	85.2 (52)	88.7 (118)	73.1 (38)	58.5 (69)	

* 新潟県は都市部の保健婦のみであり、以下の各表について同様であるが、注記は略す。

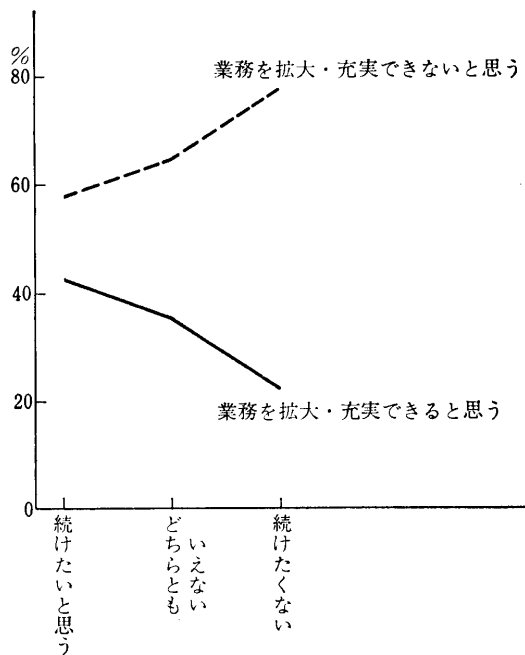


図 IV-1 今の職場で働き続けたいと思うかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)

序節 検討のための視点

保健婦としての活動の目標は、保健行動論から定義風にいえば、対象の所与の状況における適合的な (fitted) 保健行動を求める「(身体的, 心理的, 社会的, 経済的) 動機」を支持し、その充足

表 IV-2 職業及び職場継続意志に関する比率
(百分率)²⁾ ()内は実数

道県	担当地区	今の職場で仕事を継続したくない		保健婦の仕事を継続したくない	
		無医地区	無医地区以外	無医地区	無医地区以外
北海道	担当地区	23.4 (18)	—	15.6 (12)	—
	無医地区以外	—	—	—	—
秋田県	担当地区	16.3 (15)	13.1 (22)	14.2 (13)	8.9 (15)
	無医地区以外	—	—	—	—
新潟県	担当地区	15.1 (8)	4.2 (2)	17.0 (9)	20.9 (10)
	無医地区以外	—	—	—	—
道県	担当地区	島	島以外	島	島以外
	愛媛県	21.6 (11)	23.2 (47)	9.8 (5)	18.7 (38)
鹿児島県	18.0 (11)	9.8 (13)	11.5 (7)	7.5 (10)	

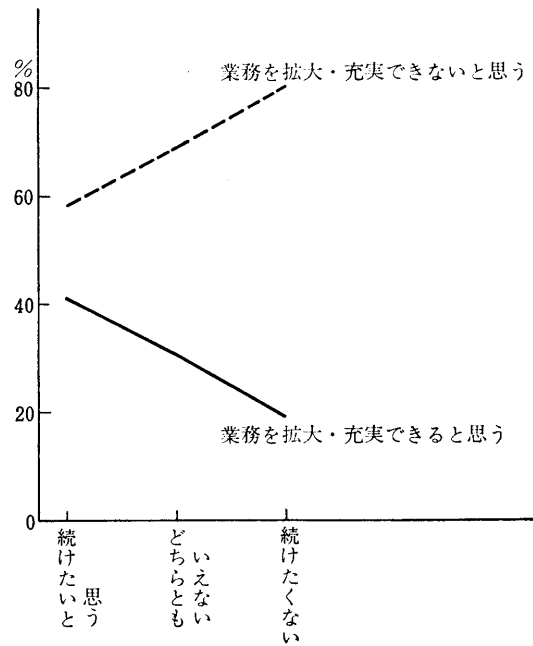


図 IV-2 仕事を続けたいと思うかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)

を妨げる「負担」を軽減、除去するために、保健・看護における技術・技能及び資源を適用し、それらを通じて対象自身がそのような適合的な行動を生活習慣の中で自然に自己調整できるあり方を援助することにあるといえよう。といっても、このような目標をもった活動を遂行するのは容易な

ことではない。確かにいくつかの事例についてはこのような難しい定義をしなくても、実際上保健婦は意図することなく、そのような活動目標にそった援助をしている場合があるだろう。しかし他方では、このような活動目標をわかっているか、否、わかっている故にだろう、保健婦は責任を感じて対象に対して自己防衛し、援助にはならない行為もみられる（このことについて詳しくは他の論稿⁵⁾をみられたい）。

そこで、このような目標にたつた活動を遂行するには、その活動を支援する機能が必要となる。このような機能をアドミニストレーションと称するならば、その機能は援助行動論からみて次のように定義される。つまり、前述の活動目標にそった保健婦の対象への適切な援助の行動を遂行しようとする「動機」が支持され、その充足を妨げる「負担」が軽減、除去されるために、アドミニストレーション技術・技能及び資源が適用され、同時にそれを通じて保健婦としての援助における基本姿勢⁶⁾及び技術・技能を習得し、所与の状況の中での適切な援助行動を活動習慣の中で自己調整できるよう、支援されることである。へき地での保健婦活動に期待されている仕事の責任は重く、またその責任を果すために必要な資源もきわめて不足しており、保健婦活動に伴う不安が大きいわれ、このようなアドミニストレーション機能の充実はきわめて必要だろう。しかし、うまく支援されれば所与の状況の中で適切な援助活動を自己調整できる保健婦として、能力を大きく成長させることになるだろう。このように本章では、無医地区等の保健婦活動に対するアドミニストレーションという視点から、従来の活動体制等を再検討しようとしている。

では、このような視点からみた各調査項目につ

いて説明しておきたい。保健婦が所与の状況の中で適切な援助行動を求める動機に影響を与えるアドミニストレーション上重要な要因として次のものを仮定した。すなわち保健婦が、自らの援助のもつ役割に意義を見出し、それにこたえようとする意欲があり、またその役割を自分なりにうまく遂行できているというみとうし感をもっていることである。これらについては、それぞれの保健婦が自分の今の仕事に生きがい、誇り、満足感、思いどおりにおこなえている感じがあるかどうかという調査項目から得た指標でとらえようとしていた。これらの要因は、図Ⅳ-3、4、5、6にみられるように地域の住民に必要な保健婦業務の拡大、充実についてのそれぞれの保健婦の動機を高めている。次に、このような援助行動の動機に影響するアドミニストレーション上の要因について整理し、それらについて無医地区担当、島担当の保健婦の場合とそれら以外の地区担当保健婦の場合とを比較しようとした。

また、そのような援助行動の動機の充足を妨げる「負担」について、物理的、経済的、心理的、社会的な面から、それぞれ調査し、それらの負担要因が、住民に必要な保健婦業務の拡大、充実についての可能性をどのように妨げているかを明らかにしようとした。そして、この動機充足を妨げる負担要因に影響するアドミニストレーション上の要因を無医地区等担当保健婦の場合について検討してみた。

ところで、適切な援助行動を求める「動機」と「負担」を活動習慣の中で自己調整していく能力を自分自身で養うという体制が支援されることは、アドミニストレーション上重要である。このことについては、業務姿勢の改善を目的とした研修会参加有無等を指標としてとらえようとした。

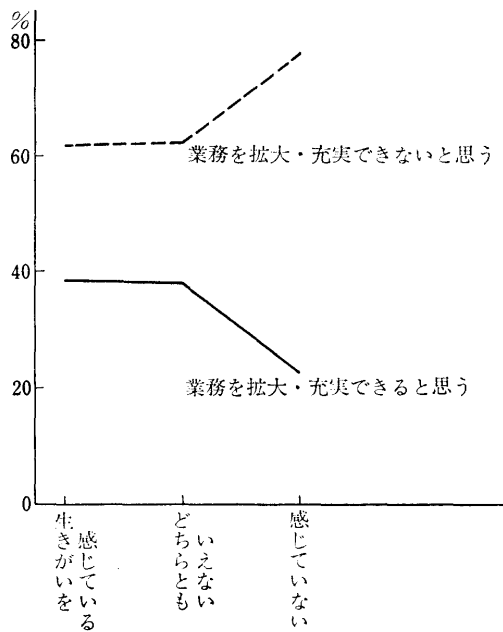


図 IV-3 仕事に対する生きがい
(業務の拡大・充実の可能性別)

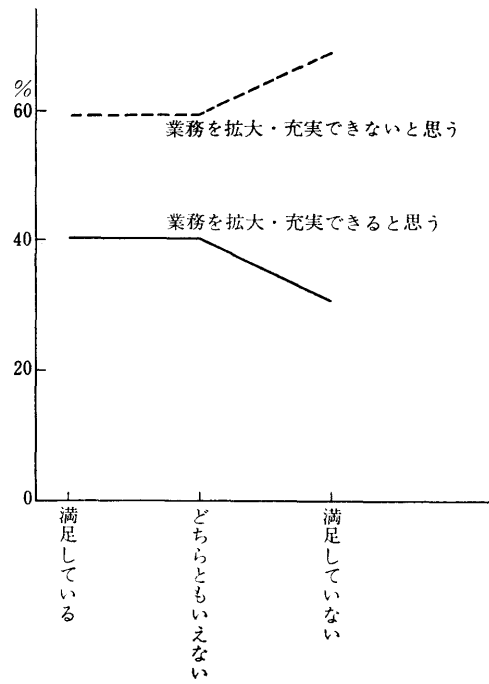


図 IV-5 仕事への満足感
(業務の拡大・充実の可能性別)

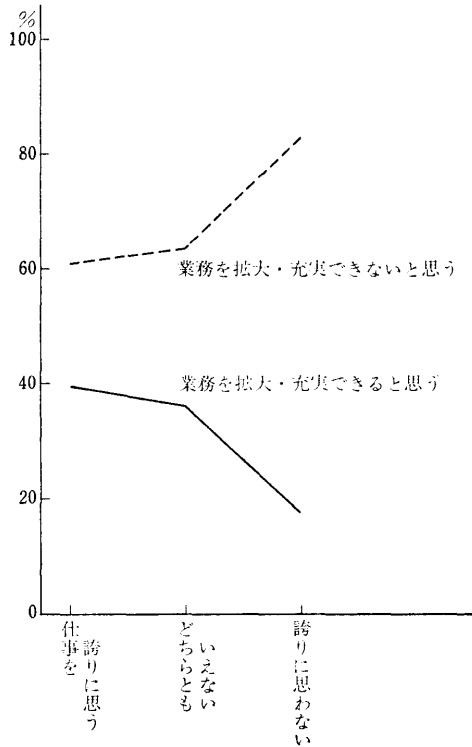


図 IV-4 仕事への誇り
(業務の拡大・充実の可能性別)

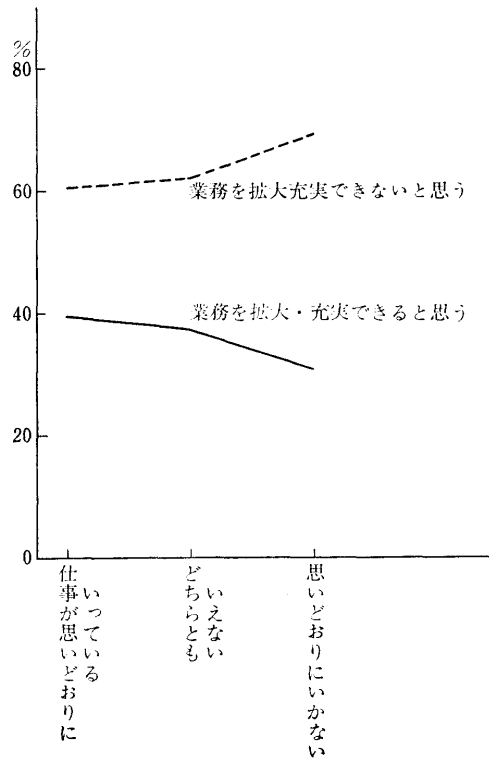


図 IV-6 仕事は思いどおりにいっているかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)

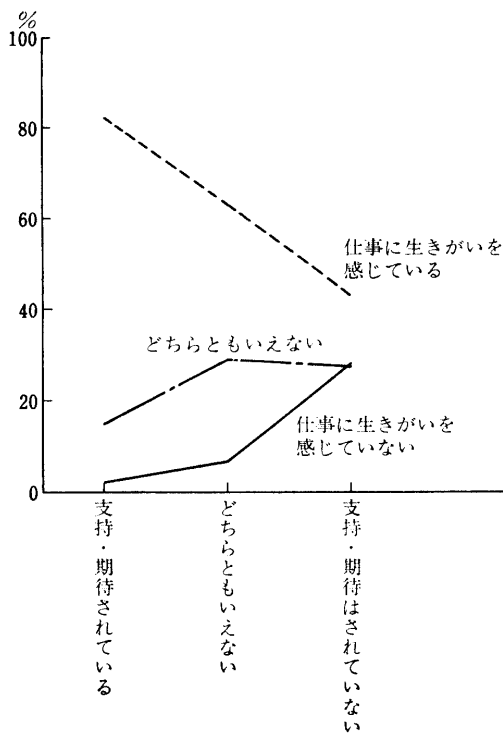


図 IV-7 地域住民の支持・期待 (仕事に対する生きがい別)

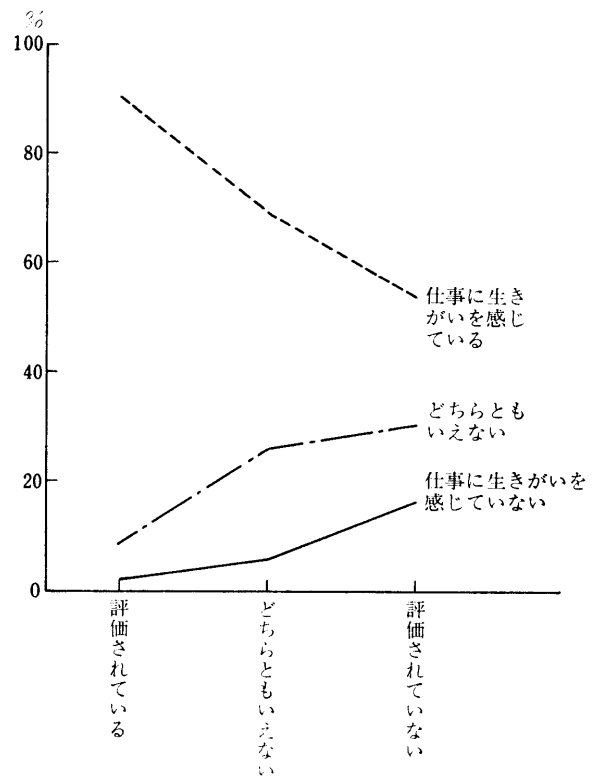


図 IV-9 医師からの評価 (仕事に対する生きがい別)

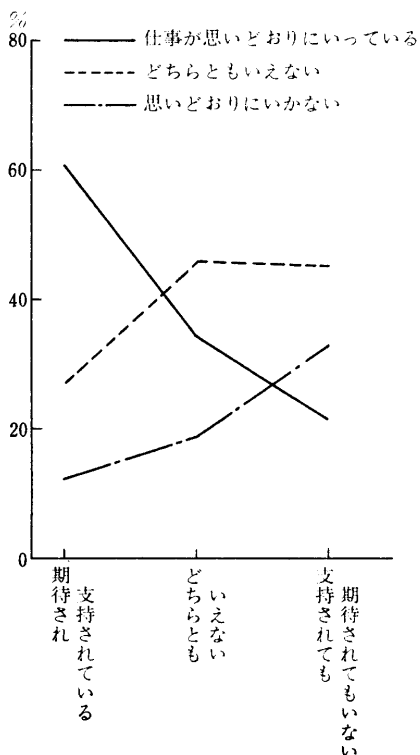


図 IV-8 地域住民から期待され支持されているかどうか (仕事が思いどおりにいっているかどうか別)

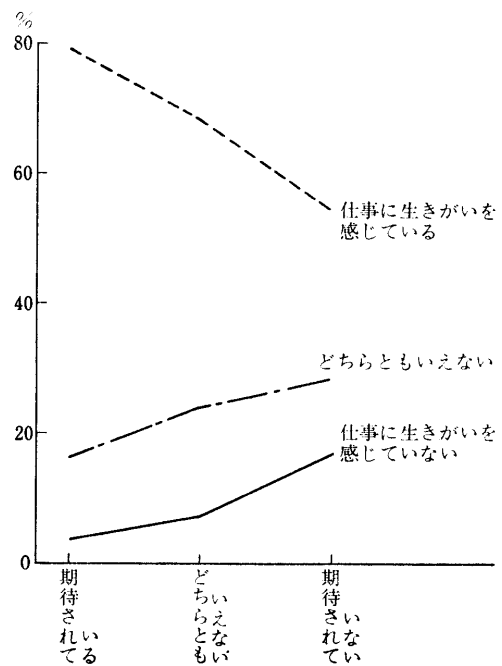


図 IV-10 ホームヘルパーからの期待 (仕事に対する生きがい別)

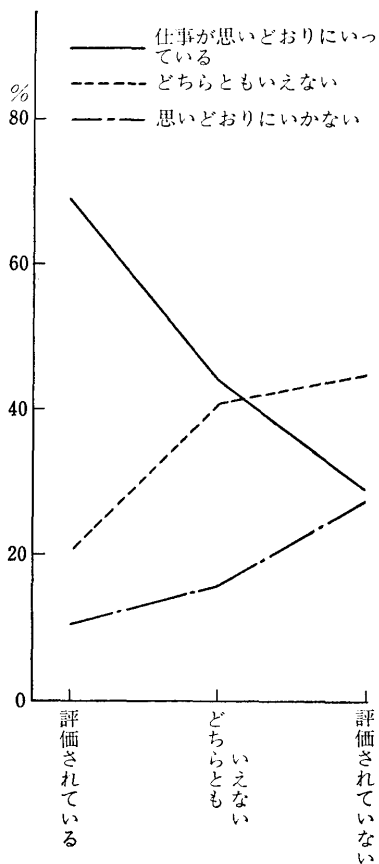


図 IV-11 地域の医師からの評価
(仕事は思いどおりにいっているかどうか別)

最後に、これらの検討をふまえ、無医地区等に働く保健婦を支援する今後のアドミニストレーション体制を展望しようとしている。

第1節 無医地区等保健婦活動としての援助行動の動機と支援体制

前述のように保健婦活動としての援助行動についての主たる動機要因として、自らの援助のもつ役割に意義を見出し、それにこたえようとする意欲があり、自分なりにうまく役割遂行できているという見通し感をもっているということを仮定した。この動機要因については本調査では保健婦が自分の今の仕事に生きがい、誇り、満足感、思いどおりにおこなえている感じをもっているかどうかという指標でみようとしているが、この指標

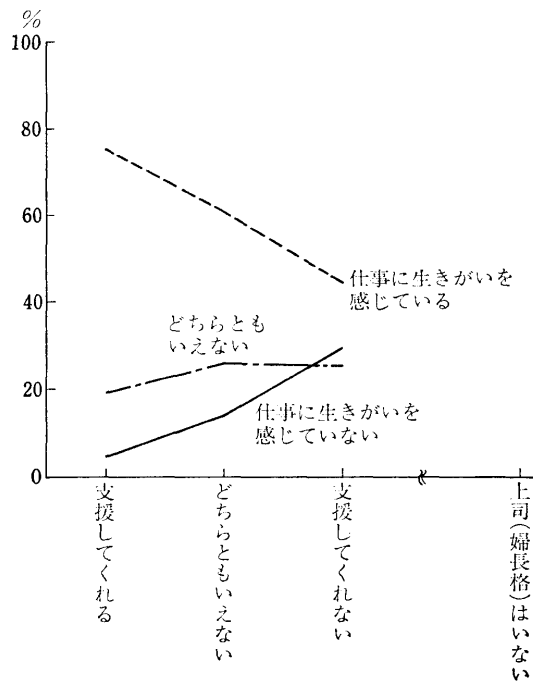


図 IV-12 上司(婦長格)の支援
(仕事に対する生きがい別)

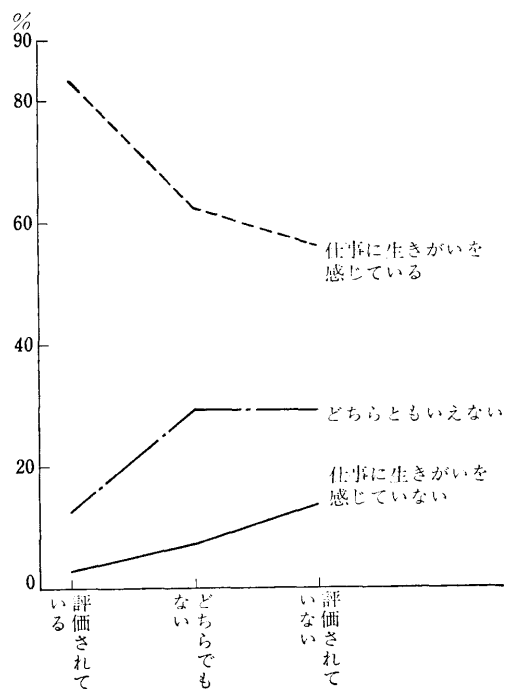


図 IV-13 理事者, 上級幹部の評価
(仕事に対する生きがい別)

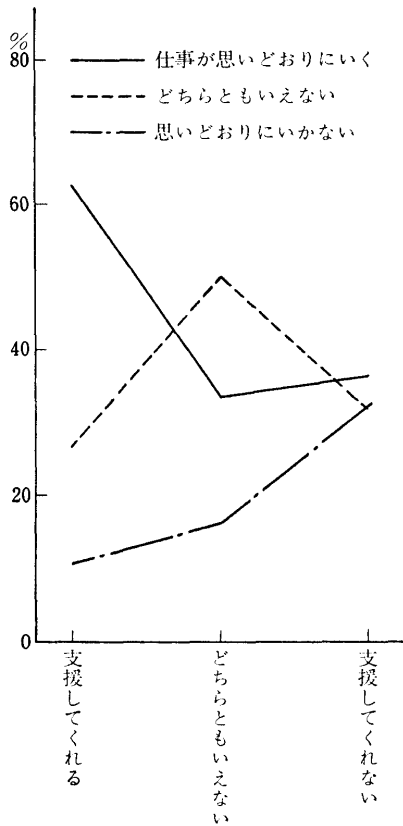


図 IV-14 上司（課長格）が支援してくれるかどうか
(仕事は思いどおりにしているかどうか別)

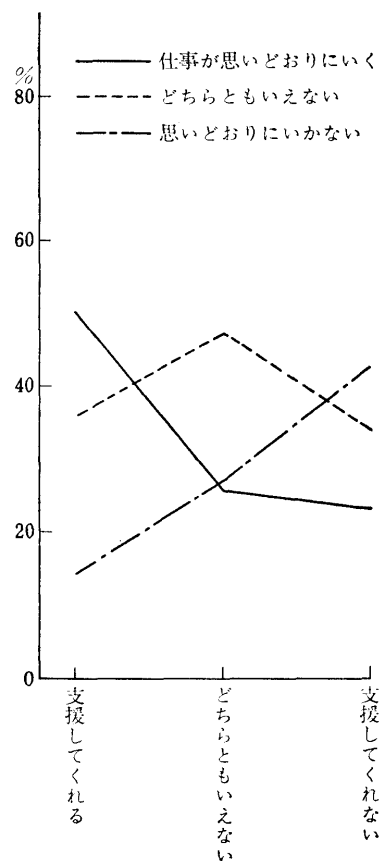


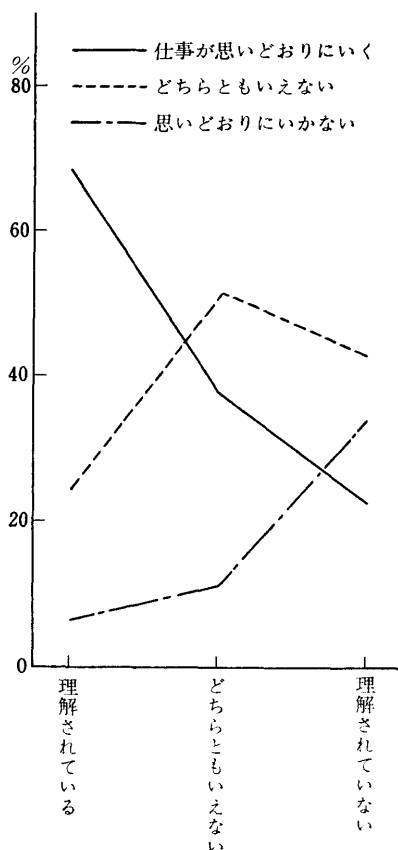
図 IV-15 上司（婦長格）が仕事を支援してくれるかどうか
(仕事は思いどおりにしているかどうか別)

に関連の深いアドミニストレーション上の要因に、地域住民等の支持や期待、上司からの支援、研修会や学会への参加、相談者の有無等がある。まず地域住民等の支持や期待の要因についてであるが、保健婦が自分の仕事（役割）について地域の住民や地区組織（部落会、婦人会など）に支援され、期待されていると感じている場合は、自分の今の仕事に生きがい、思いどおりにおこなえている感じをもっていることが多くなる（図IV-7, 8）。地域の医師やホームヘルパーに評価されたり、期待されたりしている、と感じられる場合も同様である（図IV-9, 10, 11）。次に、上司からの支援の要因についてであるが、保健婦が自分の仕事を上司（課長格、婦長格）が支援してくれていると感じている場合や理事者や上級幹部に理解されたり、

評価されたりしていると感じている場合は、自分の今の仕事に生きがいや思いどおりにおこなえている感じをもっていることが多い（図IV-12, 13, 14, 15, 16）。

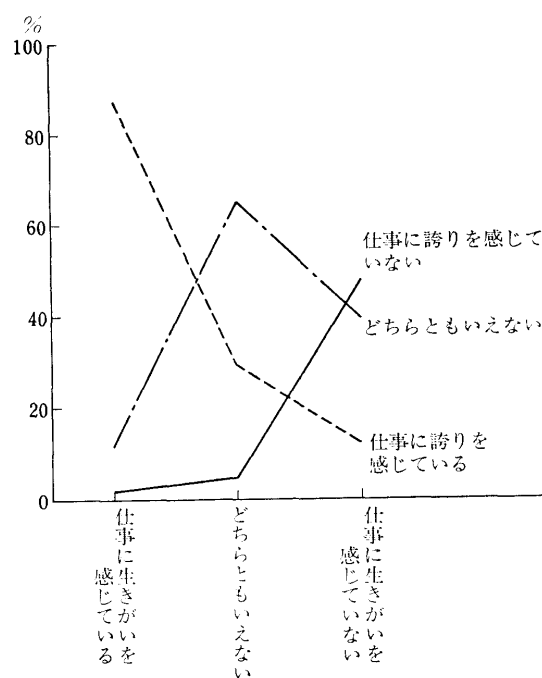
また、仕事への誇り、満足感を感じているかどうかについては、仕事に生きがいを感じているかどうかとの関連が強く（図IV-17, 18）、仕事への生きがいについてのアドミニストレーション要因の場合と同様の傾向がみられる。

ところで、これらの指標について、無医地区担当保健婦についてみるならば、それ以外の地区と比べ、県、所属による差があるが、大勢は地域住民等から支援、期待され、上司から支援されていることが多いといえる（表IV-3, 4, 5, 6, 7, 8, 9）。

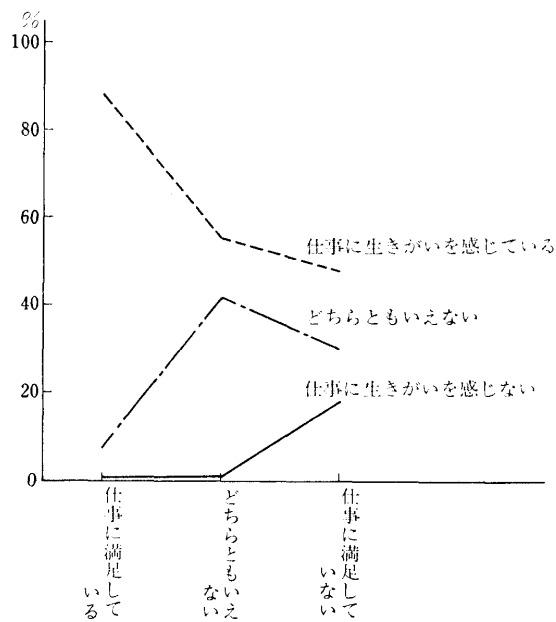


図IV-16 理事者、上級幹部に理解されているかどうか
(仕事がいとおりにいっているかどうか別)

従って、概して無医地区担当保健所保健婦の仕事への生きがいや誇りや満足感等は無医地区以外の地区の場合に比べて高い(表IV-10, 11, 12, 13)。無医地区担当保健婦については、この面での援助行動への動機づけが強いといえよう。しかし、無医地区担当の市町村保健婦については、婦長格の上司から支援されていると感じる者が無医地区以外を担当する保健婦に比べて少なく、仕事への生きがい、満足感においても同様に少ない果もでている(表IV-9, 10, 11)。このことから推して、無医地区をもつ市町村の婦長格の部下の仕事に対する支援のあり方に改善の余地があると思われる。実際、市町村では婦長がいなかったり、婦長はいてもスタッフと同じ格づけだったりしており、保



図IV-17 仕事に対する誇り
(仕事への生きがい別)



図IV-18 仕事に対する満足感
(仕事への生きがい別)

健婦の人事、予算等に直接に影響をもつ保健婦資格の上司がいない問題がある(第I分冊表C-15)。また愛媛県無医地区担当の保健所保健婦については、課長格の上司、幹部・理事からの理解や支援を感じている者が、無医地区以外担当の場合に比

表 IV-3 地域住民からの支持・期待があると思う比率（百分率）

（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	72.7 (8)	73.4 (47)	50.0 (16)	62.7 (37)	60.0 (3)	56.5 (26)	58.8 (20)	68.6 (35)	56.8 (21)	67.5 (27)
無医地区以外	/	/	50.0 (23)	64.3 (63)	31.3 (5)	44.1 (26)	42.1 (24)	67.7 (65)	45.0 (27)	63.6 (21)

表 IV-4 地区組織からの支持・期待があると思う比率（百分率）

（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	63.6 (7)	76.6 (49)	59.4 (19)	66.1 (39)	40.0 (2)	60.9 (28)	52.9 (18)	66.7 (34)	45.9 (17)	62.5 (25)
無医地区以外	/	/	43.5 (20)	68.4 (67)	43.8 (7)	42.4 (25)	35.1 (20)	57.3 (55)	38.3 (23)	51.5 (17)

表 IV-5 医師から評価されていると思う比率（百分率）

（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	36.4 (4)	39.1 (25)	34.4 (11)	23.7 (14)	—	41.3 (19)	32.4 (11)	35.3 (18)	54.1 (20)	35.0 (14)
無医地区以外	/	/	23.9 (11)	32.7 (32)	18.8 (3)	37.3 (22)	28.1 (16)	37.5 (36)	31.7 (19)	36.4 (12)

表 IV-6 ヘルパーから期待されていると思う比率（百分率）

（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	54.5 (6)	54.7 (35)	28.1 (9)	59.3 (35)	60.0 (3)	58.7 (27)	38.2 (13)	45.1 (23)	29.7 (11)	65.0 (26)
無医地区以外	/	/	30.4 (14)	49.0 (48)	62.5 (10)	55.9 (33)	24.6 (14)	38.5 (37)	25.0 (15)	69.7 (23)

表 IV-7 理事・幹部に理解されていると思う比率（百分率）

（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	63.6 (7)	35.9 (23)	62.5 (20)	42.4 (25)	60.0 (3)	50.0 (23)	52.9 (18)	62.7 (32)	70.3 (26)	67.5 (27)
無医地区以外	/	/	58.7 (27)	37.8 (37)	31.3 (5)	40.7 (24)	56.1 (32)	43.8 (42)	68.3 (41)	60.6 (20)

表 IV-8 上司（課長格）から支援されていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	27.3 (3)	21.9 (14)	53.1 (17)	50.8 (30)	40.0 (2)	54.3 (25)	35.3 (12)	62.7 (32)	62.2 (23)	72.5 (29)
無医地区以外	/	/	52.2 (24)	48.0 (47)	25.0 (4)	45.8 (27)	50.9 (29)	47.9 (46)	50.0 (30)	57.6 (19)

表 IV-9 上司（婦長格）から支援されていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	45.5 (5)	31.3 (20)	71.9 (23)	25.4 (15)	40.0 (2)	54.3 (25)	58.8 (20)	41.2 (21)	78.4 (29)	25.0 (10)
無医地区以外	/	/	69.6 (32)	45.9 (45)	56.3 (9)	72.9 (43)	54.4 (31)	35.4 (34)	70.0 (42)	30.3 (10)

表 IV-10 仕事に生きがいを感じていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	72.7 (8)	75.0 (48)	71.9 (23)	55.9 (33)	80.0 (4)	63.0 (29)	73.5 (25)	68.6 (35)	86.5 (32)	92.5 (37)
無医地区以外	/	/	69.6 (32)	69.4 (68)	62.5 (10)	71.2 (42)	70.2 (40)	72.9 (70)	68.3 (41)	78.8 (26)

表 IV-11 仕事に満足していると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	63.6 (7)	60.9 (39)	56.3 (18)	37.3 (22)	80.0 (4)	37.0 (17)	52.9 (18)	60.8 (31)	62.2 (23)	62.5 (25)
無医地区以外	/	/	56.5 (26)	45.9 (45)	37.5 (6)	59.3 (35)	49.1 (28)	43.8 (42)	58.3 (35)	57.6 (19)

表 IV-12 仕事に誇りを感じていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	81.8 (9)	75.0 (48)	71.9 (23)	61.0 (36)	60.0 (3)	63.0 (29)	73.5 (25)	68.6 (35)	81.1 (30)	85.0 (34)
無医地区以外	/	/	78.3 (36)	69.4 (68)	50.0 (8)	59.3 (35)	61.4 (35)	64.6 (62)	70.0 (42)	81.8 (27)

表 IV-13 仕事が思いどおりにいっていると思う比率（百分率）

()の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	45.4 (5)	48.4 (31)	53.1 (17)	52.5 (31)	40.0 (2)	52.2 (24)	29.4 (10)	58.8 (30)	45.9 (17)	57.5 (23)
無医地区以外	/	/	45.7 (21)	39.8 (39)	25.0 (4)	49.2 (29)	36.8 (21)	46.9 (45)	46.7 (28)	60.6 (20)

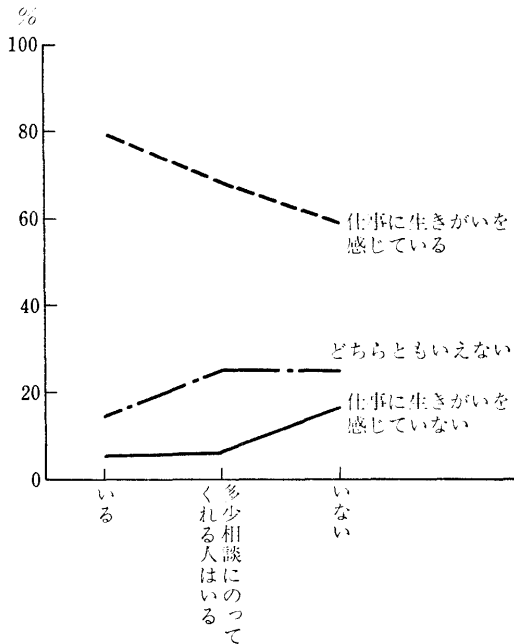


図 IV-19 日常の業務について相談にのってくれる人の有無
(仕事に対する生きがい別)

べて少なく、仕事が思いどおりにいっていると思う者も同様に少なくなっている（表-7, 8, 13）。

次に、研修会や学会への参加、相談者の有無についてであるが、研修会や学会への参加が多く、そのことに理解のよい上司がいる場合や、仕事についての相談者がいる保健婦はそうでない者に比べ、仕事に生きがいや思いどおりにおこなえている感じを強くもつ傾向にある（図 IV-19, 20, 21）。ところで、無医地区、島担当の保健婦は、それら以外の地区の担当者に比べ、研修会や学会への参加回数が明らかに低い県があり、また仕事についての相談者は全般的に少ないといえる（第 I 分冊

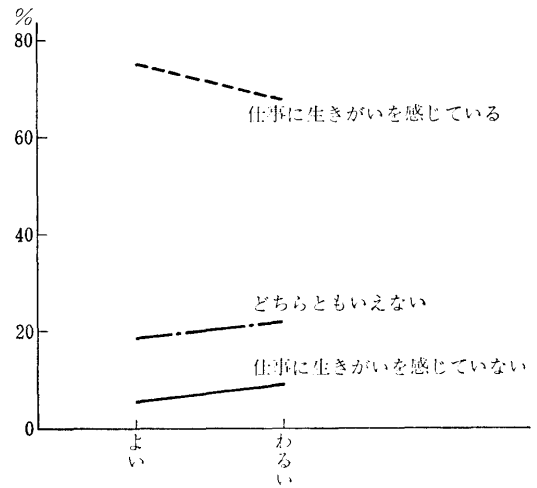


図 IV-20 研修会、学会への参加についての上司の理解
(仕事に対する生きがい別)

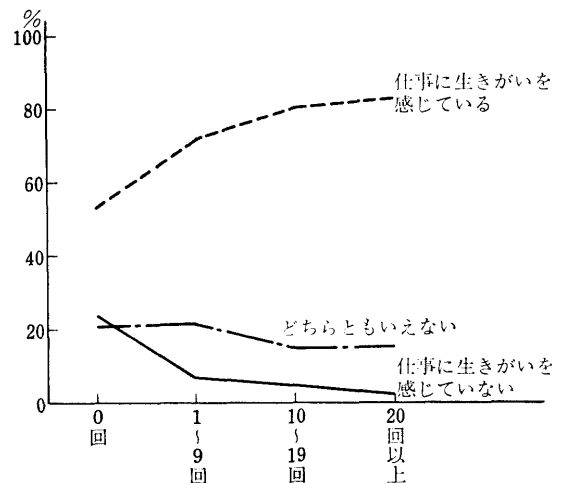
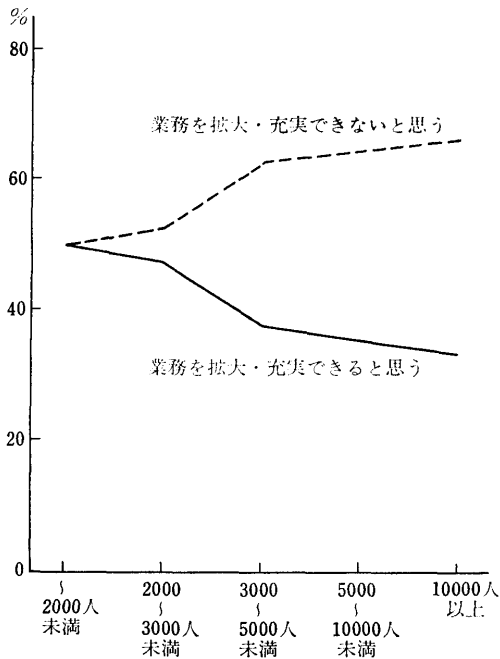
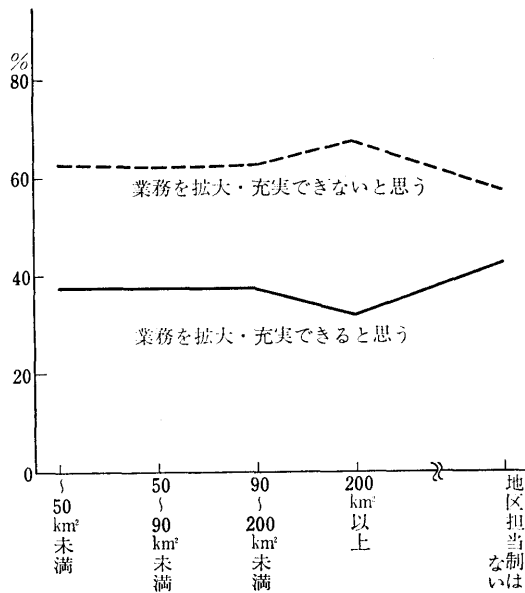


図 IV-21 研修会、学会への参加回数
(仕事に対する生きがい別)

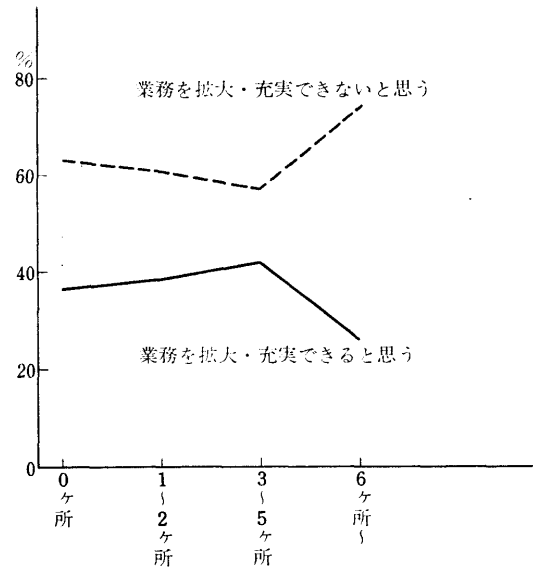
表 C-80)。研修会や学会への参加についての上司の理解も必ずしもよいとはいえない（第 I 分冊表 C-77）。無医地区担当、島担当保健婦の、この面



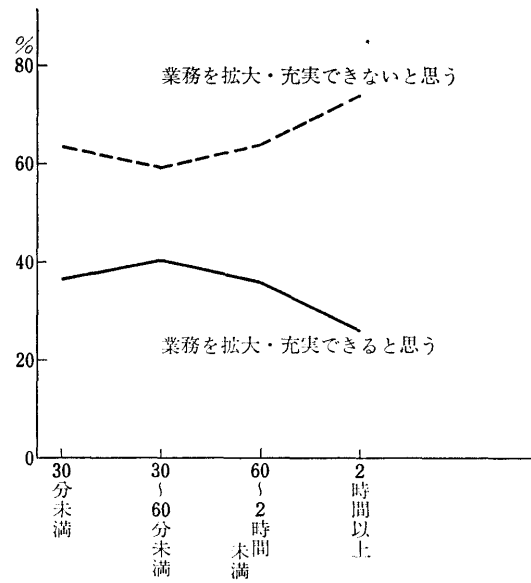
図IV-22 担当地区の人口
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-23 担当地区の面積
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-24 担当無医地区数
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-25 最も遠い担当地区への所要時間(夏)
(業務の拡大・充実の可能性別)

における援助行動の動機支援に弱い面があり、研修・相談体制の再検討が必要と思われる。

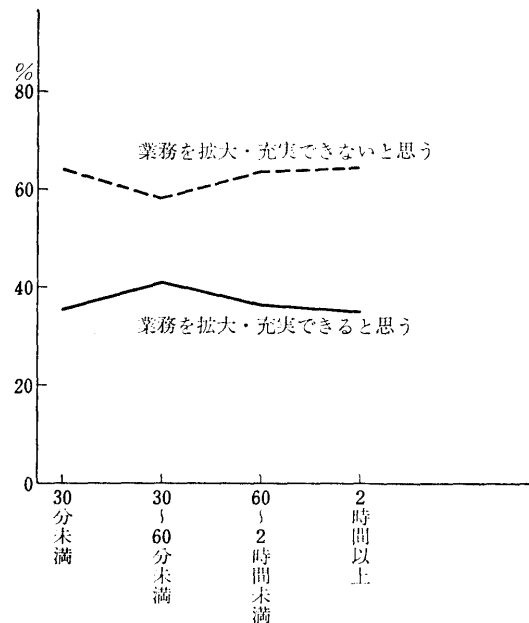
第2等 無医地区等保健婦活動としての援助行動の負担と支援体制

私達は保健婦活動としての援助行動の動機充足を妨げる負担要因として、大きく物理的、経済的、社会的、心理的な要因を考え、地域、職場、家庭の場においてそれぞれ検討しようとした。そして、それらの負担要因が、住民に必要な保健婦業務の拡大、充実についての見通しをどれだけ妨げているかについて明らかにしようとした。

1. 保健婦活動における人口的、地理的、気象的制約

保健婦の活動における担当地区の人口や面積が余りにも大きく、担当する無医地区がかなり多いときや、担当地区への所要時間が多くかかり、接近が困難なとき等は、行動の負担が大きく、保健婦活動において制約される面がつよい。それらの地域を担当する保健婦は、住民に必要な保健婦業

務を拡大、充実できない意識を強める傾向にある(図IV-22, 23, 24, 25, 26)。たとえば、また担当地区の人口が3,000人をこえると、必要な業務の拡大、充実の可能性を低めるし(図IV-22)、担当面積が200km²をこえたり、担当地区への所要時間が1時間をこえたりするときも同様の傾向がみられる(図IV-25)。



図IV-26 最も遠い担当地区への所要時間(冬)
(業務の拡大・充実の可能性別)

表IV-14 担当地区の人口5,000人以上の比率(百分率) ()の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	54.5 (6)	32.8 (21)	71.9 (23)	47.5 (28)	20.0 (1)	23.9 (11)	64.7 (22)	62.7 (32)	97.3 (36)	92.5 (37)
無医地区以外	—	—	76.1 (35)	36.7 (36)	87.5 (14)	64.4 (38)	56.1 (32)	60.4 (58)	86.7 (52)	78.8 (26)

表IV-15 地区面積200km²以上の比率(百分率) ()の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	45.5 (5)	35.9 (23)	46.9 (15)	11.9 (7)	0.0 (0)	4.3 (2)	14.7 (5)	0.0 (0)	16.2 (6)	0.0 (0)
無医地区以外	—	—	10.9 (5)	5.1 (5)	6.3 (1)	1.7 (1)	7.0 (4)	4.2 (4)	6.7 (4)	12.1 (4)

表 IV-16 最も遠い担当地区への所要時間が60分以上(夏)の比率(百分率)

()の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	27.3 (3)	15.6 (10)	71.9 (23)	23.7 (14)	—	19.6 (9)	67.6 (23)	29.4 (15)	43.2 (16)	30.0 (12)
無医地区以外	—	—	39.1 (18)	15.3 (15)	6.3 (1)	6.8 (4)	31.6 (18)	19.8 (19)	31.7 (19)	15.2 (5)

表 IV-17 公用車をスムーズに使うことができないの比率(百分率)

()の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	9.1 (1)	6.3 (4)	31.3 (10)	10.2 (6)	20.0 (1)	21.7 (10)	8.8 (3)	15.7 (8)	21.6 (8)	10.0 (4)
無医地区以外	—	—	21.7 (10)	13.3 (13)	18.8 (3)	16.9 (10)	17.5 (10)	16.7 (16)	23.3 (14)	9.1 (3)

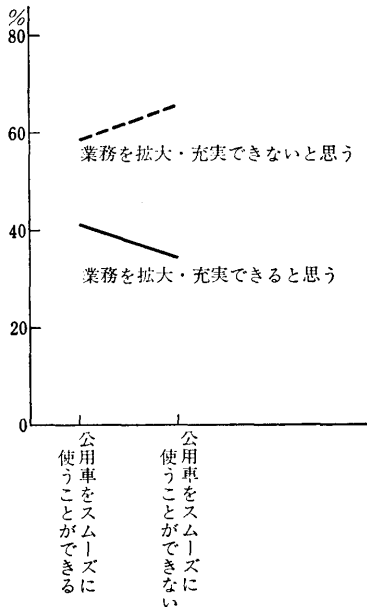


図 IV-27 公用車をスムーズに使うことができるかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)

ところで、これらの条件について、無医地区担当、島担当の保健婦の場合を検討してみると、無医地区、島だからといって担当人口が少ないということはない(第I分冊表C-39)。確かに北海道、新潟県の無医地区担当保健婦の1人当たり担当平均人口はそれぞれ5,987人、4,386人と、左程多く

ないが、秋田県が7,652人、愛媛県の島担当の場合11,853人、鹿児島県の島担当の場合11,056人とそれぞれの全県平均をうわまわっており、とりわけ島を担当している場合の担当平均人口は大きい。また愛媛県、鹿児島県の場合は2万人以上担当する者も少なくはなく、それぞれ23.5%、18.2%となっている。これらについてはどちらかという、市町村保健婦より保健所保健婦の担当平均人口の方が若干多い(表IV-14)。

次に担当面積についてであるが、無医地区担当、島担当保健婦の1人当たり担当平均面積は広い。とりわけ北海道は広く、142 km²であり、次いで秋田県が108 km²、新潟県69 km²、鹿児島県85 km²、愛媛県39 km²となっている。とくに200 km²以上のものは、北海道で36.3%、秋田県25.1%、鹿児島県で9.8%にもなっている。このように、北海道の場合は人口よりもむしろ面積の広さによる活動の制約があり、愛媛県の場合は、面積よりも、人口の大きさによる制約がある。鹿児島県は人口の大きさに加えて面積も狭くはないので、活動の制約が大きいことが予想される。また、それぞれの道県に共通して保健所保健婦の担当面積が

大きいといえる（表Ⅳ-15）。

また、1人当りで担当する無医地区数であるが、6カ所以上のところは北海道7.8%、新潟県13.2%、鹿児島県6.5%となっている。

次に担当地区への夏の平均片道所要時間であるが、島担当者の場合は長く、鹿児島県、愛媛県それぞれ197.5分、58.0分であり、新潟県(夏)42.6分、秋田県(夏)41.5分、北海道(夏)38.7分となっている。とりわけ保健所保健婦の場合は長い（表Ⅳ-16）。北海道は前述のように面積が広大なため機動力として車の使用が多く、94.8%（そのうち公用車は93.5%）にもなっている。秋田県(夏)、新潟県(夏)、鹿児島県も車を用いることが80%近くあり、その他徒歩、バイク、鉄道等が用いられている。

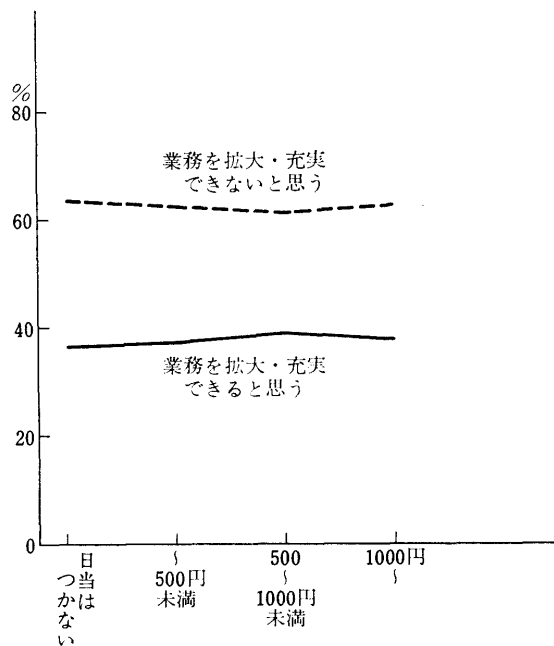
ところで、図Ⅳ-27から分かるように、公用車をスムーズに使えないことは必要な保健婦業務の拡大、充実の可能性を低めることも予想されるが、秋田県、鹿児島県、新潟県の保健所保健婦、新潟県の市町村保健婦の場合スムーズに公用車を用い

ることができないと答える人が多い。しかし、北海道はわりとスムーズに公用車が用いられているようだ（表Ⅳ-17）。

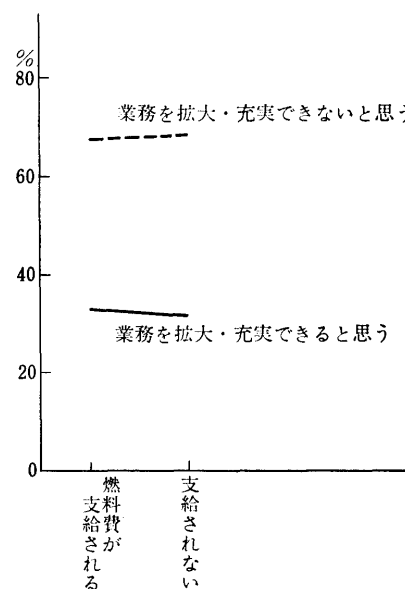
また、愛媛県や鹿児島県のように島へ赴く必要のある場合は、機動力としては定期船が主であり、他に愛媛県では公用艇をつかい、鹿児島県ではまれに飛行機をつかうこともあるようだ。しかし季節風のため訪問できないこともあり、鹿児島県の場合21.3%の保健婦がそのような経験を1～3回している。

冬の場合は、やはり新潟県の担当地区への所要時間が長くなり、105.0分であり、秋田県60.7分、北海道44.2分となり、積雪期、車が使えない場合の機動力は新潟県では徒歩（複数回答73.6%）、雪上車（同34.0%）が主で、北海道は徒歩（同22.1%）、スキー（同6.5%）、秋田県は徒歩（同30.4%）が主となっている。

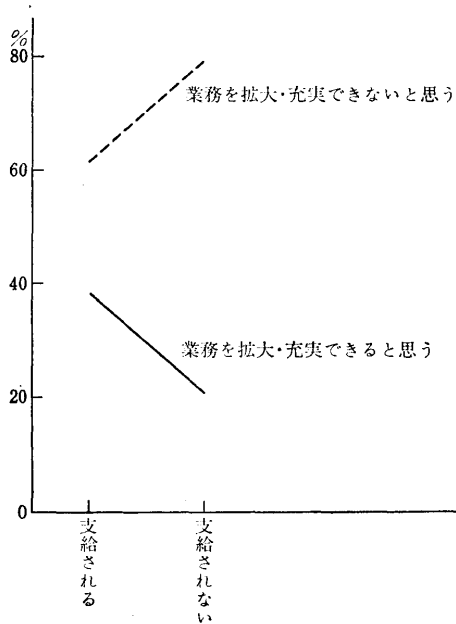
冬、積雪のため家庭訪問をしようとしてできなかった経験者も少なくはなく、北海道、新潟県では40%強の人がそのような経験を1～6回してい



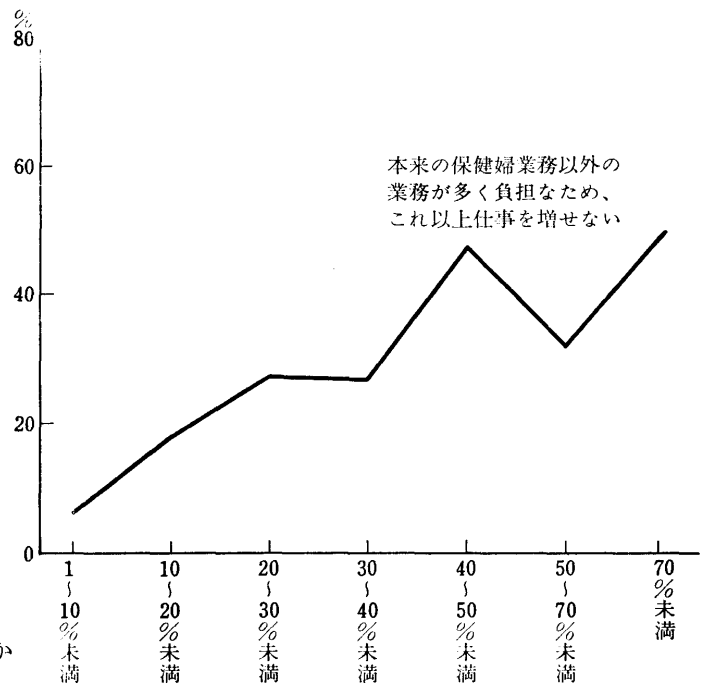
図Ⅳ-28 出張の際の日当 (業務の拡大・充実の可能性別)



図Ⅳ-29 自家用車の燃料費が支給されるかどうか (業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-30 出張旅費がほぼ全額支給されるかどうか (業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-31 全業務中の事務業務の割合 (業務の拡大・充実が不可能な理由別)

るし、10%のものが10回以上経験している。

このように保健婦活動における人口的、地理的、気象的な制約は、豪雪地、広大地、離島においては大きく、また多様性があるが、とりわけ問題の大きなものは、鹿児島県の島や無医地区の担当人口の大きさや対象人口への接近の困難性であり、新潟県無医地区の冬期の接近の難しさであると思われる。新潟県、北海道、鹿児島県が1人当り地区担当無医地区数が多い問題もみのがせない。またこれらを保健婦の所属別にみると、活動の人口的、地理的、気象的制約については、市町村保健婦よりも保健所保健婦の問題が大きい、といえそうである。

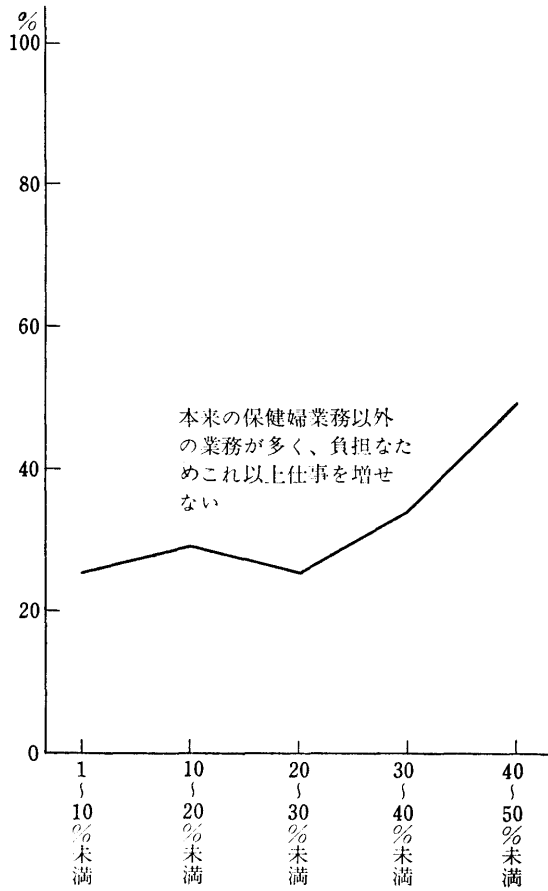
2. 保健婦活動における経済的制約

保健婦活動に伴う経済的負担として、旅費、車の燃料費、日当等に関する要因が考えられる。そこで、これらの要因と必要な業務を拡大、充実することができるかについての保健婦の意識との関

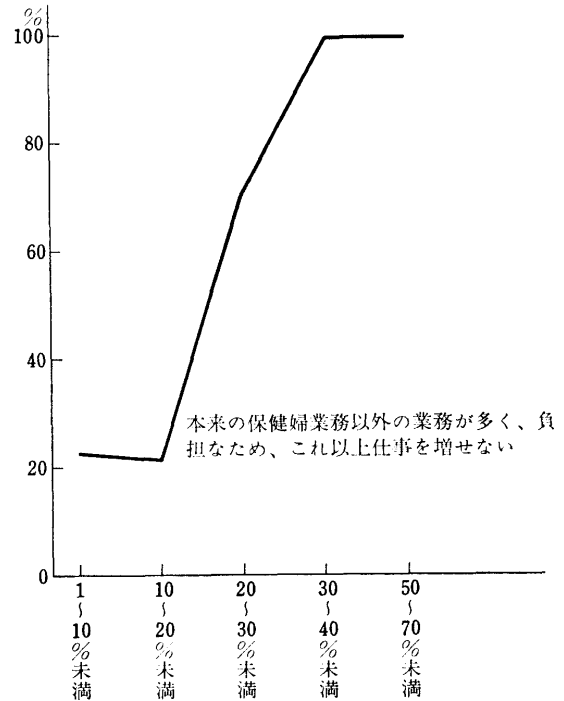
連について検討してみると、「日当がでない等」の要因「一定の手続をした自家用車の業務のための燃料費が全額でない」要因とは十分な相関がみられないが、「出張旅費が全額でない」要因とは相関がみとめられる(図IV-28, 29, 30)。このことから出張旅費の制限によって保健婦活動の拡充が妨げられている可能性があると思される。

ところで、出張旅費が全額でないと答える者は、鹿児島県の保健所、市町村の島担当保健婦(18.0%)、保健所の無医地区以外担当保健婦(21.7%)に、愛媛県は保健所市町村の島担当保健婦(5.9%)、無医地区担当保健所保健婦(17.6%)、無医地区以外担当市町村保健婦(9.3%)に多い。北海道は市町村の無医地区以外保健婦(33.3%)に、秋田県は保健所の無医地区以外担当保健婦(19.6%)に多いといえる。また、前述のように公用車をスムーズにつかえない者が多い秋田県、鹿児島県、新潟県では、一定の手続をした自家用車の業

務上の燃料費が支給されないことや、事故の際に公用車なみの補償がみとめられないことがみられる。このように各道県，所属によって差が大きく，一概にいけないが，旅費については鹿児島県，愛媛県の無医地区担当，無医地区以下担当及び島担当の保健所保健婦，北海道市町村保健婦，秋田県



図IV-32 全業務中の集団検診業務の割合
(業務の拡大・充実が不可能な理由別)



図IV-33 全業務中の予防接種業務の割合
(業務の拡大・充実が不可能な理由別)

表 IV-18 全業務中の事務業務が 40% 以上のものの比率 (百分率) () の中は実数

	北海道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	9.1 (1)	6.3 (4)	34.4 (11)	20.3 (12)	40.0 (2)	21.7 (10)	14.7 (5)	2.0 (1)	8.1 (3)	2.5 (1)
無医地区以外	—	—	39.1 (18)	22.4 (22)	50.0 (8)	39.0 (23)	10.5 (6)	8.3 (8)	16.7 (10)	9.1 (3)

表 IV-19 全業務中の予防接種が 20% 以上のものの比率 (百分率) () の中は実数

	北海道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	9.1 (1)	3.1 (2)	0.0 (0)	3.4 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	2.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
無医地区以外	—	—	0.0 (0)	1.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	4.2 (4)	1.7 (1)	3.0 (1)

表 IV-20 全業務中の集団検診業務が 30% 以上のものの比率 (百分率) () の中は実数

	北 海 道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	0.0 (0)	3.1 (2)	18.8 (6)	11.9 (7)	0.0 (0)	10.9 (5)	5.9 (2)	3.9 (2)	2.7 (1)	7.5 (3)
無医地区以外	—	—	17.4 (8)	11.2 (11)	12.5 (2)	5.1 (3)	3.5 (2)	11.5 (11)	10.0 (6)	12.1 (4)

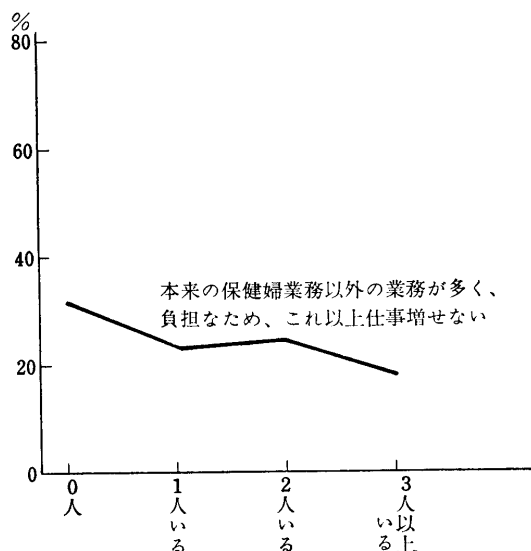


図 IV-34 保健衛生関連事務職数 (業務の拡大・充実が不可能な理由別)

保健所保健婦等で実費清算できるように旅費予算の確保及び旅費規定の改善の必要があるといえるだろう。

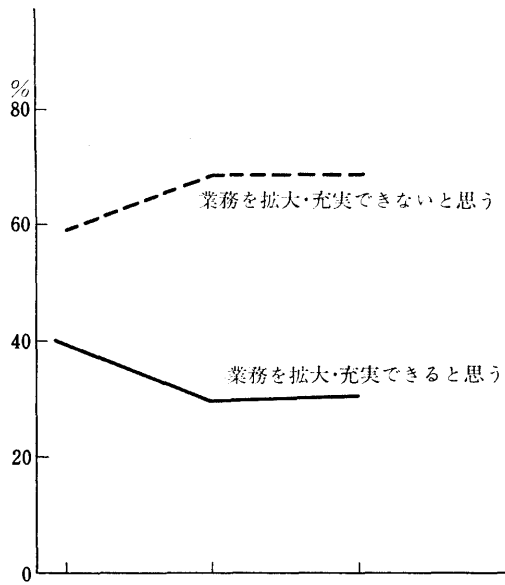
3. 保健婦活動における業務負担

無医地区、島等では、保健所や市町村の従事者全体が少ないため、1人で多くの業務(役割)をかかえがちになり、保健婦本来の活動が十分展開できないことがあるともいわれる。無医地区等ではこのような意味での業務(役割)の過剰な負担問題があると予想される。そこで、全業務中の事務業務、予防接種業務等の負担が、住民に必要な保健婦本来の業務の拡大、充実の可能性をどのように妨げているかについてみてみよう。まず事務業務の負担についてみると、それが全業務中 40

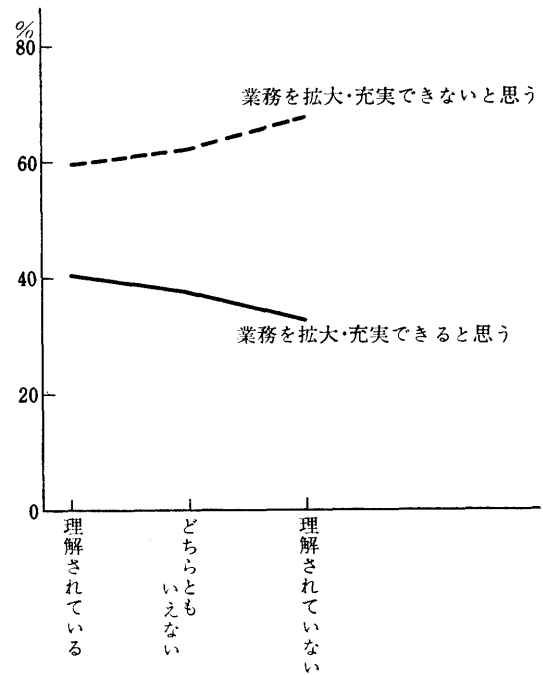
%を越えると、負担が大きく、必要な業務でもこれ以上拡充できないという意識が高まっている(図 IV-31)。また、予防接種業務の割合も 20%をこえると、集団検診では 30%をこえると同様の傾向がみられる(図 IV-32, 33)。

無医地区では、事務業務が全業務中の 40% 以上行なっている保健婦は、秋田県、新潟県に多く、全体として保健所保健婦に多かった。これは無医地区以外の担当の保健婦もそのような傾向があった(表 IV-18)。また、予防接種業務の割合をみると、それが全業務中の 20% 以上しめるところは、北海道の無医地区担当の保健所保健婦と、北海道、秋田県、愛媛県、鹿児島県の市町村保健婦に多くみられる(表 IV-19)。集団検診については、全業務中 30% 以上のものは、秋田県保健所、市町村保健婦や新潟縣市町村保健婦に多くみられた(表 IV-20)。このように業務の過剰な負担については、事務業務では保健所保健婦に多くみられ、予防接種業務は市町村に多くみられ、改善の要するところであろう。図 IV-34 のように、保健衛生に関連する事務を行ない、保健婦の仕事のパートナーとした事務職をおくことが、必要な保健婦業務の拡充の可能性に関連があることから、事務業務の過剰負担については、このような事務職をおいて解消する必要があるだろう。

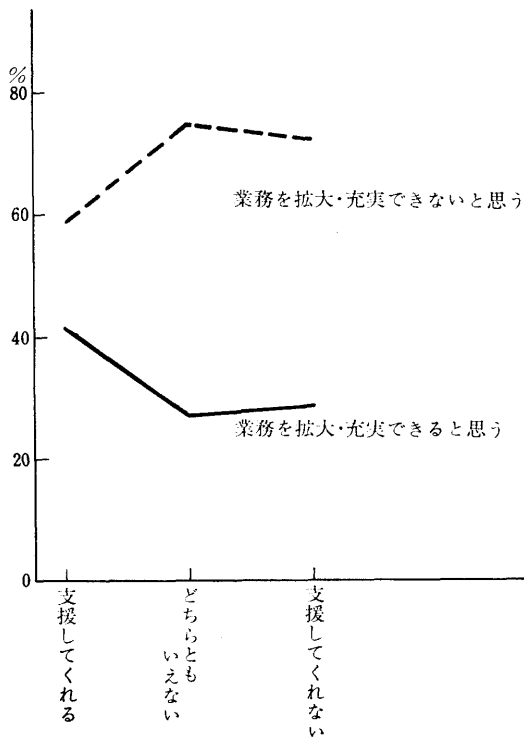
また、救急時の応急処理に医療行為に近い処置が求められるか否かを調べてみたけれども、新潟県、秋田県に多少みられたが、とりわけ無医地区、



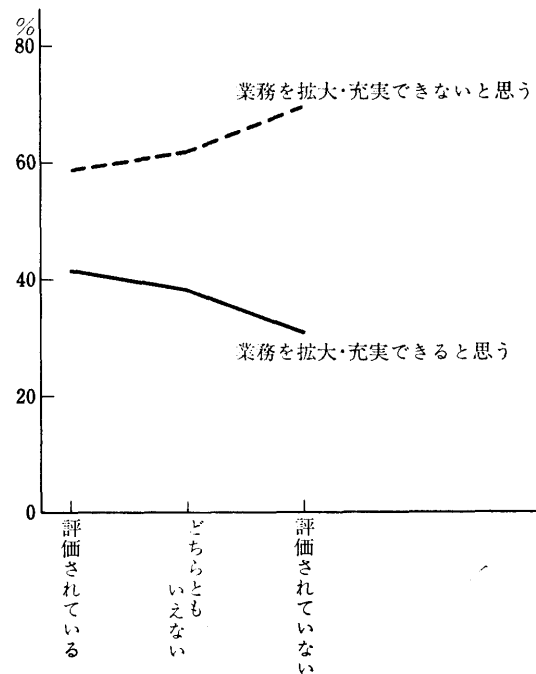
図IV-35 職場の看護職仲間との人間関係に
気まずさを感じるか
(業務の拡大・充実の可能性別)



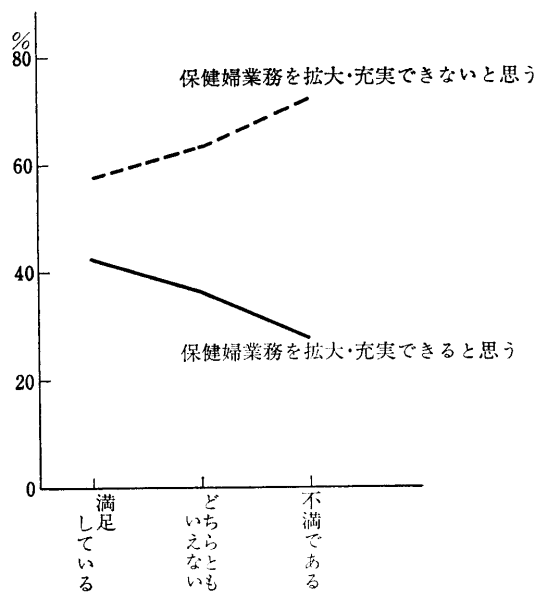
図IV-37 あなたの考えに対する理事者や
上級幹部の理解
(業務の拡大・充実の可能性別)



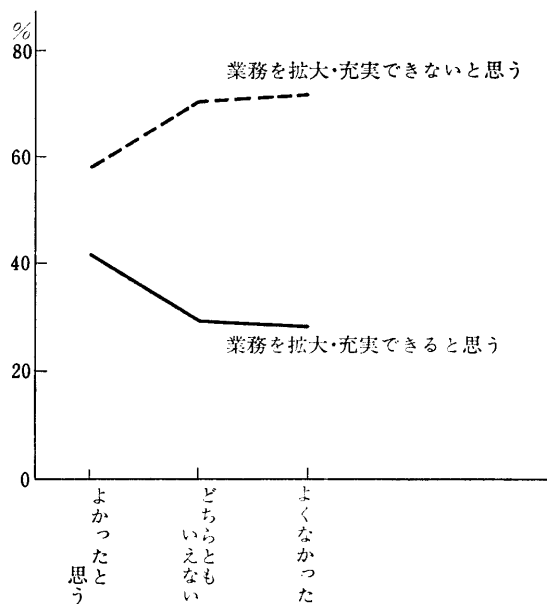
図IV-36 上司（婦長格）の支援
(業務の拡大・充実の可能性別)



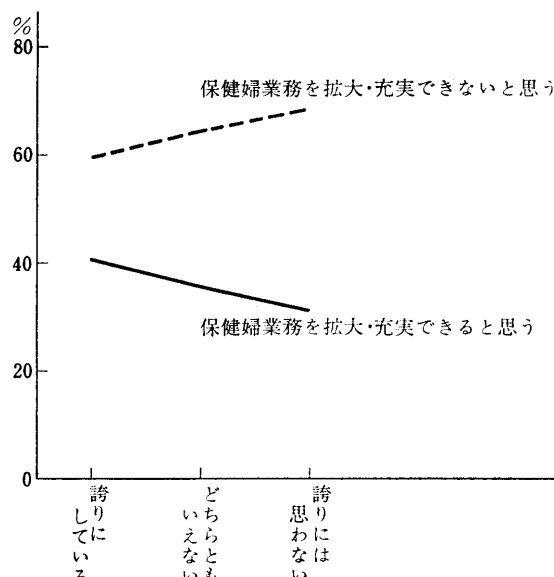
図IV-38 あなたの活動に対する理事者や
上級幹部の理解
(本人の業務の拡大・充実の可能性別)



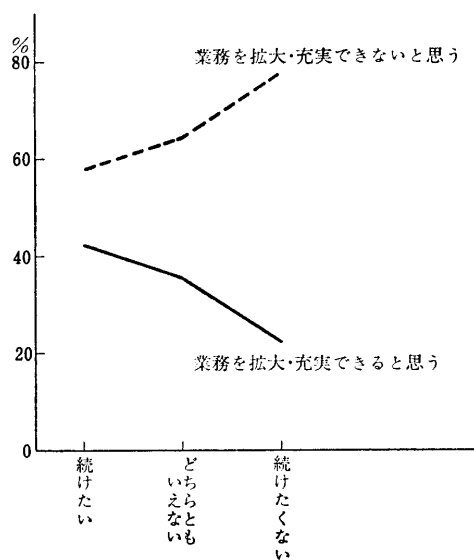
図IV-39 職場につとめることに満足しているかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-41 職場につとめてよかったかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-40 職場の一員であることの誇り
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-42 今の職場で働き続けたいかどうか
(業務の拡大・充実の可能性別)

表 IV-21 看護職との人間関係に気まずさを感じていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北 海 道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	18.2 (2)	12.5 (8)	37.5 (12)	30.5 (18)	60.0 (3)	28.3 (13)	29.4 (10)	31.4 (16)	29.7 (11)	15.0 (6)
無医地区以外	/	/	15.2 (7)	28.6 (28)	56.3 (9)	33.9 (20)	28.1 (16)	29.2 (28)	18.3 (11)	27.3 (9)

表 IV-22 理事・上級幹部から評価されていると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北 海 道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	54.5 (6)	48.4 (31)	59.4 (19)	54.2 (32)	60.0 (3)	45.7 (21)	50.0 (17)	41.2 (21)	59.5 (22)	52.5 (21)
無医地区以外	/	/	54.3 (25)	38.8 (38)	43.8 (7)	44.1 (26)	59.6 (34)	41.7 (40)	63.3 (38)	72.7 (24)

表 IV-23 職場に満足していると思う比率（百分率）（ ）の中は実数

	北 海 道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	54.5 (6)	45.3 (29)	65.6 (21)	54.2 (32)	40.0 (2)	43.5 (20)	38.2 (13)	47.1 (24)	67.6 (25)	65.0 (26)
無医地区以外	/	/	67.4 (31)	49.0 (48)	37.5 (6)	59.3 (35)	57.9 (33)	51.0 (49)	66.7 (40)	63.6 (21)

島に多いという結果はえられなかった（第Ⅰ分冊表 C-67）。しかし、適当な医療がないために保健活動上に悩みをもっている保健婦は無医地区、島に多いといえよう（第Ⅰ分冊表 C-65）。

4. 保健婦活動と職場集団

職場集団のあり方と保健婦活動との関連について、とりわけ無医地区等に働く保健婦の場合はどうなのかを検討してみよう。ここでは、職場集団のあり方をあらわすいくつかの指標と「必要な保健婦業務を拡大、充実することができるかどうか」についての保健婦意識との関連をみようとした。その結果、「職場仲間との人間関係がまずいとき」、「上司からの支援がないとき」、「あなたの仕事の考えに対する理解や評価がないとき」、「職場につとめることに満足、誇りを感じないで、こ

の職場をやめたいと思うとき」に、「住民に必要な保健婦業務の拡大、充実することができない」という意識をもちやすい傾向にある（図Ⅳ-35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42）。

ところで、無医地区等に働く保健婦は、自分の職場集団をどのように感じているだろう。

まず無医地区担当の場合、無医地区以外担当の者に比べ人間関係を気まずく感じていることが多い傾向にある（表Ⅳ-21）。とりわけ、保健所保健婦の場合には共通していえることである。次に上司からの支援については、前述したように、無医地区担当保健婦の方が支援されていると感じている者が多い。但し、このことは愛媛県の保健所保健婦の場合は該当しなかった。また、理事、上級幹部からの保健婦活動全体への評価についてみると、愛媛県、鹿児島県の保健所、市町村の無医地

表 IV-24 職場につとめてよかったと思う比率 (百分率)

() の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	72.7 (8)	57.8 (37)	71.9 (23)	67.8 (40)	60.0 (3)	69.6 (32)	44.1 (15)	51.0 (26)	78.4 (29)	70.0 (28)
無医地区以外	/	/	78.3 (36)	63.3 (62)	50.0 (8)	71.2 (42)	71.9 (41)	61.5 (59)	76.7 (46)	69.7 (23)

表 IV-25 職場に誇りをもっていると思う比率 (百分率)

() の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	36.4 (4)	39.1 (25)	53.1 (17)	47.5 (28)	40.0 (2)	45.7 (21)	41.2 (14)	51.0 (26)	62.2 (23)	70.0 (28)
無医地区以外	/	/	60.9 (28)	49.0 (48)	25.0 (4)	40.7 (24)	50.9 (29)	56.3 (54)	63.3 (38)	60.6 (20)

表 IV-26 今の職場で働き続けたいと思う比率 (百分率)

() の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	63.6 (7)	51.6 (33)	75.0 (24)	64.4 (38)	60.0 (3)	65.2 (30)	44.1 (15)	52.9 (27)	70.3 (26)	72.5 (29)
無医地区以外	/	/	78.3 (36)	66.3 (65)	43.8 (7)	62.7 (37)	61.4 (35)	59.4 (57)	76.7 (46)	63.6 (21)

区担当保健婦はともに無医地区以外担当保健婦よりも評価されていると感じている人は少ないといえる (表IV-22)。

また、職場帰属意識については、愛媛県の保健所、市町村の無医地区担当保健婦が職場への満足、誇り、就業継続意識において全体的に低い傾向にある (表IV-23, 24, 25, 26)。職場への満足度が無医地区担当者の方が低いところは、新潟県保健所及び市町村保健婦、秋田県保健所及び市町村保健婦、愛媛県保健所及び市町村保健婦であり、職場就業継続意志については無医地区担当者の方が低いところは、秋田県保健所及び市町村保健婦、愛媛県保健所及び市町村保健婦、鹿児島県保健所保健婦である (表IV-23, 24, 25, 26)。

このような職場帰属意識に影響を与えるアドミ

ニストレーション上の要因は多様であるが、上司のあり方、人間関係、配置転換等人事のあり方、仕事のあり方等が関連するだろう。ここで無医地区担当保健婦に共通するアドミニストレーション上の問題点をあげるとまず昇格人事問題があり (表IV-27)、保健所保健婦には配置転換の問題 (表IV-28)、また前述したように市町村保健婦には婦長の支援のあり方の問題、人間関係の問題等があるといえる。そして、これらの問題は無医地区担当保健婦の職場帰属意識を低め、今の職場で仕事していることの大きな精神的負担となっ

5. 保健婦活動と家庭生活

家庭生活と保健婦活動とが、どのような関連性

表 IV-27 昇格に不満があると思う比率 (百分率)

() の中は実数

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	36.4 (4)	29.7 (19)	28.1 (9)	32.2 (19)	60.0 (3)	54.3 (25)	35.3 (12)	54.9 (28)	32.4 (12)	35.0 (14)
無医地区以外	/	/	—	—	43.8 (7)	27.1 (16)	19.3 (11)	49.0 (47)	26.7 (16)	30.3 (10)

表 IV-28 配置転換に不満をもっていると思う比率 (百分率)

() の中は実数

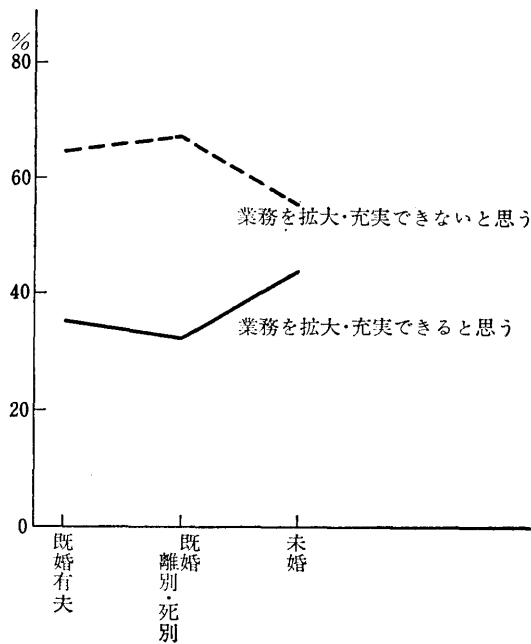
	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無医地区	18.2 (2)	3.1 (2)	18.6 (6)	10.2 (6)	40.0 (2)	4.3 (2)	52.9 (18)	21.6 (11)	54.1 (20)	5.0 (2)
無医地区以外	/	/	—	—	31.3 (5)	8.5 (5)	38.6 (22)	30.2 (29)	36.7 (22)	9.1 (3)

をもっているかについて、とりわけ無医地区、島地区に働く保健婦の場合はどうなのかについて検討してみようと思う。ここでは、家族生活のさまざまな指標と「必要な保健婦の仕事を拡充することができるかどうか」についての保健婦意識との関連をみてみた。その結果、必要な仕事を拡大、充実することはできないと答えた者は、未婚より既婚者に、子ども無より有に、乳幼児や心身障害児の無より有に、夫が健康より病気がちに、夫の職業が農林漁業、専門技術職、中小企業事務などに、生活が不便と感じている者に、給与が低く生活に支障あると思う者に多い傾向があることがわかった (図 IV-43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50)。このことから推して、これらの要因は、保健婦活動上の制約要因として影響する可能性があると思われる。その他、家事、親との関係などについてもしらべてみたが、あまり関連がみられなかった。

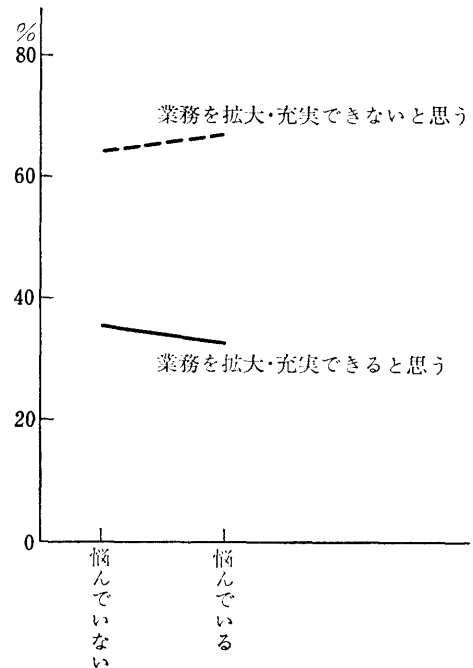
ところで、無医地区、島に働く保健婦はどのような家庭生活像をもっているのであろう。配偶関係についてみると、全般的にはもちろん既婚者が多いが、全道県に比べてみて未婚者が多く、既婚

有夫が少なくなる傾向がある (第 I 分冊表 C-99)。殊に、鹿児島県の場合は 40% 近くが未婚者である。そして、家族とは別居しているものが多く、鹿児島県では島担当者の半数近くが別居している (第 I 分冊表 C-100)。また、子どもがいる人も全道県に比べ少なくはなく、乳幼児をかかえ、仕事との両立の中で悩んでいる人も少なくはない (第 I 分冊表 C-101, 102)。

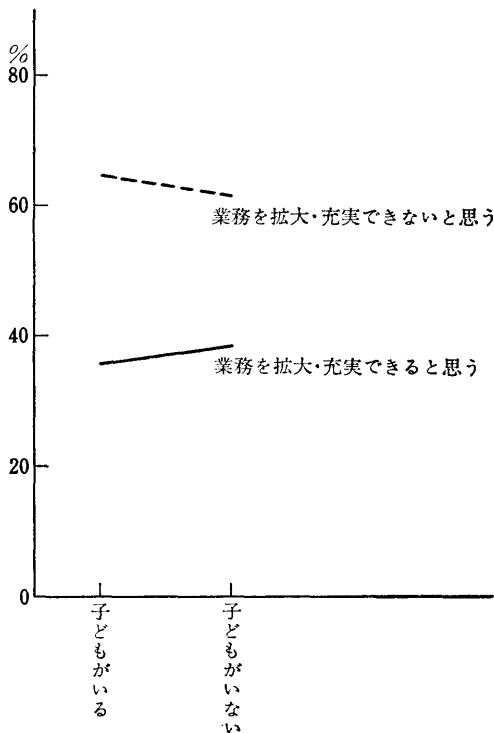
一方、配偶者については、職業としては、大企業事務 (公務員、従事者 300 人以上企業の事務職等)、専門技術職が全般的に多いが、地域によって差があり、愛媛県島担当者、鹿児島県島担当者、新潟県無医地区担当者では農林漁業が、北海道無医地区担当者、愛媛県島担当者では自営業が多い (第 I 分冊表 C-103)。また、配偶者が病気がちなものも無医地区、島では全道県に比べ若干多く、とりわけ鹿児島県、愛媛県の島担当保健婦に該当する (第 I 分冊表 C-104)。また、未婚のものは、「適当な交際相手がみつからなくて結婚が困難で悩んでいる人」が全般的に多く、北海道、新潟県、鹿児島県の無医地区担当、島担当保健婦の未婚者



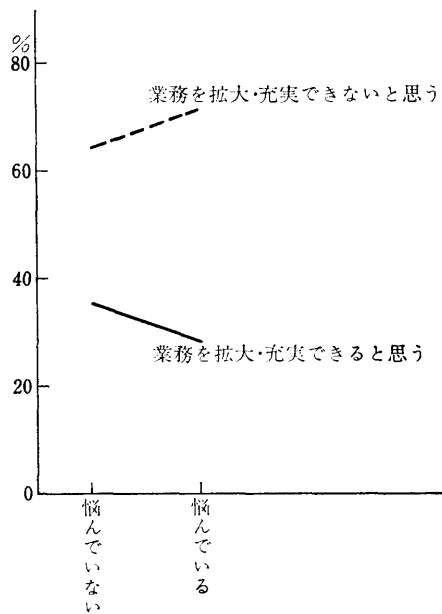
図IV-43 配偶関係
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-45 乳幼児がいることによる悩みの有無
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-44 子どもの有無
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-46 心身障害児(者)がいることによる悩みの有無
(業務の拡大・充実の可能性別)

表 IV-29 居住地域に生活上の不便さを感じるものの比率（百分率）

() の中は実数

	北海道		秋 田		新 潟		愛 媛		鹿 児 島	
	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
無 医 地 区	72.7 (8)	46.9 (30)	31.3 (10)	37.3 (22)	40.0 (2)	50.0 (23)	32.4 (11)	33.3 (17)	40.5 (15)	27.5 (11)
無医地区以外	—	—	23.9 (11)	34.7 (34)	12.5 (2)	25.4 (15)	15.8 (9)	13.5 (13)	28.3 (17)	24.2 (8)

のそれぞれ 17.3%, 20.0%, 16.7% が該当している。また地域での生活についてみると、不便さを訴える人が多く、北海道、新潟県無医地区、鹿児島県では半数前後の人が感じている（表 IV-29）。

このようなことからみて、無医地区、島を担当する保健婦は、家庭生活上の不便さや様々な問題に苦勞することが予想される。北海道、鹿児島県の無医地区、島に働く保健婦は、家族とは別居して赴任している人が多いので、住居確保や生活物資の確保等が問題になるが、公舎が十分供与できていないし、必要な生活備品がととのっていないと思われる（第 I 分冊表 C-90, 91, 92）。

無医地区や島担当保健婦に多い未婚者は、既婚者に比べ、仕事への制約要因は少ないが、適当な交際相手がなく結婚問題に悩み、また若い既婚者は乳幼児の育児をかかえ、仕事との両立に悩んでいる。育児休業制が法令により適用が普及してきたが、適用されていないものもあり、そして産前、産後の休暇平均日数は全道県に比べ、少なめにしかとれていない（第 I 分冊表 C-93, 94, 96）。実際的に十分とれないのが現状であろう。また、島担当保健婦に農

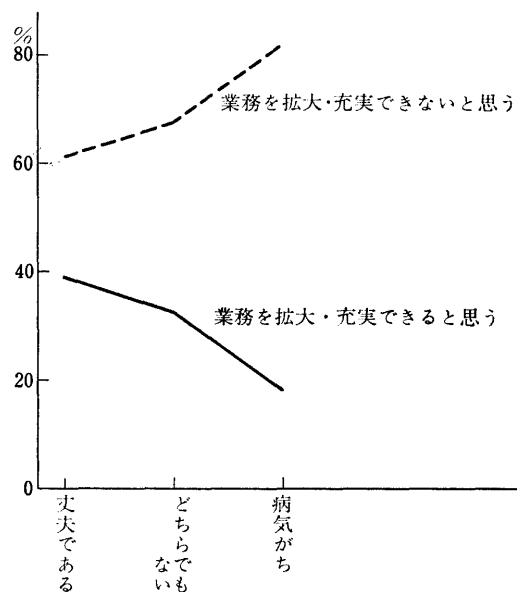


図 IV-47 夫の健康状態
(業務の拡大・充実の可能性別)

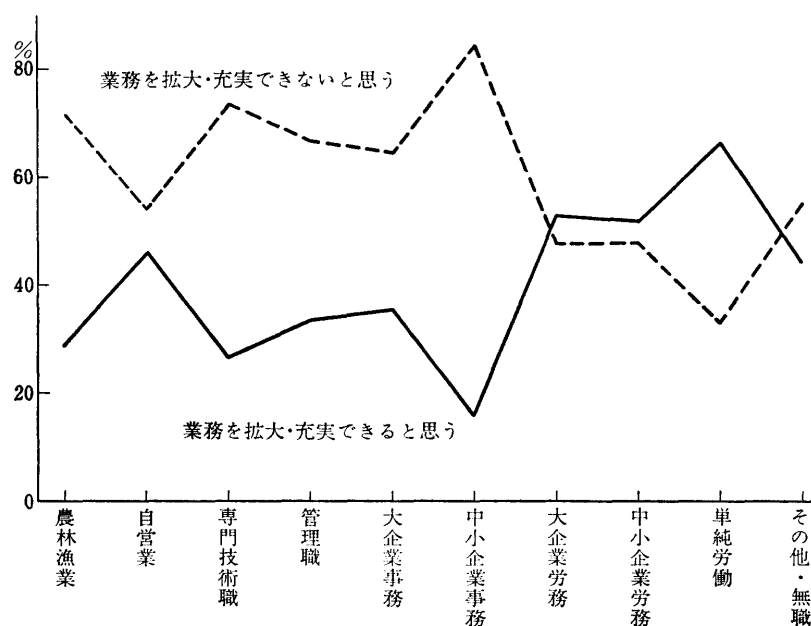
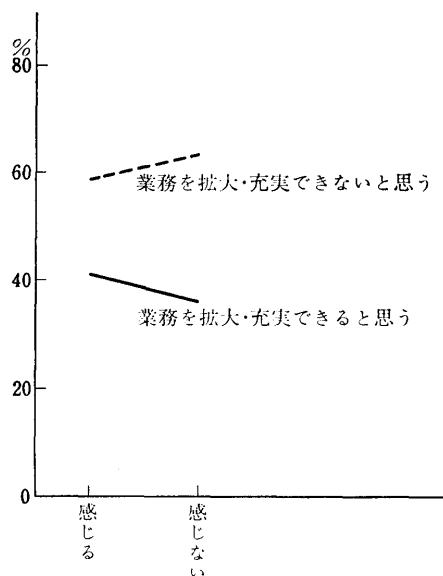
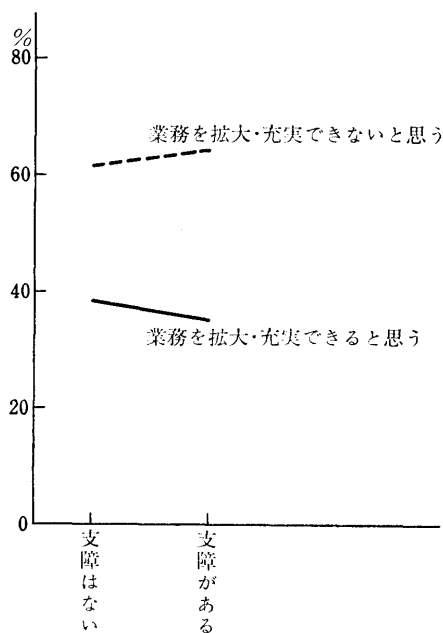


図 IV-48 夫の職業
(業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-49 生活の不便さを感じるかどうか (業務の拡大・充実の可能性別)



図IV-50 給与額が生活に支障があるかどうか (業務の拡大・充実の可能性別)

林漁業を職業とする配偶者、病気がちの配偶者が多いようであるが、このことは土地の人を配偶者として、定住している保健婦と考えられる。そこではまず自分の家庭生活の中のへき地保健問題に対処しなければならないといえる。このことは、

実は保健婦自身が無医地区、島の生活者として、へき地保健問題の解決への責任ある動機とその土地にみあった個別的な解決方法を実践しうる契機にもなるだろう。が、そこでの家庭生活の負担があまりに大きいと、仕事そのものが自己防衛的なものになってしまう。その結果、地域の住民に必要な保健婦業務を拡大、充実することは難しくなるだろう。そこで、アドミニストレーション上からみて、無医地区担当、島担当の保健婦が安心して働ける生活体制が保障される必要があるといえる。

第3節 無医地区等保健婦の行動とアドミニストレーションの課題

既にみてきたように、無医地区、島を担当する保健婦に期待される役割は大きく、その役割遂行へのやりがい、満足感等もあるが、十分な資源のない中で、負担感も大きい。このような中で、保健婦は自分の仕事(役割)をうまく遂行できるかどうかについて不安をもつことが多い。このような不安は、しばしば対象への自己防衛的な姿勢をうみ、対象の状況に適合した援助行動を遂行する動機を減退させる。しかし、他方では不安は、うまく役割遂行できない問題を解決しようとする意志形成を促している。どちらに主としてむかうかは、アドミニストレーションのあり方によって大いに異なる。すなわち、アドミニストレーションは、そのような不安が保健婦をして自己防衛的な姿勢にむかわせるのではなく、所与の状況に適合的な援助行動を求める現実的な姿勢をとるよう、動機を支持し、負担を軽減、除去することであり、同時にそれらを活動習慣の中で自然に調整できるような能力を自分自身で養うように支援することである。

このような観点で、無医地区、島担当保健婦の援助行動のアドミニストレーションの問題を概観してみると次のようになるだろう。

概して、無医地区等担当保健婦は、住民や上司から期待され、支持されていると感じている者が多いが、研修会や学会への参加、仕事上の相談体制の確立等の具体的、現実的な支援内容になると貧弱になる。また、負担軽減の面についても同様で、過剰な事務業務を軽減するための、保健衛生事務職は配置されていないところも多いし（第Ⅰ分冊表C-13）、旅費は全額払われないことがあり、公用車等はスムーズに用いることができない、産前産後休暇も十分とれない、公舎が供与されない、保育体制が十分でない等、現実的な対応でもって支援されている者は少なくなる。これらの問題の解決のためには、アドミニストレーションに関する保健婦の現実的な行動が必要である。確かにこれらのアドミニストレーション上の問題解決はそれらを直接に調整できる権限あるもの（国の担当官、道県の課長、係長、保健所の所長、課長、婦長、市町村の課長、婦長等）が十分な努力を払い、解決すべきことであろう。しかし、保健婦業務に直接に権限あるものと思われるものが必ずしも十分な権限をもっているとはいえない。保健婦業務に関して直接権限あるものとともに、より権限をもつ政府、知事、市町村長の保健婦業務に対する姿勢に影響を与える保健婦の個別的行為、集合的行為（看護職能としての運動等）が必要になる。アドミニストレーションは何も管理者等がおこなうものに限らない。現場の個々の保健婦が管理者に期待される本来の役割が果されるように管理者とともに個別的、集合的なアドミニストレーション行動をおこなうことも必要である。

保健婦は、一方でこのようなアドミニストレー

ション機能の充実に努力する中で、自分の援助行動を対象のもつ状況に適合化していこうとする姿勢（セルフ・アドミニストレーションの姿勢）を必要とされている。このような姿勢を軽視すると、ことに無医地区、島を担当する保健婦等は、期待される役割に負担を感じ、自己防衛的な業務姿勢で活動することにもなる。

ところで、このように自分の保健婦活動を現実的な行動環境の改善を加えながら、自分の能力を養っていく業務姿勢は、本来看護の基礎教育過程でその萌芽が養われる必要がある。また、卒後現場での研修会や事例検討会等を通じて、技術的な面に加え、このような業務姿勢をも自己訓練してゆかねばならないだろう。業務姿勢の改善を目的とした研修会参加について、「自分に機会がまわってきたから」とか、「上司や同僚にすすめられたから」という理由を全道県半数以上の人がある中で、「自分の業務姿勢をさぐるために参加する」と答えた人は、無医地区、島担当保健婦に若干多い（第Ⅰ分冊表C-76）。しかし、その機会をむしろ無医地区、島担当保健婦に少ない（第Ⅰ分冊表C-79）。研修に権限ある上司は、このような研修等の機会提供も十分考慮する必要があるだろう。

注

1) 表Ⅴ-1の全体の実数は次のとおりになっている。

道県	担当地区		無医地区	
	無医地区	無医地区以外	無医地区	無医地区以外
北海道	77	—	66	—
秋田県	92	168	81	142
新潟県	53	48	43	36
島	島	島以外	島	島以外
愛媛県	51	203	44	179
鹿児島県	61	133	52	118

但し、新潟県の無医地区以外担当者は都市部の保健婦のみである。

2) 表N-2の全体の実数は次のとおりになっている。

道県	担当地区	今の職場で仕事を 継続したくない		保健婦の仕事を継 続したくない	
		無医地区	無医地区 以外	無医地区	無医地区 以外
北海道		77	—	77	—
秋田県		92	168	92	168
新潟県		53	48	53	48
県	担当地区	島	島以外	島	島以外
愛媛県		51	203	51	203
鹿児島県		61	133	61	133

- 3) 宗像恒次「保健感覚を育てる」『ナースステーション』第8巻 3号 1968年
- 4) 宗像恒次「保健医療機関における組織動態と行動」『保健・医療社会学の成果と課題1979年』垣内出版
- 5) 同書参照

6) 同書参照。援助の基本姿勢には3つあり、「①援助するものが対象の言動などの「傾聴」及び「観察」を通じて感じられた違和感を手がかりに、対象が潜在的にもっている葛藤を受容し、その自覚を支えることである。②その自覚による対象自身の行動修正への試行的な体験を支え、③その体験過程の中での対象の現実的な判断姿勢を支持することである。つまり、対象のもつ自己調整能力の働きを強めることである。

7) 表N-3の全体の実数は次のようになっている。

	北海道		秋田		新潟		愛媛		鹿児島	
	保健 所	市町 村	保健 所	市町 村	保健 所	市町 村	保健 所	市町 村	保 所	市町 村
無 地 区	11	64	32	59	5	46	34	51	37	40
無 区 医 以 地 外	—	—	46	98	16	59	57	96	60	33

これは表N-3以後の表はすべての実数になっているが、注記は省略する。

(宗像恒次)

調査票

A 豪雪地および離島の保健医療状況調査 豪雪地 無医地区状況調査について

昭和52年

社団法人 日本看護協会
調査研究部

この調査票は、無医地区住民の健康問題、保健医療サービスの利用可能性、無医地区での保健婦活動について、原則として無医地区を担当する保健婦の皆様に記入していただくようになっております。

調査項目はできるだけ記入しやすいよう工夫したつもりですが、中には調べなければならないかと思えます。ただでさえ多忙な中、このような仕事をしたいだけのは誠に心苦しいのですが、できるだけ全項目について御記入下さいませますようお願い致します。

<記入上の注意>

- ・回答を選択肢から選ぶ場合は、該当する回答の番号を に記入して下さい。1つの に回答は1つだけです。
- ・ には選択肢の番号または実数を、() には文字を記入するようになっています。
- ・回答を要しない項目については、記入もれと区別するため次のように回答らんに斜線をひいて下さい。
- ・全部記入し終ったら、記入もれがないか点検して下さい。

F. まず次の表の各項目をうめて下さい。

F 1.	無医地区名 ()	
F 2.	所属県名 ()	
F 3.	所属市町村名 ()	
F 4.	管轄保健所名 ()	
F 5.	地区担当保健婦の所属	<input type="checkbox"/> F5
	① 市 町 村	② 県

I. 自然・交通

まず地区の自然条件および交通事情についておたずねします。但し、Q1～Q4は、昭和51～52年にかけての冬のことを書いて下さい。

Q 1. 当該無医地区の中心地（平地）で考えて、雪が最も深く積ったとき、それはおよそどれくらいに達しましたか。

① 50cm以内	② 50～100cm	③ 100～150cm	<input type="checkbox"/>
④ 150～200cm	⑤ 200～300cm	⑥ 300～400cm	Q1
⑦ 400cm以上			

Q 2. 地区中心地で考えて、根雪になってから春とけるまでの日数は、およそどれくらいでしたか。

① 100日以内	② 100～120日	③ 120～140日	<input type="checkbox"/>
④ 140～160日	⑤ 160～180日	⑥ 180～200日	Q2
⑦ 200日以上			

Q 3. 地区中心地まで、一日中車が入れず、地区が孤立したことが、冬の間にあわせて何日位ありましたか。

① なし	② 5日以内	③ 6～10日	④ 11～15日	<input type="checkbox"/>
⑤ 16～20日	⑥ 21～25日	⑦ 26日以上		Q3

Q 4. 地区の孤立が最も長く続いた時、その日数はどれくらいでしたか。

① なし	② 1日だけ	③ 2～3日	④ 4～5日	<input type="checkbox"/>
⑤ 6～10日	⑥ 11日以上			Q4

Q 5. 自家用車の普及率（地区の全世帯に対する、自家用車のある世帯の比率）はどれくらいですか。

① 0%	② 10%未満	<input type="checkbox"/>
③ 10～30%未満	④ 30～50%未満	
⑤ 50～70%未満	⑥ 70～90%未満	
⑦ 90～100%		Q5

Q 6. 電話の普及率（地区の全世帯に対する、有線も含めた電話のある世帯の比率）はどれくらいですか。

① 0%	② 10%未満
③ 10～30%未満	④ 30～50%未満
⑤ 50～70%未満	⑥ 70～90%未満
⑦ 90～100%	

Q6

II. 世帯、人口、人口動態

次に、地区の世帯数、人口、人口動態についておたずねします。

Q 7. 地区の住民登録上の世帯数を記入して下さい。

A. 昭和40年（12月またはそれに近い月）	世帯
B. 昭和45年（12月またはそれに近い月）	世帯
C. 昭和50年（12月またはそれに近い月）	世帯
D. 調査時	世帯

Q 8. 現在、地区内で生活保護をうけている世帯はどれだけありますか。

Q8

Q 9. 地区の住民登録上の人口について記入して下さい。

A. 調査時の人口	
A-1. 総人口	人
A-2. 65才以上の人口	人
A-3. 15～64才人口	人
A-4. 乳幼児（学令前）の人口	人
B. 昭和40年の総人口（12月またはそれに近い月）	人
C. 昭和45年の総人口（12月またはそれに近い月）	人
D. 昭和50年の総人口（12月またはそれに近い月）	人

Q 1 0. 昭和50年の出産・出生等の実数を記入して下さい。

A. 出生総数	件
B. 低体重児（2500g以下）	件
C. 乳児死亡（生後1年未満）	件
D. 周産期死亡（妊娠8ヶ月以降生後1週未満）	件
E. 妊産婦死亡	件

Q10
A
B
C
D
E

III. 住民の健康問題

次に、地区住民の生活・労働環境及びそこから来る健康問題についておたずねします。

Q 1 1. 地区の人々の魚肉類の購入方法は次のうちどれですか。該当するものが2つ以上ある場合、人々が主に利用しているものを1つだけ記入して下さい。

① 地区内の店で購入することができる
② 行人から購入することができる (行人の来る月間回数、夏 <input type="text"/> 回、冬 <input type="text"/> 回)
③ 地区内には店はないが、比較的近く（徒歩あるいは容易に利用できる交通手段で片道30分以内）の店で購入することができる
④ 遠くの町へ出なければ購入できない
⑤ その他 (<input type="text"/>)

Q11

Q 1 2. 地区の人々の食生活に関し、健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい（栄養のバランス一特に蛋白質、塩分、アルコールの摂取など）

()

Q13. 地区の人々どのような労働にたずさわっていますか、就労者の多い順に3つ記入して下さい。(例：農耕作業、養畜作業、建設作業、事務)

男 1 () 女 1 ()
 2 () 2 ()
 3 () 3 ()

Q14. 地区の人々の労働量・労働形態など、就労に関して健康上特に問題になること、保健婦活動上、特に留意していることがあれば記入して下さい。男、女、老人にわけて記入して下さい。

男 ()
 女 ()
 老人 ()

Q15. ここ一年間の出稼ぎ者は何人ぐらいますか。年間出稼ぎ日数別に記入して下さい。(3ヶ月以内の出稼ぎは除く)

A. 7ヶ月以上

Q15	人
A	人
B	人

B. 4～6ヶ月以内

Q16. 出稼ぎ者の健康問題に関して、特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

Q17. 冬の暖房に関し、保健衛生上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい(保温状況、各室の温度差、排気など)。

()

Q18. この地区で、母子保健上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

Q19. この地区で特に多い、あるいは問題となる傷病は何でしょうか。その原因は何だと思いますか。このことに関連し、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

IV. 医療施設

次に、地区住民が利用できる病院・診療所等の医療サービスについておたずねします。

Q22. 地区中心地から最も近い(はやく行く)医療施設(地区の住民が病気のときみてもええる施設)は次のどれですか。通院に10分以上の遠いがないところに2つ以上の施設がある場合は、その地区の人々がより多く行く方について記入して下さい。また、夏冬別に記入して下さい。

① 病院	② 有床診療所	Q22 夏 冬
③ 医師が常勤する無床診療所		
④ 医師が常勤しない無床診療所(出張診療所)		
⑤ その他()		

(Q22の回答が④の場合のみSQ1~SQ2について記入して下さい)

→ Q22-SQ1. 診療日は月間何日ですか。夏冬別に記入して下さい。

① 3日以下	② 4~6日	Q22 SQ1 夏 冬
③ 7~9日	④ 10~12日	
⑤ 13~15日	⑥ 16日以上	

→ Q22-SQ2. その診療所には常勤者がいますか。

① い	る	Q22 SQ2
② い	ない	

(常勤者がいる場合)

→ Q22-SQ2-SQ1. どのような職種の人が入っていますか。

Q20. ところで、現在地区内に次の疾患をもっている人が何人いますか。又ねたきり老人が何人いますか。

A. 結核	人	Q20
B. 精神病	人	
C. 高血圧性疾患	人	
D. 心疾患	人	
E. 脳卒中後遺症	人	
F. ねたきり老人(再掲)	人	

Q21. この地区に住民が参加している保健医療に関する何らかの組織がありますか。

① ない	Q21
② ある	

(組織がある場合)

→ Q21-SQ1. 名称・構成メンバー・目的・活動内容などについて記入して下さい。

Q 2 3. 地区の人々がそこ(Q 2 2で答えたもよりの病院・診療所)へ通院するのに、どのような乗物を使っていますか。(重病人の輸送、緊急搬送ではない)夏冬別に最も多く用いられているものを1つずつ記入して下さい。ただし、2つ以上の乗物を併用して通院する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上、片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

- Q 2 3
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 夏 | | | |
| 冬 | | | |
- ① 自家用車(他家の自家用車への便乗を含む)
 - ② 徒歩
 - ③ そり
 - ④ スノーボード
 - ⑤ 自転車
 - ⑥ タクシー・ハイヤー
 - ⑦ 公共の乗物(バス・鉄道)
 - ⑧ その他()

Q 2 4. その方法で通院(前の問で答えた乗物を使って通院)した場合、乗換え、待ち合せ、診療時間などを含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりますか。夏冬別に記入して下さい。

- Q 2 4
- | | | |
|---|--|--|
| 夏 | | |
| 冬 | | |
- ① 2時間以内
 - ② 2～3時間
 - ③ 3～5時間
 - ④ 5～7時間
 - ⑤ 7時間以上
 - ⑥ 日帰りできないので泊り込みを必要とする

Q 2 5. この地区の人々が医療施設へ通院するのに利用できる患者輸送車がありますか。又その設置主体はどこですか。

- Q 2 5
- | | |
|------------|--|
| ① ある(設置主体) | |
| ② な い | |

Q 2 6. 慢性疾患で在宅療養をしているこの地区の人で、通院ができない(あるいは困難な)場合、通院以外の方法で保健医療サービスを受けることができますか。次に示すものうち可能なものを夏冬別に回答欄に記入して下さい。

- Q 2 6
- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 夏 | | | | |
| 冬 | | | | |
- ① 電話で医師に相談することができる
 - ② 医師の往診を求めることができる
 - ③ 電話等による医師の指示にもとづき、医師以外の人から治療を受けることができる
 - ④ 医師以外の保健医療関係者の訪問を受けることができる
 - ⑤ 医師以外の保健医療関係者に電話で相談することができる

(Q 2 6の回答が③の場合は記入して下さい)
→ Q 2 6-SQ 1. それはどんな職種の人ですか。

夏 () 冬 ()

(Q 2 6の回答が④の場合は記入して下さい)
→ Q 2 6-SQ 2. それはどんな職種の人ですか。

夏 () 冬 ()

(Q 2 6の回答が⑤の場合は記入して下さい)
→ Q 2 6-SQ 3. それはどんな職種の人ですか。

夏 () 冬 ()

Q 2 7. 地区中心地から最も近い（はやく行ける）次にあげる各医療施設へ、最もふつうに用いられている交通手段で通院した場合、乗換え・待ち合わせ・診療時間等も含め、地区の中心地から往復におよそどれ位かかりですか。夏冬別に記入して下さい。

	夏	冬
A. 医師が常勤する医療施設		
B. 有床診療所		
C. 病院		
D. 血液検査（赤血球数、白血球数、血色素数、ヘマトクリット）ができる医療施設（そこから検体を他所へ送るなどの方法を含める）		
E. 血液検査（肝機能検査）のできる医療施設（そこから検体を他所へ送るなどの方法を含める）		
F. 虫垂炎の手術のできる医療施設		
G. 眼科を有する医療施設		
H. 耳鼻科を有する医療施設		
I. 産婦人科を有する医療施設		
J. 皮膚科を有する医療施設		
K. 歯科を有する医療施設		
L. リハビリテーションを受けられる施設		
M. 助産所又は母子健康センター		

① 半日以内 ② 1日ばかり ③ 1泊
④ 2泊 ⑤ 3泊以上

Q 2 8. 地区の人々に利用されているもよりの医療施設と、より専門的な治療ができる医療施設との連絡、連けいはスムーズに行っていますか。この点について特に問題になることがあれば記入して下さい。

V. 巡回診療

次に、地区の人々が利用できる巡回診療についておたずねします。
Q 2 9. この1年間に、この地区を対象とした巡回診療（対象地区が決まっていない場合は、地区の人々が往復に半日ぐらかいかいかければ利用できる範囲内で実施された巡回診療）は何回ありましたか。同一診療班が次々と場所を移動する場合は1回として下さい。ただし時期を違えてくる場合は各々を1回として下さい。

① なかった	② 1回	③ 2回	④ 3回	⑤ 4~5回	⑥ 6回以上	Q29
--------	------	------	------	--------	--------	-----

（Q 2 9の回答が⑥の場合は記入して下さい）
→ Q 2 9 - S Q 1. 月又は週に何回ですか、また、実施主体はどこで、どのような方法で実施されていますか。具体的に記入して下さい。

（巡回診療があった場合、記入して下さい）
→ Q 2 9 - S Q 2. それらの巡回診療にはどのような診療科目が含まれていますか。あるものすべてを記入して下さい。

① 内科	② 外科	③ 耳鼻咽喉科
④ 眼科	⑤ 整形外科	⑥ 産婦人科
⑦ 小児科	⑧ 皮膚科	⑨ 精神科
⑩ 歯科	⑪ その他	

Q29 SQ2

Q 3 0. この地区でこの1年間に巡回診療を利用した人は、延何人位いたでしょうか。

Q 3 0

Q 3 1. この地区についていえば、総体的にみて、ここ数年の間に巡回診療の利用者はふえていますか。

① ふえている
② かわらない
③ へっている

Q 3 1

(ふえた場合は記入して下さい)

→Q 3 1 - SQ 1. 利用者がふえた理由は何だと思えますか。

()

(へった場合は記入して下さい)

→Q 3 1 - SQ 2. 利用者がへった理由は何だと思えますか。

()

Q 3 2. この地区の人々にとって現在実施されている巡回診療は役に立っていると思えますか。

① 大いに役立っている
② いくらか役立っている
③ ないよりはいい
④ あっても仕方がない
⑤ 利用できるものがない

Q 3 2

(Q 3 2 の回答が①、②の場合、記入して下さい)

→Q 3 2 - SQ 1. どのような意味で役立っているのですか。主なものから順に2つえらんで下さい。

① 地区の人々にとって、一番身近で利用しやすい診断・治療のチャンスとなっている
② 地区の人々は医療施設に行くこともできるが、巡回診療時たまたま具合が悪ければ、近いので利用する
③ 健診、検診と同様、疾病の早期発見のチャンスとなっている
④ 近くの医療施設ではうけられない専門的な診断・治療をうけるチャンスとなっている
⑤ その他 ()

Q 3 2 - SQ 1
1
2

Q 3 3. 巡回診療にはさまざまな問題があるようですが、次に示す中でこの地区の人にとって問題だと思われるものをすべてあげて下さい。

① 近くに医療施設がなく、又巡回診療の数も少ないので、巡回診療で受ける治療が、その場限りのものになり、治療が続けられない
② 個々の巡回診療がもよりの医療施設や他の巡回診療と無関係に行なわれているので、巡回診療で受けた診断・治療が、次の治療につなげられない
③ 巡回診療の診療内容が、もよりの医療施設でうけられる診療の域を出ない
④ その他 ()

Q 3 3

Ⅶ. 集団検診・健診

次に、地区の人々が利用できる集団検診・健診についておたずねします。

Q 3 4. この地区の成人を対象とする集団検診（地区の人々が往復に半日ぐらいかければ利用できる範囲内で実施されたものに限る）として、昭和51年度には何が実施されましたか。実施されたものすべてを回答らんに記入して下さい（結核を除く）。

- ① 循環器検診
- ② 胃 検 診
- ③ 子宮がん検診（又は婦人科検診）
- ④ 特に出様き者を対象とする検診
- ⑤ その他（ ）

--	--	--	--	--	--

Q 3 4

Q 3 5. この地区についていえば、総体的にみて、ここ数年の間に、成人を対象とする集団検診の受診率はふえていますか、それともへっていますか。

- ① ふえている
- ② かわらない
- ③ へっている

--

Q 3 5

（ふえた場合は記入して下さい）

→ Q 3 5 - S Q 1. 受診率がふえた理由は何だと思えますか。

()

（へった場合は記入して下さい）

→ Q 3 5 - S Q 2. 受診率がへった理由は何だと思えますか。

()

Q 3 6. 地区の人々が3才児健診の実施会場まで行くのに、最もふつうに用いられる交通手段で、片道どれ位かかりますか。

- ① 1時間以内
- ② 1～2時間
- ③ 2～3時間
- ④ 3～5時間
- ⑤ 5時間以上

--	--	--	--

Q 3 6

Q 3 7. 昭和51年度には、3才児健診の該当者が地区内に何人いましたか。そのうち何人が受診しましたか。

Q 3 7

Q 3 8. 昭和51年度に3才児健診のほか、この地区の乳幼児を対象とする健診（地区の人々が往復に半日ぐらいかければ利用できる範囲内で実施されたものに限る）はありましたか、又、それは何ヶ月あるいは何才児を対象としたものでしたか。

- ① 実施された（対象児 ）
- ② 実施されなかった

--

Q 3 8

Q 3 9. （昭和51年度に地区内で妊娠届出があった場合のみ記入して下さい）

昭和51年度に妊娠届出した地区内の人のうち何人が公費による妊婦健診を受けましたか。

Q 3 9

A. 妊娠届出総数

B. Aのうち妊婦健診を1回以上うけた人

C. Bのうち2回以上うけられる妊婦健診をすべてうけた人

Ⅲ. 救急医療

次に、この地区に急病人が発生した時のことや救急医療体制についておたずねします。

Q 4 0. 地区内に救急医療に何らかの協力をする人が特に決められていますか。

① 決められている

② 決められていない

Q 4 0

(Q 4 0 の回答が①の場合は、SQ 1、SQ 2を記入して下さい)

→ Q 4 0 - SQ 1. それほどのような名称ですか。またどのようなことに協力するのですか。

()

→ Q 4 0 - SQ 2. その人は次のうちどれに該当しますか。

① 就業していない看護職 (保健婦、助産婦、看護婦、看護婦、准看護婦)

② 看護職の資格はないが、何らかの救急訓練を受けた人

③ 看護職の資格もなく、救急訓練も受けていない人

Q 4 0
SQ 2

Q 4 1. 地区内に急病人が出た場合、医師に往診してもらうことができますか。夏冬別に記入して下さい。

① たいいて来てもらえる

② その時の事情による

③ よほどの緊急事態でないとならない

④ まず来てもらえない

Q 4 1
夏

冬

Q 4 2. すぐ処置する必要があるのに医師にみせるまでにかかり時間がかかる場合、応急処置は誰によってなされることが最も多いですか。ここ1～2年のことを考えて、下から1つだけ答えらして下さい。

① 保健所・市町村の保健婦

② もよりの医療施設の看護職 (保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦)

③ 救急医療に協力するよう特にきめられた非就業看護職

④ 救急医療に協力するよう特にきめられた人 (③を除く)

⑤ その他 (①②③以外) の看護職 (例、たまたまそこに居住している人)

⑥ 家族やまわりの人が医師、看護婦等と連絡をとって

⑦ 家族やまわりの人が自己流で

⑧ その他 ()

⑨ 応急処置を必要とすることはほとんどなかった

Q 4 2

Q 4 3. 急病人を医師がいつもいるもよりの医療施設に搬送する場合、地区中心地からの片道にどれ位の時間がかかりますか。夏冬別に記入して下さい。冬については、特に大雪やなだれ発生時ではなく、ふつうの状態を考えて下さい。

① 1時間以内

② 1～2時間

③ 2～3時間

④ 3～5時間

⑤ 5時間以上

Q 4 3
夏

冬

Q 4 4. ここ2年ほどの間に冬に冬に急病人が発生し、当日中に搬送できず何日か待つということがありますか。最も長く待った時、何日待ちましたか。

- ① そのようなことはなかった
 ②翌日まで待った
 ③ 2日待った
 ④ 3日以上待った

Q44

Q 4 5. この地区の人々が利用できる公的な救急搬送手段として何がありますか。夏冬別に利用できるものをすべてをあげて下さい。

Q45	夏	冬
① 救急車		
② 患者輸送車		
③ 雪上車		
④ スノーポート		
⑤ その他()		
⑥ 何もない		

- ① 救急車 ② 患者輸送車 ③ 雪上車 ④ スノーポート
 ⑤ その他() ⑥ 何もない

Q 4 6. この地区の人々にとって、公的な救急搬送手段は利用しやすいですか。

- ① 利用しやすい
 ② 利用しやすい時と、しにくい時がある
 ③ 利用しにくい

(Q 4 6の回答が②の場合は記入して下さい)

→ Q 4 6 - S Q 1. どのような時に利用しにくいのですか。

()

Q 4 7. 急病人発生時、公的な搬送手段を利用できず、やむをえずタクシー、ハイヤーを利用したり、あるいは公的な搬送につなげるまでの間をタクシー、ハイヤーで搬送した場合、市町村より費用が補填されることがありますか。

- ① あ る
 ② な い

Q47

(費用の補填がある場合)

→ Q 4 7 - S Q 1. 補填される場合の条件、補填額などについて記入して下さい。

()

Q 4 8. 急病人を医師がいつもいるもよりの医療施設に搬送するのにタクシー、ハイヤーを利用した場合、費用はどれ位かかりますか。

- ① 500円以内 ② 500～1,000円
 ③ 1,000～2,000円 ④ 2,000～3,000円
 ⑤ 3,000～5,000円 ⑥ 5,000円以上

Q48

Q 4 9. この地区の救急医療体制全般について特に問題だと思うことがあれば記入して下さい。また、今までに手おくれになったという事例があれば、その状況、そこでの問題点などについて記入して下さい。

()

Ⅶ. 冬期間医療対策

次に、冬期間医療対策についておたずねします。

Q 5 0. この地区の人々が利用できる積雪期のための公的な保健医療サービスとして次のようなものがありますか。ある場合は（ ）の中に具体的な内容を記入して下さい。

A. 積雪期前の巡回診療・相談など

① なし
② あり ()

Q 5 0
A

B. 積雪期巡回診療

① なし
② あり ()

Q 5 0
B

C. 積雪期出張診療

① なし
② あり ()

Q 5 0
C

D. 電話相談

① なし
② あり ()

Q 5 0
D

E. 医薬品の配布・配置

① なし
② あり ()

Q 5 0
E

F. 治療をつづけている人に対する薬の郵送

① なし
② あり ()

Q 5 0
F

G. その他

① なし
② あり ()

Q 5 0
G

Q 5 1. 積雪期のための保健医療サービスとして今はないけれども、この地区にとって是非必要なものがありますか。それは何ですか。

()

Ⅷ. 地区での保健婦活動

次に、あなたの地区での活動についておたずねします。

Q 5 2. あなたがこの地区を担当してからどれだけたちますか。

① 1年未満
② 1～2年未満
③ 2～4年未満
④ 4～6年未満
⑤ 6～8年未満
⑥ 8～10年未満
⑦ 10年以上

Q 5 2

Q 5 3. あなたの主たる勤務場所はどこですか。

① 地区内の駐在所	Q53 □
② 地区外の駐在所	
③ 市町村役場	
④ 保健所	
⑤ その他	

(勤務場所が地区の外である場合、SQ1～SQ6について記入して下さい)

→ Q53-SQ1. あなたはそこからこの地区へ行くのにふつう何を使いますか。夏冬別に記入して下さい。2つ以上の乗物を併用する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上に片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

① 徒歩	② 自転車	③ バイク	Q53-SQ1 夏 冬 □ □
④ 公共の乗物(バス・鉄道)	⑤ 公用車	⑥ その他()	

→ Q53-SQ2. その方法で勤務地から地区中心地まで片道でどれ位かかりますか。夏冬別に記入して下さい。

① 30分以内	② 30分～1時間	Q53 夏 冬 □ □
③ 1時間～1時間30分		
④ 1時間30分～2時間		
⑤ 2～3時間	⑥ 3時間以上	

→ Q53-SQ3. 地区内で3時間程度の仕事をするとして日帰りが可能ですか。夏冬別に記入して下さい。

① できる	Q53 夏 冬 □ □
② できない	

SQ4.
SQ5.
SQ6へ

→ Q53-SQ4. 地区内で活動の拠点をもっていますか。もっているとすれば、それはどんなところかを()に記入して下さい。

① もっている()	Q53 SQ4 □
② もっていない	

→ Q53-SQ5. あなたは昭和51年度にこの地区に何日出むきましたか(前任者の分を含む)。

Q53 SQ5 □	日
-----------------	---

→ Q53-SQ6. そのうち、昭和51年12月～昭和52年3月には何日出むきましたか。

Q53 SQ6 □	日
-----------------	---

Q54. あなたが昭和51年度にこの地区内の世帯に対して実施した家庭訪問について記入して下さい(前任者の分を含む)。

A. 1年間の訪問件数(延)	Q54 A □	件
B. 昭和51年12月～昭和52年3月までの訪問件数(延)(再掲)	□	件
C. 1年間の訪問実件数	□	件
D. 1年間の訪問世帯実数	□	件

Q55. あなたは、昭和51年度に地区内で健康相談をしましたか(前任者の分を含む)。

① した	Q55 □
② しない	

(健康相談をした場合、SQ1、SQ2について記入して下さい)

→ Q55-SQ1. 1年間の回数、延件数はどれだけですか。

Q55 SQ1 □	回
□	件

SQ2へ

→ Q55-SQ2. どんな相談内容が多いですか。

成人病について

()

母子について

()

その他

()

Q56. 昭和51年度に地区内で実施された、保健婦が参加する衛生教育はありましたか。

① あった
② なかった

Q56

(衛生教育が実施された場合は記入して下さい)

→ Q56-SQ1. 1年間の回数、参加人員はどれだけですか。 Q56

回
人

Q57. あなたは、この地区の人々が最もよく利用している医療施設の医師と接触をえていますか。

① よく接触している
② たまに接触している
③ ほとんど接触していない
④ 全く接触していない

Q57

(Q57の回答が①、②の場合、記入して下さい)

→ Q57-SQ1. それはどのようなとき、どのようなことについてですか。

()

Q 5 8. あなたは、この地区の人々がよく利用している医療施設の看護婦（准看護婦）と接触もっていますか。

① よく接触している
② たまに接触している
③ ほとんど接触していない
④ 全く接触していない

Q 5 8

（ Q 5 8 の回答が①、②の場合、記入して下さい）

→ Q 5 8 - S Q 1. それはどのようなとき、どのようなことにつながっていますか。

()

Q 5 9. この地区の人々がよく利用している医療施設の医師や看護婦（准看護婦）と
付き合いをとろうとする時、特に問題となることは何ですか。

A. 医師との付き合い上の問題

()

B. 看護婦（准看護婦）との付き合い上の問題

()

Q 6 0. あなたは、この地区の人々の健康を守るために、巡回診療や集団検診をどのように活用していますか。

()

Q 6 1. 地区内に急病人やけが人が出た場合、あなたは何かの関与をしますか。

① 関与することが多い
② 関与することもある
③ ほとんど関与しない

Q 6 1

（ Q 6 1 の回答が①、②の場合、S Q 1、S Q 2について記入して下さい）

→ Q 6 1 - S Q 1. それはどのようなことですか。

()

→ Q 6 1 - S Q 2. 過去 2 年間にあなた（または前任者）が、この地区で行なった応急処置の中で、最も大変だったと思うもの一例について、その時の状況、応急処置の内容などについて記入して下さい。

()

Q 6 2. 地区内で保健婦活動をすすめるうえで、あなたはどんな住民組織をどのように活用していますか。

A 豪雪地および離島の保健医療状況調査 離島用 島しよの健康問題と保健医療に関する調査

昭和52年

社団法人 日本看護協会
調査研究部

この調査票は、島民の健康問題、保健医療サービスの利用可能性および島における保健婦活動について、原則として島を担当する保健婦の皆様が、他の人と相談するなどして記入するようになっております。

Q 6 3. あなたが、この地区で地区活動をしようとする時、困ることや悩みがあったら記入して下さい。

調査項目はできるだけ記入しやすいように工夫したつもりですが、中には調べなければ記入できないものもあり、調査票を完成させるのにかなりの時間を要するのではないかと思います。ただでさえ多忙な中、このような仕事をしていたたぐのは誠に心苦しいのですが、できるだけ全項目について御記入下さいますようお願い致します。

<記入上の注意>

- ・調査票は、島全体について記入する第1部と、島内の無医地区（島内に無医地区がない場合は、島内で医療機関の利用が最も不便な集落）について、地区単位で記入する第2部とに分かれています。
- ・時期を特に指定していない設問については、できるだけ現在に近い状況について記入して下さい。また、「ここ1年」のことを問うている設問があります。これは、厳密に言えば調査時より過去1年間をさしますが、半年以内ならずれてもかまいません。
- ・回答を選択肢から選ぶ場合は、該当する回答の番号を に記入して下さい。1つの に回答は1つだけです。
- ・ には選択肢の番号または実数を、() には文字を記入するようになっています。
- ・回答を要しない項目については、記入もれと区別するため次のように回答らんに斜線をひいて下さい。 (/)
- ・全部記入し終ったら、記入もれがないか点検して下さい。

御協力ありがとうございました。

第1部 島全体について

F. まずこの島の全体的なことについて記入して下さい。

F 1. 島の名称 ()
 F 2. 所属県名 ()
 F 3. 管轄保健所名 ()
 F 4. 市町村名 (島にいくつかの市町村がある場合は、すべてを記入して下さい。)
 ()
 F 5. 島内無医地区数 (ない場合は0と記入して下さい。)
 F 6. 島担当保健婦 (この調査票の記入者) の所属
 ① 市町村 ② 県

F5 F6

I. 交通・通信

まず島の交通、通信事情についておたずねします。

Q 1. 島には、定期船が接岸できる港がありますか。

- ① な い ② 1つある ③ 2つ以上ある

Q1

Q 2. この島には、定期船が運航していますか。

- ① 運航している
 ② 運航していない

Q2

(定期船が運航している場合は、SQ 1～SQ 4について記入して下さい)

→ Q 2 - SQ 1. この島から本土 (本州、四国、九州) に向う定期船 (途中で乗りかえる場合も含む) は何便出ていますか (特に多かったり、少なかったりするシーズンではなく、通常時の便数を記入して下さい)。

- ① 1週1回以下 ② 2日おき ③ 1日おき
 ④ 1日1便 ⑤ 1日2便 ⑥ 1日3便
 ⑦ 1日4～5便 ⑧ 1日6便以上

Q2-SQ1

→ SQ 2へ

→ Q 2 - SQ 2. 本土の港まで定期船で通常何時間かかりますか (途中で乗りかえる場合、乗りかえ時間も含む)。

- ① 30分以内 ② 30分～1時間
 ③ 1時間～1時間30分 ④ 1時間30分～2時間
 ⑤ 2～3時間 ⑥ 3～5時間
 ⑦ 5時間以上

Q2-SQ2

→ Q 2 - SQ 3. この1年間に、本土に向う定期船が欠航したうちで、最長欠航日数は何日ですか (何日かおきの定期便が欠航した場合は、前の定期便が出てから、次の便が出るまでを、欠航日数とみなします)。

- ① そのようなことはなかった ② 2日以内
 ③ 3～5日 ④ 6～10日
 ⑤ 11～15日 ⑥ 16～20日
 ⑦ 21日以上

Q2-SQ3

→ Q 2 - SQ 4. 定期船の欠航日数は、この1年間にあわせて何日ありましたか。(何日かおきの定期便が欠航した場合は、前の定期便が出てから、次の便が出るまでを、欠航日数とみなします)。

- ① な し ② 5日以内
 ③ 6～10日 ④ 11～20日
 ⑤ 21～30日 ⑥ 31～50日
 ⑦ 51日以上

Q2-SQ4

Q 3. この島には、定期の飛行機が運航していますか。

- ① 運航している ② 運航していない

Q3

Q 4. この島には、ヘリコプターが着陸できますか。

- ① 昼夜ともできる
 ② 昼のみできる
 ③ できない

Q4

Q 5. 動力付自家用船の普及率（島の全世帯に対する、自家用船のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q 5

Q 6. 自家用車の普及率（島の全世帯に対する、自家用車のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q 6

Q 7. 電話の普及率（島の全世帯に対する、有線も含め電話のある世帯の比率）はどれ位ですか。

- ① 0%
- ② 10%未満
- ③ 10～30%未満
- ④ 30～50%未満
- ⑤ 50～70%未満
- ⑥ 70～90%未満
- ⑦ 90～100%

Q 7

Ⅱ. 世帯、人口、人口動態

次に、島の世帯数、人口、人口動態についておたずねします。

Q 8. 島の住民登録上の世帯数を記入して下さい。

- A. 昭和40年（12月またはそれに近い月）
- B. 昭和45年（12月またはそれに近い月）
- C. 昭和50年（12月またはそれに近い月）
- D. 昭和52年（7月またはそれに近い月）

Q 8

世帯
世帯
世帯
世帯

Q 9. 現在、島内で生活保護をうけている世帯はどれだけあります
か（昭和52年7月現在またはそれに近い月）

Q 9

世帯

Q 10. 島の住民登録上の人口について記入して下さい。

- A. 昭和52年の人口（7月またはそれに近い月）
- A-1. 総人口
- A-2. 65才以上の人口
- A-3. 15～64才の人口
- A-4. 乳幼児（学令前）の人口
- B. 昭和40年の総人口（12月またはそれに近い月）
- C. 昭和45年の総人口（12月またはそれに近い月）
- D. 昭和50年の総人口（12月またはそれに近い月）

Q 10

人
人
人
人
人
人
人

Q 11. 昭和51年の出生、出生等の実数を記入して下さい。

- A. 出生総数
- B. 低体重児（2500g以下）
- C. 乳児死亡（生後1年未満）
- D. 周産期死亡（妊娠8ヶ月以降生後1週未満）
- E. 妊産婦死亡

Q 11

件
件
件
件
件

Ⅱ. 住民の健康問題

次に、島民の生活、労働環境及びそこから来る健康問題についておたずねします。

Q 1 2. ある種の食品類が手に入りにくく、栄養のバランスがとりにくいということがありますか。それはどんな食品類ですか。

()

Q 1 3. 島民の食生活に関し、健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい（栄養のバランス一特に蛋白質、塩分、アルコールの摂取など）。

()

Q 1 4. 島の飲料水に関し、健康上特に問題になることがあれば記入して下さい。

()

Q 1 5. 島民はどのような労働にたずさわっていますか、就労者の多い順に3つ記入して下さい（例：みかん栽培、定着網漁、はたおり、土木作業など）。

男	1 ()	女	1 ()
	2 ()		2 ()
	3 ()		3 ()

Q 1 6. 島民の労働量・労働形態など、就労に関して健康上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。男・女・老人にわけて記入して下さい。

男	()	()	()
女	()	()	()
老人	()	()	()

Q17. ここ一年間の出稼ぎ者は何人ぐらいいですか。年間出稼ぎ日数別に記入して下さい(4ヶ月にみまない出稼ぎは除く)。

A. 7ヶ月以上 Q17

人
人

B. 4～6ヶ月以内

Q18. 出稼ぎ者の健康問題に関して、特に問題となること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

Q19. この島で、母子保健上特に問題になること、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

Q20. この島で特に多い、あるいは問題となる傷病は何でしょうか。その原因は何だと思えますか。このことに関連し、保健婦活動上特に留意していることがあれば記入して下さい。

()

Q21. ところで、現在島内に次の疾患をもっている人が何人いますか。また、ねたきり老人は何人いますか。もしわかるようでしたら記入して下さい。

A. 結核 Q21

人
人
人
人
人
人

B. 精神病

C. 高血圧性疾患

D. 心疾患

E. 脳卒中後遺症

F. ねたきり老人(再掲)

Q22. この島内に住民が参加している保健医療のための何らかの組織がありますか。

① ない
② ある

Q22

(組織がある場合は記入して下さい)

→ Q22-SQ 名称・構成メンバー・目的・活動内容などについて記入して下さい。

()

IV. 島内の医療施設・医療従事者および島民の受診状況

次に、島内の医療施設・医療従事者および島民の受診状況についておたずねします。

Q 2 3. 島内にある医療施設の数を、施設の種別別、設置主体別に記入して下さい。
ないものについては合計らんに0と記入して下さい。

施設の種別	設置主体	市町村	国	県	国	医 法	療 人	個 人	その他	計
一 般 病 院	院									
そ の 他 の 病 院 (精神、結核、らい)	院									
一 般 有 床 診 療 所	所									
一 般 無 床 診 療 所 (医 師 常 勤)	所									
一 般 出 張 診 療 所 (医 師 非 常 勤)	所									
齒科診療所(医師常勤 非常勤を問わない)	所									

Q 2 4. 島内にある次の保健医療施設の数を記入して下さい。ないものについては0と記入して下さい。

	カ所
A. 母子健康センター	カ所
B. 助産所	カ所
C. 特別養護老人ホーム	カ所
D. 保健所(支所を含む)	カ所
E. あんま、はり、きゆう所	カ所
F. 薬局	カ所
G. きぐすりや(薬種商、薬房)	カ所

Q 2 5. 国民健康保険に加入している島民の受診に対する保険給付状況がわかるようでしたら、記入して下さい。(5/年度について)

受診した施設	区分	一 般 診 療		齒科診療
		入 院	入 外	
島内の施設	件数			
	金額円			
島外の施設	件数			
	金額円			
計	件数			
	金額円			

Q 2 6. 島内で就業している保健医療関係者の数を、常勤者と非常勤者(月2日以上就業している者に限る)に分けて記入して下さい。いない場合は0と記入して下さい。

	常 勤	非 常 勤
A. 医 師	人	人
B. 齒科医 師	人	人
C. 薬 劑 師	人	人
D. 保 健 婦	人	人
E. 助 産 婦	人	人
F. 看 護 婦	人	人
G. 准 看 護 婦	人	人
H. 看護婦とよばれている無資格者	人	人
I. 養 護 教 諭	人	人
J. その他 ()	人	人

V. 巡回診療

次に、島内で実施された巡回診療についておたずねします。

Q27. この1年間に、島内で実施された巡回診療は何回ありましたか。同一診療班が次々と場所を移動する場合は1回として下さい。ただし時期を違えてくる場合はそれぞれを1回として下さい。

① なかった
 ② 1回 ③ 2回 ④ 3回 ⑤ 4～5回
 ⑥ 6回以上

Q27

(Q27の回答が⑥の場合は記入して下さい)

→Q27-SQ1. 月又は週に何回ですか。また実施主体はどこで、どのような方法で実施されていますか。具体的に記入して下さい。

()

(巡回診療があった場合、記入して下さい)

→Q27-SQ2. それらの巡回診療にはどのような診療科目が含まれていますか。あるものすべてを記入して下さい。

① 内科	② 外科
③ 耳鼻咽喉科	④ 眼科
⑤ 整形外科	⑥ 産婦人科
⑦ 小児科	⑧ 皮膚科
⑨ 精神科	⑩ 歯科
⑪ その他()	

Q27
SQ2

--	--	--	--	--	--	--	--

Q28. この1年間に島内で実施された巡回診療を利用した人は、延何人位いたでしょうか。

Q28

人

Q29. この島では、総体的にみて、ここ数年の間に巡回診療の利用者はふえていますか。

① ふえている
 ② かわらない
 ③ へっている

Q29

(ふえた場合は記入して下さい)

→Q29-SQ1. 利用者がふえた理由は何だと思えますか。

()

(へった場合は記入して下さい)

→Q29-SQ2. 利用者が減った理由は何だと思えますか。

()

Q 3 0. この島の人々にとって、現在実施されている巡回診療は役に立っていると思
いますか。

① 大いに役に立っている
② いくらか役に立っている
③ ないよりはいい
④ あっても仕方がない
⑤ 島では巡回診療は行なわれていない

Q 3 0

(Q 3 0 の回答が、①、②の場合、記入して下さい)

→ Q 3 0 - S Q 1. どのような意味で役に立っているのですか。主なものから順に 2
つえらんで下さい。

① 島民にとって、一番身近で利用しやすい診断・
治療のチャンスとなっている
② 島民は医療施設に行くこともできるが、巡回診
療時、たまたま具合が悪ければ、近いので利用
する
③ 健診・検診と同様、疾病の早期発見のチャンス
となっている
④ 近くの医療施設ではうけられない専門的な診断
・治療をうけるチャンスとなっている
⑤ その他 ()

Q 3 0 - S Q 1
1
2

Q 3 1. 巡回診療にはさまざまな問題があるようですが、次に示す中でこの島の人々
にとって問題だと思われるものをすべてあげて下さい。

① 近くに医療施設がなく、また巡回診療の数も少ないので、
巡回診療で受ける治療が、その場限りのものになり、治療
が続けられない
② 個々の巡回診療よりもよりの医療施設や他の巡回診療と無関
係に行なわれているので、巡回診療で受けた診断・治療が、
次の治療とつなげられない
③ 巡回診療の診療内容が、もよりの医療施設で受けられる診
療の域を出ない
④ その他 ()

Q 3 1

Ⅶ. 集団検診・健診

次に、島内で実施された集団検診・健診についておたずねします。

Q 3 2. 成人を対象とする集団検診として、島内では昭和 5 1 年度に何
が実施されましたか。実施されたものをすべてを回答欄に記入して下
さい (結核を除く)。

Q 3 2

① 循環器検診 ② 胃 検 診
③ 子宮がん検診 (または婦人科検診)
④ 特に出様ぎ者を対象とする検診
⑤ その他 ()

Q 3 3. この島では、総体的にみて、ここ数年の間に、成人を対象とする集団検診の
受診率はふえていますか、それともへっていますか。

① ふえている
②かわらない
③ へっている

Q 3 3

(ふえた場合は記入して下さい)

→ Q 3 3 - S Q 1. 受診率がふえた理由は何だと思えますか。

()

(へった場合は記入して下さい)

→ Q 3 3 - S Q 2. 受診率がへった理由は何だと思えますか。

()

Ⅶ. 救 急 医 療

救急医療体制についておたずねします。

Q 3 4. 昭和51年度の3才児健診は島内で実施されましたか。

① 島内で実施された Q34
 ② 島内では実施されなかった

(島内では実施されなかった場合、記入して下さい)

→ Q34-SQ.1. 島外の実施会場まで行くのに、最も普通に用いられる交通手段で、島の中心地から片道どれ位かかりですか。

① 1時間以内 ② 1～2時間
 ③ 2～3時間 ④ 3～5時間 Q34
 ⑤ 5時間以上 SQ.1

Q 3 5. 昭和51年度には、3才児健診の該当者が島内に何人いましたか。そのうち何人が受診しましたか。

Q35
 該当者 人
 受診者 人

Q 3 6. 昭和51年度に島内で実施された乳幼児健診が、3才児健診のほかにありましたか、また、それは何ヶ月児、あるいは何才児を対象としたものでしたか。

① 実施された(対象児) Q36
 ② 実施されなかった

Q 3 7. (昭和51年度に島内で妊娠届があった場合のみ記入して下さい)
 昭和51年度に妊娠届をした島民のうち何人が公費による妊婦健診を受けましたか。

A. 妊 娠 届 出 総 数 件 Q37
 B. Aのうち妊婦健診を1回以上うけた人 人
 C. Bのうち2回以上うけられる妊婦健診をすべてうけた人 人

Q 3 8. この島には、島内外への救急搬送手段(公的なもの)として、次のものが配備されていますか。あるものすべてをあげて下さい。

① 患者輸送車 ② 救 急 車
 ③ 患者輸送艇 ④ その他() Q38

Q 3 9. 島外への公的な救急搬送にはどのような方法がとられていますか。頻度の高い順に2つえらんで下さい。

① この島に配備されている公的船舶を使う
 ② 他の島あるいは本土に配置されている公的船舶を使う Q39
 ③ ヘリコプターを使う
 ④ 仕立船で行く
 ⑤ 定期船を利用する
 ⑥ その他()

Q 4 0. ここ2年ほどの間に島内の急病人を島外へ搬送する必要があるのに、当日中に搬送できず何日か待つということがありましたか。最高何日待ちましたか。

① そのようなことはなかった Q40
 ② 翌日まで待った
 ③ 2日待った
 ④ 3～5日待った
 ⑤ 5日以上待った

Q 4 1. この1年間に島外へのヘリコプターによる救急搬送がどれだけありましたか。行政へリ、自衛隊へリ別に記入して下さい。なかった場合は0と記入して下さい。また、もし傷病別内訳が分るようでしたらこのらんもうめて下さい。

件 数	傷 病 別	内 訳
行政へリ		
自衛隊へリ		

Q 4 2. 急患発生からヘリコプター出動までの手続、連絡などはどのようにしてなされますか。また、その過程で特に問題になることがあれば記入して下さい。

A. 手続、連絡など

()

B. 特に問題になること

()

Q 4 3. この島の救急医療体制全般について、特に問題だと思ふことがあれば記入して下さい。また、今までに手おくれになったという事例があれば、その時の状況、そこでの問題点について記入して下さい。

A. 特に問題だと思ふこと

()

B. 手おくれになった事例

()

Ⅷ. 島での保健婦活動

次に、この島での保健婦活動についておたずねします。Q 4 4 ~ 4 6 は、保健所保健婦および市町村（国保を含む）保健婦の活動をあわせて考えて下さい。

Q 4 4. 昭和 5 1 年度に島内で実施された保健婦の家庭訪問件数を、保健所保健婦によるものと、市町村（国保を含む）保健婦によるものとに分けて記入して下さい。ない場合は 0 と記入して下さい。

Q 4 4	A. 訪問件数(延)	保健所	市町村
	B. 訪問件数(実)	件	件
	C. 訪問世帯数(実)	件	件

Q 4 5	昭和 5 1 年度に島内で実施された保健婦の健康相談は何回	Q 4 5
	ありましたか。延件数はどれだけですか。なかった場合は 0 と記入して下さい。	回
		件

(島内で保健婦の健康相談が実施されている場合は記入して下さい)

→ Q 4 5 - SQ 1. どんな相談内容が多いですか。

()

Q 4 6	昭和 5 1 年度に、島内で実施された、保健婦が参加する衛生教育は何回ありましたか。延参加人員はどれだけですか。なかった場合は 0 と記入して下さい。	Q 4 6
		回
		人

→Q48-SQ4. あなたが島内で活動するのに、活動の拠点となる場所がありますか。あるとすればそれはどこかを()に記入して下さい。

① あ る ()
 ② な い

Q48
SQ4

→Q48-SQ5. あなたの昭和51年度のこの島における活動日数はどれだけですか(前任者の分を含む)。

Q48
SQ5

日

→Q48-SQ6. あなたはこの島に出むくの、次のどの形をとっていますか。該当するものすべてを記入して下さい。

① 一時駐在(定期)
 ② 一時駐在(不定期)
 ③ 出張(定期)
 ④ 出張(不定期)

Q48
SQ6

→Q48-SQ7. あなたが島に出むく時の主目的は何ですか。何回か異なる目的で出むく場合は、該当するものすべてを記入して下さい。

① 家庭訪問を主目的として
 ② 健康相談を主目的として
 ③ 衛生教育を主目的として
 ④ 移動保健所に同行
 ⑤ 巡回診療に同行
 ⑥ その他()

Q48
SQ7

Q49 あなたは巡回診療や集団検診を、自分の活動の中になんか位置づけ、どう活用していますか。

()

Q47~52は、あなたのこと、あるいはあなたの活動について記入して下さい。

Q47. あなたがこの島を担当してからどれだけの活動がありますか。

① 1年未満
 ② 1~2年未満
 ③ 2~4年未満
 ④ 4~6年未満
 ⑤ 6~8年未満
 ⑥ 8~10年未満
 ⑦ 10年以上

Q47

Q48. あなたの主たる勤務場所はどこですか。

① この島の中の市町村役場
 ② この島の中の保健所(支所を含む)
 ③ この島の中の駐在所
 ④ この島の中のその他の場所()
 ⑤ この島の外の市町村役場
 ⑥ この島の外の保健所(支所を含む)
 ⑦ この島の外の駐在所
 ⑧ この島の外のその他の場所()

Q48

(勤務場所が島外である場合、SQ1~SQ6について記入して下さい)

→Q48-SQ1. あなたはそこからこの島へ行くのに、何を使いますか。

① 定期船
 ② 公用艇
 ③ 定期飛行機
 ④ 行政ヘリコプター
 ⑤ その他()

Q48
SQ1

→Q48-SQ2. その方法で勤務場所から島まで片道でどれ位かかりですか。

① 30分以内
 ② 30分~1時間
 ③ 1時間~1時間30分
 ④ 1時間30分~2時間
 ⑤ 2~3時間
 ⑥ 3時間以上

Q48
SQ2

→Q48-SQ3. 島内で3時間程度の仕事をすると、日帰りが可能ですか。

① できる
 ② できない

Q48
SQ3

→ SQ4へ

Q 5 0. 島内に急病人やけが人が出た場合、あなたは何らかの関与をしますか。

① 関与することが多い	Q50
② 関与することもある	
③ ほとんど関与しない	

(Q 5 0の回答が①、②の場合は記入して下さい)

→ Q 5 0-SQ 1. それはどのようなことですか。

Q 5 1. 島内で保健婦活動をすすめるうえで、あなたはどんな住民組織を、どのよう
に活用していますか。

Q 5 2. あなたがこの島で地区活動をしようとする時、困ることや悩みがあったら記
入して下さい。

第2部 無医地区、あるいは島内で医療機関の利用が最も も不便な地区(集落)について

島に無医地区が2つ以上ある場合は、1地区につき1票記入して下さい。島
に無医地区がない場合は、常設の医療機関の利用が最も不便である島内の地区
(集落) 1カ所について記入して下さい。

F. まずこの地区の全体的なことについて記入して下さい。

F 1. 地区の名称 ()	
F 2. 所属島の名称 ()	
F 3. 住民登録上の人口 (昭和52年7月現在またはそれに近い月)	F3 [] 人
F 4. 住民登録上の世帯数 (昭和52年7月現在またはそれに近い月)	F4 [] 世帯

次に、この地区の人々が利用できる医療サービスについておたずねします。

Q 1. 地区中心地から最も近い(はやく行ける)医療施設(地区の住民が病気のとき
みてもらえるところ)は次のうちどれですか。通院に10分以上の違いがないと
ころに2つ以上の施設がある場合は、その地区の人々がより多く利用する方につ
いて記入して下さい。

① 病院	② 有床診療所	Q1
③ 医師が常勤する無床診療所		
④ 医師が常勤しない診療所(出張診療所)		
⑤ その他 ()		

(Q 1の回答が④の場合、SQ 1~SQ 2について記入して下さい)

→ Q 1-SQ 1. 診療日は月間何日ですか。

① 3日以下	② 4~6日	Q1 SQ1
③ 7~9日	④ 10~12日	
⑤ 13~15日	⑥ 16日以上	

SQ 2へ

→ Q1-SQ2. その診療所には常勤者がいますか。

①	い	る
②	い	ない

Q1
SQ2

(常勤者がいる場合は記入して下さい)

→ Q1-SQ2-SSQ1. どのような職種の人が何人いますか。

()

Q2. 地区の人がそこ(Q1で答えたもよりの病院、診療所)へ通院するのに、どのような乗物を使っていますか(重病人の輸送、緊急搬送ではない)。最も多く用いられているものを1つえらんで下さい。ただし2つ以上の乗物を併用して通院する場合は、そのすべてを記入して下さい。車等を使った上に片道20分以上の徒歩を要する場合も、併用とみなします。

①	自家用車(他家の自家用車への便乗を含む)
②	バス
③	定期船
④	自家用船(他家の自家用船への便乗を含む)
⑤	徒歩
⑥	自転車
⑦	タクシー・ハイヤー
⑧	その他()

Q2

--	--	--

Q3. その方法で(前の間で答えた乗物を使って)通院した場合、乗換え、待ち合せ、診療時間などを含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりですか。

①	2時間以内	②	2～3時間
③	3～5時間	④	5～7時間
⑤	7時間以上		
⑥	日帰りできないので泊り込みを必要とする		

Q3

Q4. 地区中心地から最も近い(はやく行ける)次における各医療施設へ、最もふつうに用いられている交通手段で通院した場合、乗換え、待ち合せ、診療時間等も含め、地区の中心地からの往復におよそどれ位かかりですか。A～Mの各々にについて、下の□の選択肢からえらんで下さい。

①	半日以内	②	1日ばかり	③	1泊
④	2泊	⑤	3泊以上		

Q4	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

A. 医師が常勤する医療施設
 B. 有床診療所
 C. 病院
 D. 赤血球数、白血球数、血色素数、ヘマトクリットの血液検査ができる医療施設(そこから他所へ検体を送る場合も含める)
 E. 血液検査のうち肝機能検査のできる医療施設(そこから他所へ検体を送る場合も含める)
 F. 虫垂炎の手術のできる医療施設
 G. 眼科を有する医療施設
 H. 耳鼻科を有する医療施設
 I. 産婦人科を有する医療施設
 J. 皮膚科を有する医療施設
 K. 歯科を有する医療施設
 L. リハビリテーションを受けられる医療施設
 M. 助産所又は母子健康センター

Q5. 地区の人々に利用されているもよりの医療施設と、より専門的な治療ができる他の医療施設との連絡、連けいはスムーズに行っていますか。この点について特に問題になることがあれば記入して下さい。

()

Q 6. この地区の人々が医療施設へ通院するのに利用できる患者輸送のための車あるいは船がありますか。また、その設置主体はどこですか。

① ある (設置主体)
 ② な い

Q6

Q 7. 慢性疾患で在宅療養をしているこの地区の人で、通院ができない(あるいは困難な)場合、通院以外の方法で保健医療サービスを受けることができますか。次に示すものうち可能なものをすべてを記入して下さい。

① 電話で医師に相談することができる
 ② 医師の往診を求めることができる
 ③ 電話等による医師の指示にもとづき、医師以外の人から治療を受けることができる
 ④ 医師以外の保健医療関係者の訪問をうけることができる
 ⑤ 医師以外の保健医療関係者に電話で相談することができる

Q7

(Q 7 の回答が ③ の場合は記入して下さい)

→ Q 7-SQ 1. それはどんな職種の人ですか。

(Q 7 の回答が ④ の場合は記入して下さい)

→ Q 7-SQ 2. それはどんな職種の人ですか。

(Q 7 の回答が ⑤ の場合は記入して下さい)

→ Q 7-SQ 3. それはどんな職種の人ですか。

Q 8. 地区内に救急医療に何らかの協力をする人が特に決められていますか。

① 決められている
 ② 決められていない

Q8

(Q 8 の回答が ① の場合、SQ 1、SQ 2 を記入して下さい)

→ Q 8-SQ 1. それはどのような名称ですか。またどのようなことに協力するので

すか。

→ Q 8-SQ 2. その人は次のうちどれに該当しますか。

① 就業していない看護婦 (保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦)
 ② 看護職の資格はないが、何らかの救急訓練を受けた人
 ③ 看護職の資格もなく、救急訓練も受けていない人

Q8
SQ2

Q 9. 地区内に急病人が出た場合、医師に往診してもらうことができますか。

① たいいてい来てもらえる
 ② その時の事情による
 ③ よほどの緊急事態でないと来てもらえない
 ④ まず来てもらえない

Q9

Q10. すぐ処置する必要があるのに医師にみせるまでにかかり時間がかかる場合、
 応急処置は誰によってなされるのが最も多いですか。ここ1～2年のことを考
 えて、下から1つだけえらんで下さい。

- ① 保健所、市町村の保健婦
- ② もよりの医療施設の看護職（保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦）
- ③ 救急医療に協力するよう特にきめられた非就業看護職
- ④ 救急医療に協力するよう特にきめられた人（③を除く）
- ⑤ その他（①②③以外）の看護職（例：たまたまそこに居住している人）
- ⑥ 役場の人、警察の人、学校の先生など公務員
- ⑦ 家族やまわりの人が医師・看護婦等と連絡をとって
- ⑧ 家族やまわりの人が自己流で
- ⑨ その他（ ）
- ⑩ 応急処置を必要とすることはほとんどなかった

Q10

Q11. 急病人を医療施設に搬送する場合、地区中心地から、時間は最低片道どれ位
 かかりますか。

- ① 1時間以内
- ② 1～2時間
- ③ 2～3時間
- ④ 3～5時間
- ⑤ 5時間以上

Q11

Q12. この地区の人々にとって、公的な救急搬送手段は利用しやすいですか。

- ① 利用しやすい
- ② 利用しやすい時と、しにくい時がある
- ③ 利用しにくい

Q12

（Q12の回答が②の場合は記入して下さい）

→Q12-SQ1. どのような時に利用しにくいのですか。

()

（Q12の回答が③の場合は記入して下さい）

→Q12-SQ2. なぜ利用しにくいのですか。

()

Q13. 急病人発生時、公的な搬送手段を利用できず、やむをえず、タクシー、ハイ
 ヤー、チャーター船を利用したり、あるいは公的な搬送につなげるまでの間をタ
 クシー、ハイヤー、チャーター船で搬送した場合、市町村より費用が補填される
 ことがありますか。

- ① あ
- ② な
- ③ る
- ④ い

Q13

（費用の補填がある場合は記入して下さい）

→Q13-SQ1. 補填される場合の条件、補填額などについて記入して下さい。

()

B 豪雪地および離島住民の保健医療に関する意識調査 豪雪地用

付：記入の手引（調査員への説明書）
略：選択肢のカード（対象者に提示したもの）

豪雪地無医地区住民調査票

昭和52年

社団法人 日本看護協会
調査研究部

Q14. 急病人を医療施設に搬送するのにタクシー、ハイヤー、チャーター船を利用した場合、費用は最低どれ位かかりますか。

① 500円以内	② 5000～1,0000円
③ 1,000～2,000円	④ 2,000～3,000円
⑤ 3,000～5,000円	⑥ 5,000～1,0,000円
⑦ 10,000円以上	

Q14

この調査票は、保健婦さんが無医地区住民と面接しながら、ご記入いただくものです。「記入のてびき・豪雪地無医地区住民調査用」と、この調査票の内容とをあらかじめよくお読みの上、調査を実施して下さい。

記入上の注意

- ・調査者（保健婦）は、質問文だけを読みあげて下さい。（ ）の中は読む必要はありません。
- ・（カード提示）とある場合は、選択肢のカードを対象者にみせて、その中から答えてもらって下さい。
- ・回答らには、対象者の回答に最も近い選択肢の番号を1マスに1つだけ記入して下さい。

例

Q50	3
1	
P	1

- ・対象者によっては、とばしてよい質問があります。（SQ、あるいは、妊娠出産を経験しない人など）この場合は記入もれと区別するため、とばしてよい質問の回答らんに右のように斜線をひいて下さい。



※面接にでかける前に、記入していただくところがありますので、ご注意ください。（Q1～Q10）

「記入のてびき」参照の上記入して下さい。

県 番 号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地 区 番 号	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

まず枠の中の質問Q1～Q10については対象者に会う前に保健婦が記入しておいて下さい。わからないところは本人から面接の最後に聞いて下さい。

Q 1. 対象者の年齢 (昭和52年9月15日現在の満年齢)

- ① 19才以下
- ② 20～24才
- ③ 25～29才
- ④ 30～34才
- ⑤ 35～39才
- ⑥ 40～44才
- ⑦ 45～49才
- ⑧ 50～54才
- ⑨ 55～59才
- ⑩ 60～64才
- ⑪ 65～69才
- ⑫ 70～79才
- ⑬ 80才以上

Q1

Q 2. 性別

- ① 男
- ② 女

Q2

Q 3. 世帯主との続き柄

- ① 本人
- ② 配偶者
- ③ 子
- ④ 実の親
- ⑤ 義理の親
- ⑥ 孫
- ⑦ その他

Q3

Q 4. 最終学歴

- ① 学歴なし
- ② 小学校
- ③ 高等小学校・新制中学校
- ④ 旧制中学校・新制高等学校
- ⑤ 旧制高等学校・専門学校・短期大学
- ⑥ 新・旧大学
- ⑦ 大学院

Q4

Q 5. 同居家族数 (出かせぎに出ている人も含む)

- ① 1人
- ② 2人
- ③ 3人
- ④ 4人
- ⑤ 5人
- ⑥ 6人
- ⑦ 7人以上

Q5

Q 6. 同居家族のうちここ1年間に通算4ヶ月以上出稼きに出た人数

- ① 1人
- ② 2人
- ③ 3人
- ④ 4人以上
- ⑤ なし

Q6

14

Q 7. 1. 同居家族のうち、65才以上老人の人数

- ① 0人
- ② 1人
- ③ 2人
- ④ 3人
- ⑤ 4人以上

Q7

ロ. 同居家族のうち、小学校に上がる前の乳幼児数

- ① 0人
- ② 1人
- ③ 2人
- ④ 3人以上

Q 8. 生活保護

- ① 受けている
- ② 受けていない

Q8

Q 9. 地区の中で比べてみて、対象者のくらし向きはどの程度だとあなたは判断しますか。

- ① 上
- ② 中の上
- ③ 中
- ④ 中の下
- ⑤ 下

Q9

Q 10. 対象者は次のうちのどれにあたりますか。

- ① 高血圧症である
- ② 高血圧症でかつ、昭和50年5月1日以降の出産経験がある
- ③ 昭和50年5月1日以降の出産経験がある
- ④ その他 ()

Q10

(Q10で①②の人について、SQ1をお答え下さい。)

→SQ1. 高血圧症の原因疾患

- ① 原因疾患が明らかである (疾患名)
- ② 原因疾患が明らかでない、本態性高血圧
- ③ その他 ()

Q10
SQ1

20

→SQ2へ

(Q10、妊娠出産経験のある②③の人について、SQ2～8の妊娠・分娩の状態をお答え下さい。)

- SQ 2. つわり
- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| ① 強 | ② 中 | ③ 弱 | ④ なし |
|-----|-----|-----|------|
- SQ 3. 貧血
- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| ① 強 | ② 中 | ③ 弱 | ④ なし |
|-----|-----|-----|------|
- SQ 4. 妊娠中毒症
- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| ① 強 | ② 中 | ③ 弱 | ④ なし |
|-----|-----|-----|------|
- SQ 5. 流・早産の徴候
- | | |
|------|------|
| ① あり | ② なし |
|------|------|
- SQ 6. 分娩時期
- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| ① 流産 | ② 早産 | ③ 正常産 | ④ 晚期産 |
|------|------|-------|-------|
- SQ 7. 分娩経過の異常
- | | |
|------|------|
| ① あり | ② なし |
|------|------|
- SQ 8. 児の状態
- | | |
|-----------|-----------|
| ① 生産 | ② 仮死産(蘇生) |
| ③ 仮死産(死亡) | ④ 死産 |
| ⑤ 早期新生児死亡 | |

Q10
SQ2

Q10
SQ3

Q10
SQ4

Q10
SQ5

Q10
SQ6

Q10
SQ7

Q10
SQ8

27

<対象者へのごあいさつ>

この調査は無医地区での保健婦、助産婦、看護婦、医師などの働き方を考えるための基本とするものです。お忙しいところおそれいりますが、昭和51年1月からいままでのあなたの生活や、体の具合が悪くなったことを教えて下さい。調査の結果はすべて数字で表わしますので、あなたのことが外にもれてご迷惑をおかけするようなことは決してございません。

まず、診療所や検診のことをおたずねします。

Q11. おたくのかかりつけの医院・診療所又は病院に行くのに、時間は片道どれくらいかかりますか。(徒歩、乗物あわせて)

- | | |
|--------------|---|
| ① 30分以内 | □ |
| ② 31分～60分 | |
| ③ 61分～2時間 | |
| ④ 2時間1分～3時間 | |
| ⑤ 3時間1分～5時間 | |
| ⑥ 5時間1分～10時間 | |
| ⑦ 10時間1分以上 | |
| ⑧ かかりつけはない | |
| ⑨ 回答なし | |

Q11

(かかりつけのある人(①～⑦)にSQを聞いて下さい。)

→ SQ. そこをかりつけにしているのはどんな理由からですか、2つまでお答え下さい。

- | |
|------------------|
| ① 近くて便利だから |
| ② 設備・陣容が整っているから |
| ③ 診断が確かだから |
| ④ 他に医者がいないから仕方ない |
| ⑤ 親しみがあるから |
| ⑥ 相談にのってくれるから |
| ⑦ 何となく |
| ⑧ その他() |
| ⑨ 回答なし |

Q11
SQ

28

Q12. おたくのかかりつけは、おたくから行くのに一番便利な医院・診療所又は病院ですか。

① はい
② いいえ (かかりつけがない人も含む)
③ 回答なし

Q12

(Q12で、いいえ②の人にSQを聞いて下さい。)

→SQ 一番便利なところがかかりつけでないのはなぜですか。2つまでお答え下さい。

- ① 親しめないから
- ② 相談にのってもらえないから
- ③ 医師の専門がちがうよう不安だから (医師の技術に不安がある)
- ④ 医師がよくかわるので
- ⑤ 医師がとぎとぎしかいないから
- ⑥ 設備・陣容が整っていないから
- ⑦ 診療費が高いから
- ⑧ 交通費・宿泊費が高いから
- ⑨ 待ち時間が長いから
- ⑩ 遠すぎるので
- ⑪ 何となく
- ⑫ その他 ()
- ⑬ 回答なし

Q12
SQ

32

Q13. あなたは、5月1月から今までに、健康管理のために集団検診などで健康診断を何回か1つでもうけたことがありますか。

① うけた
② うけない
③ 回答なし

Q13

(Q13で、うけた①の人にSQ1を聞いて下さい。)

→SQ1. 検診をうけた直接の理由は何でしたか。なにか体の具合のわるいところがおありでしたか、2つまでお答え下さい。

- ① 大したことはないが体に心配なことがあったので
- ② 体の具合が悪かったため
- ③ 具合は悪くないが健康管理のため
- ④ 検診会場が近かったため
- ⑤ 時間の都合がよかったため
- ⑥ 料金が安いので
- ⑦ 医師、保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦にすすめられて
- ⑧ 周囲の人にすすめられて、評判がいいので
- ⑨ その他 ()
- ⑩ 回答なし

Q13
SQ1

(Q13で、うけない②の人にSQ2を聞いて下さい。)

→SQ2. 検診を1度もうけられなかったのはなぜですか、2つまでお答え下さい。

- ① 検診を知らなかった
- ② 検診がなかった
- ③ 知っていたが忘れてしまった、おっくうだった
- ④ 体は丈夫なのでうける必要はない
- ⑤ 時間の都合がつかなかった
- ⑥ お金がかかると
- ⑦ 会場が遠いので
- ⑧ 検診が頼りにならない、又は評判がよくない
- ⑨ 冬しかなかったで行きにくかった
- ⑩ 周囲の人に気がねで行きにくかった
- ⑪ はっきり病気が言われるのがいやだ
- ⑫ 医師又は検査がきらい
- ⑬ 病気がわかってもあとの治療が続けられないので
- ⑭ その他 ()
- ⑮ 回答なし

Q13
SQ2

37

Q14. では健康教育や保健指導・健康相談をうけたことがありますか。

- ① うけた
- ② うけない
- ③ 回答なし

Q14

(Q14で、うけない②の人にSQを聞いて下さい。)

→SQ うけなかったのはどうしてですか。主な理由を2つまであげて下さい。

- ① あることを知らなかった
- ② 機会がなかった
- ③ 知っていたが忘れた、おっくうだった
- ④ 十分知識があるので必要ない
- ⑤ 他に相談者があるので必要ない
- ⑥ 時間の都合がなかった
- ⑦ お金がかかると
- ⑧ 会場が遠いので
- ⑨ 健康教育や指導・相談などの評判がよくない、又は頼りにならないので
- ⑩ 周囲の人に気がねで行きにくい
- ⑪ 冬しかなかったので行きにくかった
- ⑫ その他 ()
- ⑬ 回答なし

Q14

40

Q15. ところであなたの健康のことをおたずねします。近頃お体の具合はいかがですか。カードIからあなたに一番あてはまるものを選び下さい。(カードI提示)

- ① ちょっと不快感はあるがたいしたことはない
- ② 何をやっても疲れやすく、無理がきかないが、眠ればどうにか元気になる
- ③ 朝起きた時から体の具合がわるいが、仕事はどうかできる
- ④ 具合が悪くて朝起きられず1日寝てしまうことがある
- ⑤ ねたりおきたりしている
- ⑥ ずっとねこんでいる
- ⑦ とくに気になることはない
- ⑧ その他 ()
- ⑨ 回答なし

Q15

(Q15で、①～⑥の人にSQ1～2を聞いて下さい。)

→SQ1. 具合が悪くなりはじめたのはいつごろでしたか。(調査時期のどれくらい前か、だいたいの見当を記入して下さい。)

- ① 3ヶ月未満
- ② 3ヶ月～半年未満
- ③ 半年～1年未満
- ④ 1年～2年未満
- ⑤ 2年～5年未満
- ⑥ 5年～10年未満
- ⑦ 10年以上前
- ⑧ 回答なし

Q15

SQ1

→SQ2. では健康のために、又具合の悪いところを治すために、特に、何かしてありますか。3つまでお答え下さい。

- ① 医師の下で治療中
- ② 医師にかかったが放置している
- ③ 保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦に相談
- ④ 栄養をとり、十分な休養に気をつける
- ⑤ 運動
- ⑥ あんま、マッサージ、ハリ、灸、民間療法など
- ⑦ 薬局で相談
- ⑧ 買っておきの薬をのむ
- ⑨ 近所の人、家族、知人などに相談
- ⑩ その他 ()
- ⑪ とくに気にもしていない
- ⑫ 回答なし

Q15

SQ2

45

SSQへ

Q17. 無医地区では歯医者にかかるのが難しいでしょうが、かりに虫歯のときあなたに歯医者にでかけていくのは、次の虫歯のすずみ具合のうちどれくらいかときですか。(カード3提示)

① 痛くないが、歯が黒くなったたり小さな穴があいたとき	Q17
② 冷たい水や空気がしみるとき	
③ がまんできなほいほいたむとき	
④ 痛みをがまんしていたら痛みはなくなったが、口が臭くて、歯に穴があるとき	
⑤ 歯がういたり、歯ぐきをはれるとき	
⑥ その他()	
⑦ 回答なし	

Q18. あなたがこれまでに何かの病気で治療なさった時のことをおたずねします。その時に主に自分のつごうから通院や服薬、訓練その他の治療を一時休んだりやめてしまったことがありますか。

① あ	② る	③ な	④ い	⑤ 回答なし	Q18

(Q18で、ある①の人にSQを聞いて下さい。)
→SQ あなたが治療(通院、服薬、食餌療法その他)を休んでしまった主な理由はどんなことでしたか。3つまであげて下さい。

① 体の調子が良くなったと思ったので	Q18 SQ
② 治療してもちっとも良くなりないので	
③ 治療(通院、服薬など)がめんどう、又はおっくうになつたので	
④ 冬の雪で通うのが難しくなつたので	
⑤ 出稼ぎに行つたので	
⑥ 治療のための時間のつごうがつかなくなつたので	
⑦ 宿泊費、交通費などにお金がかかりすぎるので	
⑧ 医師とうまくいけなくなつて	
⑨ 治療費が高いので	
⑩ 医師がいないか、又はかわつてしまつたので	
⑪ 周囲への気がねで治療をつづけにくいので	
⑫ その他()	
⑬ 回答なし	

(医師のもとで治療中ではない人全てにSSQを聞いて下さい。)
→SSQ 体の具合があまりよくないのに医師の下で治療されないのはなぜですか。2つまでお答え下さい。

① めんどく、おっくうだから	Q15 SQ SSQ
② 医師にかかるほどの大したことでないと思うので	
③ 自分で気をつけていければよと医師等に言われているので	
④ いつものことだから	
⑤ 時間の都合がつかないから	
⑥ 通院や宿泊にお金がかかるので	
⑦ 医師が遠いので	
⑧ 治療費が高いので	
⑨ 医師にかかるのはきらいだから	
⑩ はっきり病気がわかるのがいやだから	
⑪ 病気がわかってあとの治療がどうせ続けられないので	
⑫ 周囲への気がねから	
⑬ その他()	
⑭ 回答なし	

Q16. カード2にある症状のうち、あなたが医師にかかると思う症状の番号をお答え下さい。イとロと別々に選んで下さい。(カード2提示)

イ. 腸の症状	Q16 イ	
① 1、2回軽い下痢		
② 2、3日下痢が続く		
③ 腹痛と下痢		
④ 強い下痢と発熱		
⑤ 回答なし		
ロ. 循環器の症状		Q16 ロ
① 疲れ易い		
② 時々動悸がする		
③ 階段を上る時せい(息)が切れる		
④ せい(息)が切れ足にむくみがある		
⑤ 回答なし		

Q 1 9 ~ 2 1 は昭和50年1月以降の出産経験者（流・死産を含む）だけに聞いて下さい。それ以外の人には13ページのQ 2 2 に進んで下さい。

Q 1 9. 末のお子さんを妊娠・出産されたときのことをおたずねします。出産はどちらでなさいましたか。

① 病・産院	② 母子健康センター
③ 助産所	④ 産婦人科医院・診療所
⑤ 産婦人科以外の医院・診療所	
⑥ その他の施設	()
⑦ 自宅	⑥ 乗物の中
⑧ その他	()
⑨ 回答なし	

Q 1 9

(Q 1 9 で ⑦ ~ ⑨ の 人 に S Q を 聞 い て 下 さ い 。)

→ S Q 出産の時、どなたのお世話になりましたか。(分娩立会人を聞く)

① 医師	② 助産婦
③ 無資格で助産をしている人	④ 家族・友人・知人等
⑤ 誰もいなかった	
⑥ その他の人	()
⑦ 回答なし	

Q 1 9
S Q

Q 2 0. 妊娠中のごし方や体の具合いことで困ることや気にかかることはありませんでしたか。それはどんなことでしたか、3つまでお答え下さい。

① 妊娠中に必要な栄養を思う存分とれなかった
② 休みたくても休養を十分とれなかった
③ 睡眠時間を十分とれなかった
④ しない方が良い無理な仕事(雪かき、雪おろしなど)をしてしまった
⑤ 出血をみたことがあった、痛みがあった
⑥ 疲れやすかったり、めまいなどがあった
⑦ つわりがひどかった
⑧ その他
⑨ とくになかった
⑩ 回答なし

Q 2 0

59

Q 2 1. 妊娠中の生活のしかたがわからない時や、体の具合のよくなる時ははやくに医師の検診を受けたり、保健婦・助産婦・看護婦などに相談したりできましたか。

① 定期的にみてもらっていた
② 必要に応じてみてもらったり相談した
③ みてもらったり相談できなかった
④ みてもらったり相談できなかった
⑤ みてもらったり相談しようと思わなかった
⑥ その他
⑦ 回答なし

Q 2 1

Q 2 2. 救急医療についておたずねします。あなたはおたくに急病人・ケガ人が出たときや病人の具合が急に悪くなった時に十分な処置をうけられるかどうか不安がありますか。

① 不安はない	② あまり不安はない
③ どちらともいえない	④ 多少不安がある
⑤ 非常に不安がある	
⑥ その他	()
⑦ 回答なし	

Q 2 2

Q 2 3. おたくに医師が往診してくれますか。いつもきてくれますか。

① いつも来てくれる
② 来てくれることも来てくれないこともある
③ ほとんど来ない
④ 来ない
⑤ その他
⑥ 回答なし

Q 2 3

62

Q 2 4. では実際にあなたのご家族でけが人や急病人が出たことが昭和51年1月以降にありましたか。何回かある方は一番大変だった時のことを教えてください。
(病人が急に悪化した場合と出産も含める)

① あ る ② な い ③ 回答なし

Q24

(Q23で、ある④の人にSQ1～2を聞いて下さい。)

→SQ1. その人は1回日中に誰の手当(処置・治療)をうけましたか。(入院・往診を問わない)

① 直接専門医療施設へ
② 近くの医師にみってもらってから専門医療施設へ
③ 近くの医師
④ 保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦
⑤ 家族・知人・無資格者
⑥ どうすることもできなかった
⑦ その他()
⑧ 回答なし

Q24
SQ1

→SQ2. そのときのことを今思い出してみてもいいかがですか。何か困ったことや後悔するようないことがありませんか。3つまでお答え下さい。

① 往診してほしかった
② 専門施設に入院しなかった
③ 別の施設で治療を受けたかった
④ 連絡の仕方がわからずとまどった
⑤ 事態がおきってから処置を受けるまでが長くかかりすぎた
⑥ 当座の費用が高すぎた
⑦ 後の治療のための経費が高すぎた
⑧ 処置がよくなって、あとで後遺症などがおこった
⑨ もっと早く気がつけばよかった
⑩ その他()
⑪ 特になし
⑫ 回答なし

Q24
SQ2

Q 2 5. お話かわかりますが、毎日の生活のことをおたずねします。きのう1日の食事つつけもの以外の野菜を何回たべましたか。(必ずしもきのうでなくてよいが、1日分の食事について聞いて下さい)

① 1 回 ② 2 回 ③ 3 回以上
④ たべない ⑤ 回答なし

Q25

Q 2 6. では、肉・魚・豆製品はきのうのお食事で、何回たべましたか。(必ずしもきのうでなくてよいが、1日分の食事について聞いて下さい)

① 1 回 ② 2 回 ③ 3 回以上
④ たべない ⑤ 回答なし

Q26

Q 2 7. 健康のために、塩分をとりすぎないように言われていますがあなたはどう思っていますか。カード4から選んで下さい。(カード4提示)

① 気をつける必要はないと思う
② 気をつけようと思うがなかなか実行できない
③ 気をつけて実行している
④ その他()
⑤ 回答なし

Q27

Q 2 8. 健康のために各種の野菜をとりまぜてとることについて、どう思いますか。同じカード4から選んで下さい。(カード4提示)

① 気をつける必要はないと思う
② 気をつけようと思うがなかなか実行できない
③ 気をつけて実行している
④ その他()
⑤ 回答なし

Q28

Q 2 9. 去年の冬のことをおたずねします。

食品の買物は、冬の間に何日に1度くらいの割合になりましたか。

- ① 毎日 ② 2～3日に1度
 ③ 4～7日に1度 ④ 8～14日(2週間)に1度
 ⑤ 15～21日(3週間)に1度
 ⑥ 22日～1ヶ月(4週間)に1度
 ⑦ 1ヶ月以上に1度 ⑧ 冬中ほとんどできない
 ⑨ 回答なし

Q 2 9

Q 3 0. では、食品の買物で冬の間に一番困るのはどんなことですか。2つまでお答え下さい。

- ① 食品の種類が少なくなる
 ② 質のいいものがない、品物が悪い
 ③ 品物が冬値上りする
 ④ 行商人がこなくなる、又は来る回数が少なくなる
 ⑤ 近くの店が冬は閉まる
 ⑥ 交通の便がわるくて外出しにくくなる
 ⑦ その他()
 ⑧ 特になし ⑨ 回答なし

Q 3 0

Q 3 1. 冬でも利用できる駅かバス停まで、おたくから大人の足で片道何分くらいかかりですか。

- ① 30分未満 ② 30分～1時間未満
 ③ 1～2時間未満 ④ 2～3時間未満
 ⑤ 3時間以上 ⑥ 回答なし

Q 3 1

72

Q 3 2. 冬は交通が不便になりますか、あなたはカード5のうちのどの場合が一番困りますか。次に困るのはどれですか。(カード5提示)

- ① 通勤・仕事
 ② 買物
 ③ 用足し(役場、銀行に行く、商談など)
 ④ 寄合い
 ⑤ レジャー・娯楽・遊び
 ⑥ 病院通院
 ⑦ ケガ、急病の場合の交通
 ⑧ その他()
 ⑨ 回答なし

Q 3 2
一番
困る

次に
困る

Q 3 3. 健康のために冬の間、冷えすぎないよう、又、ひどい寒暖の差にさらされないように、とくに気をつけていましたか。カード6から選んで下さい。(カード6提示)

- ① とくに気をつける必要はないと思う
 ② 気をつけようと思うがなかなか実行できない
 ③ 気をつけて実行している
 ④ その他()
 ⑤ 回答なし

Q 3 3

Q 3 4. 冬の生活であなたにとって最も体のつかれる仕事はどんなことですか。2つまでお答え下さい。

- ① 外出(食物の買物はそのぞく)
 ② 雪おろし
 ③ おろした雪の始末
 ④ 私道の除雪
 ⑤ 公道の除雪
 ⑥ ふとん干し、洗たく
 ⑦ まきわり
 ⑧ 食料確保(買物を含む)
 ⑨ その他()
 ⑩ 特になし ⑪ 回答なし

Q 3 4

76

Q 3 5. あなたのお仕事についておたずねします。
あなたは、おたくの家事はどの程度していますか。

- ① 手伝っていない
② 家事の担当
③ 家事はしない
④ その他 ()
⑤ 回答なし

Q 3 5

Q 3 6. では家事以外に、あなたはどんなお仕事をなさっていますか。兼業、又はか
ねている副業もあわせてお答え下さい。

- ① 農 業
② 林業 (山菜・きのことりを含む)
③ 漁業 (海草とりを含む)
④ 酪 農
⑤ 民宿・旅館
⑥ 商売・サービス業、修理業
⑦ 土木建設
⑧ 事務員・つとめ人
⑨ 日やとい ⑩ 家内工業 (はたおり・細工物)
⑪ その他 ()
⑫ 無職 (家事専念の人も含む)
⑬ 回答なし

Q 3 6
主な仕事
職業・兼
業・手伝
い・副業の
仕事

(Q 3 6 で、仕事を①～⑩の人に SQ 1～3 を聞いて下さい。)

→ SQ 1. そのお仕事が一番忙しい時期にあなたは 1 日に何時間くらい働きますか。
休む時間をのぞいて、実際に働く時間をお答え下さい。(とくに忙しい時期
がなければ、ふたんのことを聞いて下さい。)

- ① 5 時間未満
② 5～7 時間未満
③ 7～9 時間未満
④ 9～12 時間未満
⑤ 12～15 時間未満
⑥ 15 時間以上
⑦ 回答なし

Q 3 6
SQ 1

→ SQ 2
SQ 3

→ SQ 2. その時期に、睡眠時間は 1 日何時間くらいとりましたか。お昼寝の時間
もあわせてお答え下さい。

- ① 3 時間未満
② 3～5 時間未満
③ 5～7 時間未満
④ 7～9 時間未満
⑤ 9～12 時間未満
⑥ 12 時間以上
⑦ 回答なし

Q 3 6
SQ 2

→ SQ 3. それでは、お仕事が最も忙しい時期のつかれをとるための、休養は十分
でしたか。

- ① 十分休めた
② だいたい十分だった
③ 少したりなかった
④ 大幅にたりなかった
⑤ その他 ()
⑥ 回答なし

Q 3 6
SQ 3

(Q 3 7～3 9 は昭和 5 0 年 1 月以降の出産経験者 (流・死産を含む) だけに
聞いて下さい。それ以外の人は 2 0 ページの Q 4 0 に進んで下さい。)

Q 3 7. では、出産が近づいた (妊娠 8、9 ケ月) ころに、あなたは家事や、家事以
外のお仕事をなさっていましたか。平均して 1 日何時間くらい実際に働きました
か。

- ① ほとんどしなかった
② 3 時間未満
③ 3～5 時間未満
④ 5～7 時間未満
⑤ 7～9 時間未満
⑥ 9～12 時間未満
⑦ 12 時間以上
⑧ 回答なし

Q 3 7

Q 3 8. そのころ睡眠時間はお昼寝も合せて、1 日平均何時間くらいでしたか。

- ① 5 時間未満
② 5～7 時間未満
③ 7～9 時間未満
④ 9～12 時間未満
⑤ 12 時間以上
⑥ 回答なし

Q 3 8

Q 3 9. それでは、出産をひかえての休養は十分とれたと思いますか。

- ① 十分休めた ② だいたい十分だった
 ③ 少したりなかった ④ 大幅にたりなかった
 ⑤ その他 ()
 ⑥ 回答なし

Q 3 9

Q 4 0. ところであなたはこれまで、この土地以外で生活したことがありますか。

- ① この土地をはなれたことはない
 ② この土地でうまれ、はなれたことがある (4 年以下)
 ③ この土地でうまれ、5～9 年はなれたことがある
 ④ この土地でうまれ、10 年以上はなれたことがある
 ⑤ 10 年以上前に外から移住してきた
 ⑥ 5～9 年前に外から移住してきた
 ⑦ しばらく前に (4 年以下)、外から移住してきた
 ⑧ 回答なし

Q 4 0

Q 4 1. あなたは今後も、この土地に住みたいと思いますか。カード 7 からえらんで下さい。(カード 7 提示)

- ① 永住したい ② 他所へうつりたい
 ③ どちらともいいえ ④ 回答なし

Q 4 1

Q 4 2. 無医地区の保健や医療のあるべき姿について、次のイロハニのような意見があります。それぞれについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。カード 8 からお答え下さい。(カード 8 提示)

- ① 大いに賛成 ② やや賛成
 ③ どちらともいいえ ④ やや反対
 ⑤ 大いに反対 ⑥ 回答なし

- イ. いつでも誰でも病院や診療所を利用できることが最も望ましい。
 ロ. 自分たちも、日常かかりやすい病気の症状や治療方法を知り、ある程度対処できることが望ましい。
 ハ. 病院・診療所はむりでも、「健康や病気について相談できる場所」が身近にあることが望まれる。
 ニ. あるべき姿などを考えてもどうせ実現しないだろう

Q 4 2

Q 4 3. 無医地区の保健や医療を改善していく方法についての次の 3 つの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。同じカード 8 からお答え下さい。(カード 8 提示)

- ① 大いに賛成 ② やや賛成
 ③ どちらともいいえ ④ やや反対
 ⑤ 大いに反対 ⑥ 回答なし

イ. 無医地区の保健や医療については、お役所がもっと力をいれて何とかするべきである。
 ロ. ここに住んでいる私達が大きな声で訴えなければならぬ。
 ハ. 改善されるのを待つだけでなく、病気にならないよう自分たちでいつも健康に気をつけることが大切だ。

Q 4 3

Q 4 4. おたくの生活のなかで、あなたがもっと手間や時間をかけたいと思われるのはどれですか。カード 9 の中から 2 つまでお選び下さい。(カード 9 提示)

- ① 子供のしつけや教育
 ② 食事のこと
 ③ 近所・親せきなどのつきあい
 ④ 病人の看護・世話
 ⑤ 家族の団らん、話し合い
 ⑥ 家や庭など立派にきれいにすること
 ⑦ 遊びや楽しみ、趣味、教養など
 ⑧ 仕事に精をだし、収入をふやすこと
 ⑨ すいみん・休養など健康のための配慮
 ⑩ その他 ()
 ⑪ 特になし
 ⑫ 回答なし

Q 4 4

Q 4 5. あなたにとって心配ごとや困ったこと、悩み等、カード110のうちから2つまで選んで下さい。(カード110提示)

① 自分の体の具合	② 仕事のこと
③ 経済のこと	④ 家族の出かせぎ
⑤ 家族の病気	⑥ 子供の教育や進路
⑦ 夫婦間のこと	⑧ 嫁・姑・しゅうと・小姑間のこと
⑨ 近所・親せきづきあいのこと	
⑩ すまいについて	
⑪ その他 ()	
⑫ 特になし	⑬ 回答なし

Q 4 5

--	--

Q 4 6. おたくの今の暮しむきは、カード111のうちどれにあたりますか。(カード111提示)

① ゆとりがある	② まあゆとりがある
③ やりくりが大変	④ 非常に苦しい
⑤ どちらともいえない	⑥ 回答なし

Q 4 6

--	--

(Q 1 ~ Q 1 0 で不確かだった問いを確認して下さい)

長い間ご協力ありがとうございました。

記入のてびき

豪雪地無医地区住民調査票用

社団法人 日本看護協会
調査研究部

以下の説明をよくお読みの上、できるだけ同じ条件で調査を実施するようお願いいたします。

調査の手順はだいたい次のようになります。

- 1) この「記入のてびき」をよく読んで、全体を理解します。
- 2) 調査の対象者を選びます。この時、後の「I 調査対象の選び方」を参照して下さい。
- 3) 対象者の家を戸別訪問して、面接調査をします。
- 4) 月 日までに 調査票を提出します。

I 調査対象の選び方

- ・ 調査対象になっている無医地区の住民から18才以上の人3人を選びます。
- ・ この時、性別、年齢、職業、学歴などがかたよらないようにします。
- ・ 1世帯からは1人だけです。
- ・ できれば、昭和50年5月1日以降の出産経験者(流・早・死産を含む)と、高血圧症の人をそれぞれ1人ずつ選んで下さい。

Ⅱ 面接調査のしかた

では以下に手順にそって、詳しく面接調査のしかたを説明します。
なお、1つの調査票は必ず1人の人に聞いて下さい。

〔面接にでかける前に〕

- ・調査票の表紙の「県番号」「地区番号」を記入します。後ろの「Ⅲ 記入上の注意」を参照して下さい。
- ・調査票の最初の太枠内の質問(Q1～Q10)を記入しておきます。わからないことは残しておいて面接の最後に確かめます。

〔質問のしかた〕

- ・調査者が対象者に会って、対象者の回答を、調査者が記入します。対象者に調査票をあげないで下さい。
- ・質問だけを終りまで言ってから、対象者の回答をとります。ただし()内のことや、選択肢は読みあげないで下さい。
- ・対象者が質問の内容を理解しないときは、少し説明をし、それでもなおわからなければ「回答なし」にします。ことさら回答をひきだす必要はありません。
- ・この調査は考え方を聞こうとするものですので、対象者がまじがった答えをしてもそのまま記入します。
- ・同様に、対象者が当然こう答えるだろうとあらかじめわかっている場合でも、必ず対象者に質問します。

〔記入のしかた〕

- ・黒エんぴつや青や黒のインキを使って下さい。
- ・印刷されている選択肢のなから、回答に最もよくあてはまるものの番号を右端の回答らんに記入します。
- ・対象者の回答にあった選択肢がないときは、「その他」とみなし

ます。できれば回答を要約して()内に記入します。

- ・対象者が質問に答えない時や、わからないと答えたときは「回答なし」とみなします。

・質問文中で「2つ(又は3つ)までお答え下さい」と指定している場合にも、回答は1つでもかまいません。ただし、余分の回答らんに、右のように斜線をひいておきます。

例



- ・調査票の中のSQ(副問)のある質問では、特定の回答をした人だけがSQに進みます。それ以外の人にはSQをとりますが、SQの回答らんに、右のように斜線をひいておきます。また、出産経験者だけへの質問でも同様に、該当しない人は斜線をひいてその問いをとびます。

【カードの使い方】

- ・質問文の最後に「(カード 提示)」とある場合は、当該カードを対象者にみせながら質問します(Q15、16、17、27、28、32、33、41、42、43、44、45、46)。
- ・カードの必要なページを開いて対象者に渡し、読んでもらいます。いっしょに読みあげてもかまいません。但し「回答なし」はカードにはありませんので、読みあげないで下さい。

〔面接がおわったら〕

- ・記入し終ったらその場で、はじめから見直し、回答らんに空欄がないかを確認めます。

〔面接の場所〕

- ・心配ごとなども聞きますので、落ちついて話のできる時や所をえらびます。

〔所要時間〕

B 豪雪地および離島住民の保健医療に関する意識調査

離島用

略：記入の手引（調査員への説明書）

島の保健と医療についての調査

昭和52年

社団法人 日本看護協会
調査研究部

- ・早い場合で40分から、だいたい1時間かかります。
- 〔支障のおきたとき〕
- ・いろいろな事情で面接が中断されたときは、できれば訪問をくりかえしたり電話で聞いて下さい。
- ・どうしても中断せざるを得ない場合は、そこまですて提出して下さい。と中で人が変わると、その調査票は無効になります。

Ⅲ 質問項目別記入上の注意

- ・ 県番号 下のうちから当てはまる番号を記入して下さい。
新潟県……40 秋田県……30
北海道……別紙参照
- ・ 地区番号 別紙一らん表からあてはまる番号を記入して下さい。
- ・ Q10-SQ7 分娩経過の異常
前・早期破水、微弱陣痛、痙攣異常、廻旋胎盤、前置胎盤、切迫仮死、分娩遅延および手術や処置をほどこした場合を含めて下さい。
- ・ Q19-SQ 分娩立会人については医師がいれば「①医師」とし、医師がいなくて助産婦がいれば「②助産婦」、助産婦も医師もいない場合に③以下を選ぶようにして下さい。
- ・ Q24-SQ1 上のQ19-SQの注と同じように考えて、④から順に選んで下さい。
- ・ Q36 手伝い程度の仕事をしている人は、右のように、下のらんに記入します。上のらんは斜線をひいて下さい。

例

Q36 主な仕事	
職業・業種 手伝い程度の仕事	5

この調査へのご協力をお願いいたします。

- この調査は、島での保健婦・助産婦・看護婦・医師などのよりよい働き方を考えていくための、基本となる統計をつくるために行なうものです。
- お忙しいところをおそれますが、あなたのお考えや、生活や健康について、ありのままにご記入下さい。
- ほかの方へのこの調査票を廻さないようにお願いいたします。
- 調査にご協力いただく方のお名前がでたり、また、今後ごめいわくをおかけするようなことは決してごさいませぬ。ぜひよろしくお願いたします。
- この調査票は返って、保健婦または役場の人がいただきます。それまでにご記入下さるようお願いいたします。
- ご記入は、あなたにいちばんあてはまる回答の番号を○ではつきり囲んで下さい。○の数は問のなかに特に書いてない場合は1つだけです。
- （ ）の中には具体的に書きこんで下さい。
- 問によって下の例のように、あなたが○をつけた回答の後に→がついていることがあります。この場合は指定のとおり問をとばして進んで下さい。その他は全ての問についてお答え下さい。

例 問1. おたくのかかりつけ又は……

1. 島内 2. 島外
③. かかりつけはない → 問5 に進んで下さい

(この下は調査員が記入します)

県番号

島番号 -

まず、診療所や健診のことをおたずねします。

問1. おたくのかかりつけ又は、そこにいくときめている病院（医院や診療所）は、島の中にありますか、外ですか。

1. 自分の住んでいる島内 2. 島外
3. かかりつけはない → 問5 に進んで下さい

問2. かかりつけのある人は、そこまで行くのに、時間は片道どれくらいかかりますか。

1. 30分以内 2. 31分～60分
3. 61分～2時間 4. 2時間1分～3時間
5. 3時間1分～5時間 6. 5時間1分～10時間
7. 10時間1分以上

問3. かかりつけのある人は、どんな理由からそこをえらんだのでしょうか。次のなかから2つまで○をつけて下さい。

1. 近くて便利だから
2. 設備や人員が整っているから
3. みたてが確かだから
4. 他に医者がいないから仕方なく
5. 親しみがあるから
6. 親切に相談のってくれるから
7. 何となく
8. その他（ ）

問4. おたくのかかりつけは、おたくから行くのに一番便利で近い病院（医院・診療所）ですか。

1. はい → 問6 に進んで下さい
2. いいえ

問5. 一番便利で近い病院をかかりつけにしないのはなぜですか、次のなかから2つまで○をつけて下さい。

1. 親しめないから
2. 相談のしてもらえないから
3. 医師の専門がちがうよう不安だから
（医師のみたてに不安があるから）
4. 医師がよくかわるので
5. 医師がときどききかないから
6. 設備・人員が整っていないから
7. 診療費が高いから
8. 通院のための交通費や宿泊費が高いから
9. 長く待たされるので
10. 病院（医院・診療所）が遠すぎるので
11. 何となく
12. かかりつけないから
13. その他（ ）

問6. あなたは51年1月から今までに、健康管理のために、集団健診などで健康診断を何か1つでもうけたことがありますか。

1. うけたことがある → 問8 に進んで下さい
2. うけない

問7. 健康診断を1度もうけなかった方は、なぜでしょうか、次のうちから2つまで○をつけて下さい。

1. 健診がなかった
2. 健診があることを知らなかった
3. 知っていたが忘れてしまった、おっくうだった
4. 体は丈夫なのでうける必要はない
5. 時間の都合がつかなかった
6. お金がかかるので
7. 会場が遠いので
8. 健診が頼りにならない又は評判がよくない
9. 家族やまわりの人に気がねで行きにくかった
10. はっきり病気と言われるのがいやだ
11. 医師又は検査がきらい
12. 病気がわかってもあとの治療が続けられないので

問11 1. 医師にかかっていない方は、体の具合があまりよくないのに医師にかか
らないのはなぜですか、次のなかから2つまで○をつけて下さい。

1. めんどく、おっくうだから
2. 医師にかかるほどの大したことでないと思うので
3. 自分で気をつけていればよいと医師等に言われているので
4. いつものことだから
5. 時間の都合がつかないから
6. 通院のための交通費・宿泊費が高いので
7. 医師が遠いので
8. 治療費が高いので
9. 医師にかかるとはきらいだから
10. はっきり病気がわかるのがいやだから
11. 病気がわかってもらってもあとの治療がどうせ続けられないので
12. 家族やまわりの人への気がねから

ところで近頃あなたのお体の具合はいかがですか。
問8 次に、体の具合が軽い順からならんでいます。あなたが、あなたに一番よくあては
まるのはどのくらいでしょうか。1つだけ○をつけて下さい。

1. ちょっと不快感はあるが、たいしたことはない
2. 何をやっても疲れやすく、無理がきかかないが、眠れば元気になる
3. 朝から体の具合が悪いが、仕事はどうかできる
4. 具合が悪くて朝起きられず、1日寝てしまうことがある
5. 寝たり起きたりしている
6. ずっと寝こんでいる
7. その他 ()
8. 特に気になることはない → 問12 に進んで下さい

問9 問8で1から7まで○をつけた方は、具合が悪くなりはじめたのは今か
らどれくらい前でしたか。

1. ～3ヶ月くらい前
2. 3ヶ月～半年くらい前
3. 半年～1年くらい前
4. 1年～2年くらい前
5. 2年～5年くらい前
6. 5年～10年くらい前
7. 10年以上前

問10 では、健康のためや具合の悪いところを治すために、特に、何かしてい
ますか、次のなかから3つまで○をつけて下さい。

1. 医師にかかっている → 問12 に進んで下さい
2. 医師にかかっていたが、今は行ってない
3. 保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦に相談
4. 栄養をとり、十分な休養に気をつけている
5. 運動している
6. あんま・マッサージ・ハリ・灸・民間療法(おまじない、紅その他)
7. 薬局で相談
8. かいおきの薬を飲む
9. 家族・知人などに相談
10. 特になにもしていない

問12 次にイとロにそれぞれ4つずつ軽い順から症状がならんでいます。この
うちあなたが、ここまで進んだら医師にかかると思う番号に、イとロに1つ
ずつ○をつけて下さい。

イの症状

1. 1～2回軽い下痢
2. 2～3日下痢が続く
3. 腹痛と下痢
4. 強い下痢と発熱

ロの症状

1. 疲れやすい
2. 時々動悸がする
3. 階段を上る時、ひどく息がきれる
4. ひどく息が切れ、足にむくみがある

問13. 次に虫歯の進み具合が軽い順からならんでいます。かりに虫歯のときにあなたが歯医者にたかかけていくのは、次のうちどれくらいのとときですか。1つ○をつけて下さい。

1. 痛くないが歯が黒くなったり、小さな穴があいたとき
2. 冷たい水や空気がしみるとき
3. がまんできなほど痛むとき
4. 痛みをがまんしていたら痛みはなくなりましたが、口が臭くて、歯に穴があるとき
5. 歯がういたり、歯くきがはれるとき
6. 歯医者にたかかけていくとは思わない

問14. では歯科診療班（歯科巡回診療など）が近くにきたときは、あなたはどう利用していますか。次のうち1つ○をつけて下さい。

1. 虫歯などがなくても一応みてもらう
2. そのとき虫歯などがあればみてもらう
3. そのとき虫歯がひどく痛ければみてもらう
4. 歯科診療班はくるが、ほとんど利用しない
5. 歯科診療班はこない

問15. あなたがこれまでに何かの病気で治療なさった時に主に自分の都合から治療（通院や服薬、訓練等）を、一時休んだり、やめてしまったことがありますか。

1. ある
2. ない

問16. 治療を休んでしまったことのある方は、治療を休んだ主な理由はどんなことでしたか。次のなかから3つまで○をつけて下さい。

1. 体の調子が良くなかったと思ったので
2. ちっともよくなかないと思ったので
3. 治療がめんどうになったので
4. 出張に行ったので
5. 治療のための時間の都合がつかなくなっている
6. 通院のための宿泊費・交通費などにお金がかかりすぎるので
7. 医師とうまくいかなくなっている
8. 治療費が高いので
9. 医師がいなくなったり、かわってしまったので
10. 遠くまで通わなければならぬので
11. 家族やまわりの人に気がねして
12. その他（ ）

問17. あなたは昭和50年1月から今までに出産（流産・死産も含む）されたことがありますか。

1. ない
2. ある

昭和50年1月から今までの一番最近の出産についてしばらくおたずねします。

問18. 出産場所は次のうちどれでしたか。

1. 島内の病・産院・医院・助産所など
2. 島外の病・産院・医院・助産所など
3. 自宅
4. 間に合わず乗物の中で生まれてしまった
5. その他の場所（ ）

問19. 出産場所が、自宅や乗物の中やその他の場所だった方は、出産の時お子さんと
 ひとりあげてくれた人は次のうち誰でしたか。1つだけ○をつけて下さい。

1. 医師
2. 助産婦
3. 助産婦ではないが、助産をしている人
4. 家族、友人、その他の人
5. 自分1人の時にうんだ

問20. あなたは、妊娠中の過ごし方や体の具合のことで、困ることや気にかか
 ることはどんなことでしたか、次のなかから3つまで○をつけて下さい。

1. 妊娠中に必要な栄養を思う存分とれなかった
2. 休みたくても休養を十分とれなかった
3. 睡眠時間を十分とれなかった
4. しない方がよい無理な仕事（はたおりなど）をしてしまった
5. 出血をみたことがあった、痛みがあった
6. 疲れやすかったり、めまいなどがあった
7. つわりがひどかった
8. その他()
9. とくになかった

問21. 妊娠中の過ごし方がわからない時や、体の具合のよくない時はすぐ医
 師にみてもらったり、保健婦、助産婦、看護婦などに相談したりでしまし
 たか、次のうち1つに○をつけて下さい。

1. 定期的にみてもらっていた
2. 必要に応じてみてもらったり相談した
3. みてもらえないこと、相談できないことがあった
4. できなかった
5. みてもらおうとか、相談しようと思わなかった

問22. 一番最近の妊娠中や出産のときの健康はいかがでしたか。ごめんどうで
 も母子健康手帳をお持ちの方は用意して、次のイからへについて、それぞれ
 1つずつ○をつけて下さい。

- イ. つわりはどのくらいでしたか。
1. あった
 2. 少しあった
 3. なかった

- ロ. 貧血はどのくらいでしたか。
1. あった
 2. 少しあった
 3. なかった

- ハ. 妊娠中毒症（高血圧・尿たん白・むくみなど）はどのくらいでしたか。
1. あった
 2. 少しあった
 3. なかった

- ニ. 下腰痛や出血があって、流産や早産をおこしそうになったことがあり
 ましたか。
1. あった
 2. なかった

- ホ. 出産はほぼ予定日どおりでしたか。
1. 予定日の前後2週間以内に出産
 2. 流産
 3. 早産
 4. 予定日より2週間以上たって出産

- ヘ. 生まれた時、お父さんやお母さんで元気でしたか。
1. 元気だった
 2. 仮死産で生きかえった
 3. 仮死産で死亡
 4. 死産
 5. うまれてまもなく死亡

問23. お子さんの出産が近づいた(妊娠8、9ヶ月)ころにあなたは、家事や、お仕事で平均して1日何時間くらい実際に働きましたか。

-
1. ほとんど働かなかった
 2. 3時間以下
 3. 3～5時間くらい
 4. 5～7時間くらい
 5. 7～9時間くらい
 6. 9～12時間くらい
 7. 12時間以上

問24. そのころ、睡眠時間はお昼寝もあわせて平均して1日何時間くらいでしたか。

-
1. 5時間以内
 2. 5～7時間くらい
 3. 7～9時間くらい
 4. 9～12時間くらい
 5. 12時間以上

問25. それでは、出産をひかえての体養は十分とれたと思いますか。

-
1. 十分休めた
 2. だいたい十分だった
 3. 少したりなかった
 4. 大幅にたりなかった

問26. 救急医療についておたずねします。あなたはお宅に急病人やけが人が出たときや病人の具合が急に悪くなった時に十分な処置をうけられるかどうか不安がありますか。

-
1. 不安はない
 2. あまり不安はない
 3. どちらともいえない
 4. 多少不安である
 5. 非常に不安である

問27. では実際に、あなたやご家族の中でけが人や急病人が出たことが、昭和51年1月から今までにありましたか(病人が急に悪化した場合と出産も含める)。

-
1. ある
 2. ない
- 問30 に進んで下さい

けが人や急病人のあった方におたずねします。何回かある方は一番大変だった時のことを教えてください。

問28. その人は、救急の事態がおきた翌日までに誰の手当(処置・治療)を受けましたか、次のうち1つに○をつけて下さい。

-
1. 直接専門の病院へ
 2. 最も近いもよりの医師にみてもらってから専門の病院へ
 3. 最も近いもよりの医師
 4. 保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦
 5. 家族・知人など
 6. どうすることもできなかった
 7. その他()

問29. そのときのことを今思い出してみたいかがでしたか。何か困ったことや後悔するようなことがありますか。次のなかから3つまで○をつけて下さい。

-
1. 往診してほしかった
 2. 専門の病院に入院したかった
 3. 別の施設で治療を受けたかった
 4. 連絡の仕方がわからずとまどった
 5. 手当を受けるまでの時間が長くなりすぎた
 6. 救急のための当座の費用が高すぎた
 7. 後の治療のための費用が高すぎた
 8. 手当がよくなくて、あとで後遺症などが起こった
 9. もっと早く気がつけばよかった
 10. その他()
 11. 特にない

問30. お話は変わりますが毎日の食事のことをおたずねします。きのう又は今日の1日分の食事でつづける以外の野菜を何回食べましたか。

-
1. 1回
 2. 2回
 3. 3回以上
 4. 食べない

問3 1. では、肉・魚・卵・豆製品はきのう又は今日の1日分の食事でも何回食べましたか。

- 1. 1 回
- 2. 2 回
- 3. 3回以上
- 4. 食べない

問3 2. 「健康のためには塩分をとりすぎないように」と言われていますが、あなたはどの思いますか。

- 1. 気をつける必要はないと思う
- 2. 気をつけようと思うがなかなか実行できない
- 3. 気をつけて実行している

問3 3. 「健康のために各種の野菜をとりまぜてとる」ことが言われていますが、あなたはどの思いますか。

- 1. 気をつける必要はないと思う
- 2. 気をつけようと思うがなかなか実行できない
- 3. 気をつけて実行している

あなたのお仕事についておたずねします。

問3 4. あなたは、おたくの家事をどの程度していますか。次のうち1つに○をつけて下さい。

- 1. 手伝い程度
- 2. 自分が中心になって家事をしている
- 3. 家事はしない

問3 5. ではあなたは、家事以外のお仕事は何をなさっていますか。次のうち、主な仕事1つに◎をつけ、兼業や副業や手伝い程度の仕事があれば、それにも1つ○をつけて下さい。

- 1. 農業
- 2. 林業（山菜・きのことりを含む）
- 3. 漁業（海藻とりを含む）
- 4. 酪農・牧畜
- 5. 民宿・旅館
- 6. 修理業・サービス業（商店・飲食店など）
- 7. 土木建設
- 8. 事務員・つとめ人
- 9. 日やとい
- 10. 家内工業（はたおり・細工物など）
- 11. その他の仕事（)
- 12. 無職・家事専念 → 問3 9 に進んで下さい

問3 6. 問3 5で1から11までに○や◎をつけた方は、お仕事が一番忙しい時期にあなたは平均して1日に何時間くらい働きますか。休む時間をのぞいて、実際に働く時間をお答え下さい。

- 1. 5時間以内
- 2. 5～7時間くらい
- 3. 7～9時間くらい
- 4. 9～12時間くらい
- 5. 12～15時間くらい
- 6. 15時間以上

問3 7. その時期に、睡眠時間は平均して1日に何時間くらいとりましたか。お昼寝の時間もあわせてお答え下さい。

- 1. 3時間以内
- 2. 3～5時間くらい
- 3. 5～7時間くらい
- 4. 7～9時間くらい
- 5. 9～12時間くらい
- 6. 12時間以上

問 3 8. それでは、お仕事の最も忙しい時期の疲れをとるための休養は十分にとれましたか。

1. 十分休めた
2. だいたい十分だった
3. 少し足りなかった
4. 大幅に足りなかった

問 3 9. ところであなたははこの土地で生まれましたか。

1. はい
2. いいえ

問 4 0. あなたはこれまでこの土地を離れて生活したことがありますか。離れていて期間はあわせて何年になりますか。次のうち1つに○をつけて下さい。

1. 離れたことはない
2. 半年から4年間離れていた
3. 5年から9年間離れていた
4. 10年以上離れていた

問 4 1. あなたは今後もこの土地に住みたいと思いますか。

1. 永住したい
2. 他所へうつりたい
3. どちらともいいない

島の保健や医療のあるべき姿についての意見をおたずねします。

問 4 2. 「いつでも誰でも誰でも病院や診療所を利用できることが最も望まれる」という意見があります。あなたはこれに賛成ですか、反対ですか。

1. 大いに賛成
2. やや賛成
3. どちらともいいない
4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 3. 「各島に病院・診療所は無理でも、健康や病気にについて相談できる場所が身近にあることが望まれる」という意見がありますが、あなたははどう思いますか。

1. 大いに賛成
2. やや賛成
3. どちらともいいない
4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 4. 「自分たちも、日常かかりやすい病気の症状や治療方法を知り、ある程度対処できることが望ましい」という意見がありますが、あなたははどう思いますか。

1. 大いに賛成
2. やや賛成
3. どちらともいいない
4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 5. 「島の保健や医療のあるべき姿など考えてもどうせ実現しないだろう」という意見がありますが、あなたははどう思いますか。

1. 全くそのとおりだ
2. まあそのとおりだ
3. どちらともいいない
4. あまりそうは思わない
5. 全くそうは思わない

次に、島の保健や医療を改善していく方法についての意見をおたずねします。

問 4 6. 「お役所がもっと力をいれて何とかするかするべきである」という意見がありますが、あなたははどう思いますか。

1. 大いに賛成
2. やや賛成
3. どちらともいいない
4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 7. 改善のためには、「ここに住んでいる私達が大きな声で訴えなければなりません」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

1. 大いに賛成 2. やや賛成
3. どちらともいえない 4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 8. 「改善されるのを待つだけでなく、病気になるらないように自分たち自身も健康に気をつけることが大切だ」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

1. 大いに賛成 2. やや賛成
3. どちらともいえない 4. やや反対
5. 大いに反対

問 4 9. 鳥の限られた条件下でのおたくの生活の中で、あなたがもっと手間や時間をかけて力を注ぎたいと思われのはどれですか。次のうちから2つまで○をつけて下さい。

1. 子どものしつけや教育
2. 食事のこと
3. 近所・親せきなどのつきあい
4. 病人の看護・世話
5. 家族の団らん・話し合い
6. 家や庭など立派にきれいにすること
7. 遊びや楽しみ、趣味、教養など
8. 仕事に精をだし、収入をふやすこと
9. すいみん、休養など健康のための配慮
10. その他のこと ()
11. 特になし

問 5 0. あなたにとって心配ごとや困ったこと、悩みを次のなかから2つまで○をつけて下さい。

1. 自分の体の具合 2. 仕事のこと
3. 経済のこと 4. 家族の出かせぎ
5. 家族の病気 6. 子供の教育や進路
7. 夫婦間のこと 8. 嫁、しゅうと、小姑間のこと
9. 近所・親せきづきあいのこと 10. すまいについて
11. その他 ()
12. 特になし

問 5 1. おたくの今の暮らしむきは、次のうちどれにあたりますか。

1. ゆとりがある 2. まあゆとりがある
3. やりくりが大変 4. 非常に苦しい
5. どちらともいえない

問 5 2. 最後に、あなたとご家族のことをおたずねします。次のイからリのものそれぞれについて1つずつ○をつけて下さい。

1. あなたの年齢は (昭和52年9月15日現在の満年齢)
1. ~19才 2. 20~29才 3. 30~39才
4. 40~49才 5. 50~59才 6. 60~69才
7. 70~79才 8. 80才以上

- ロ. 性別は
1. 男 2. 女

ハ. あなたの、おたくの世帯主との続柄は

1. 本人 2. 配偶者 3. 子供
4. 実の親 5. 義理の親 6. 孫
7. その他 ()

ニ、あなたは学校はどこまで卒業しましたか。

- 1. 小学校を卒業しなかった
- 2. 小学校
- 3. 高等小学校・新制中学
- 4. 旧制中学・高等女学校・新制高校
- 5. 旧制高校・専門学校・短大
- 6. 大学以上

ホ、おたくの同居家族はあなたも含めて何人ですか。出かせぎに出ている人も含めてかまいません。

- 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人
- 6. 6人 7. 7人以上

ヘ、最近1年間にあわせて4ヶ月以上出かせぎに出た方は、同居家族のうち何人ですか。

- 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. いない

ト、同居家族のうち、65才以上の方は何人ですか。

- 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. いない

チ、同居家族のうち、小学校にあがる前の乳幼児は何人ですか。

- 1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. いない

リ、あなたは結婚していますか。

- 1. 結婚している 2. 離婚又は死別 3. 未婚

記入もれがないか、もう一度はじめから目を通して確かめて下さい。
この調査に御協力いただき、どうもありがとうございました。

C 保健婦の活動体制と生活についての調査

保健婦等の活動体制と生活についての調査

昭和52年

社団法人 日本看護協会調査研究部

社団法人 日本看護協会は、地域に働く保健婦等会員の方々の、活動体制と生活を明らかにするアンケート調査を企画しました。この調査結果は、今後、皆様の活動体制や生活に関する政策に改善要望していく資料となりますので、よろしくご協力下さるようお願いいたします。本調査票は島や山間、豪雪地などに働く保健婦等会員の問題を明らかにしようとしているので、そのことに関連する質問が多くなっています。この事情をよろしくご承知下さい。なお、回答内容については統計的に処理しますので、あなたの回答が外部にもれてあなたにご迷惑をかけることは一切ありません。

記入上の注意

・記入もれと区別するため、あなたに該当しない質問のところには、次のように斜線をひいて下さい。

例



・回答記入の後、記入もれがないか点検して下さい。斜線をひいた回答欄以外、空欄が残るようなことはないと思われます。空欄のあるところはもう一度お調べ下さい。

記入の手びき

(1) F 3. 最終学歴について

- ・一般学歴、専門学歴については最後に卒業した学校の記号をひとつだけ回答欄に記入してください。
〔註〕 看護短大からさらに保健婦学院を卒業した場合は、保健婦学院が最終学歴となります。但し、在学中、中途退学の学校は最終学歴にはなりません。
- ・専門教育が大学、短大、高校衛看卒の人は、一般教育も大学、短大、高校卒となります。
- ・外国の学校を卒業した場合も含みますので、同様に該当する項目番号を回答欄に記入して下さい。
- ・青年学校の場合は、「7. 高小」の番号を記入して下さい。
- ・保健婦規則附則によって資格を取得した者で、規則制定以前における保健婦教育の最終卒業学校があるときは、その番号を回答欄に記入して下さい。

(2) Q 7 6.- S Q 3. 御主人の職業分類について

- ① 農・林・漁業……農林業、漁業の従事者
- ② 自 営 業……小企業の業主と家族従業者、小売店主、飲食店主
- ③ 専 門 技 術 職……学者、教員、医師、技師、弁護士、薬剤師、僧侶、看護師など
- ④ 管 理 職……社長、重役、部長、課長、校長、校長、局長、所長など
- ⑤ 大企業事務職……公務員、従業員300人以上の企業の事務員、秘書、店員など
- ⑥ 中小企業事務職……従業員299人以下の企業の事務員など
- ⑦ 大企業労務職……従業員300人以上の企業の工員、保安、その他のサービスなど
- ⑧ 中小企業労務職……従業員299人以下の企業の工員、保安、その他のサービスなど
- ⑨ 単 純 労 働……守衛、土工、日雇労務者
- ⑩ その他・無職

まず、最初に、あなたご自身のことについておうかがいします。

F 次の表の各項目の空欄に該当する言葉を、また各欄の符号のうち該当する数字があれば、それを回答欄に記入して下さい。(回答欄)

F 1. 所属県名	<input style="width: 90%;" type="text"/> 県																																																								
F 2. 満年齢	① ~19才 ② 20~24才 ③ 25~29才 ④ 30~34才 ⑤ 35~39才 ⑥ 40~44才 ⑦ 45~49才 ⑧ 50~54才 ⑨ 55~59才 ⑩ 60才~	F 2 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>																																																							
F 3. 最終学歴	<input style="width: 100%;" type="text"/> 記入の手びき(1) 参照 <一般学歴では>																																																								
一般学歴	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">新教育制度</td> <td style="width: 15%;">① 中学校</td> <td style="width: 15%;">② 高校</td> <td style="width: 15%;">③ 短大</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>④ 大学</td> <td>⑤ 大学院</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>旧教育制度</td> <td>⑥ 尋小</td> <td>⑦ 高小</td> <td>⑧ 高女</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑨ 専門学校</td> <td>⑩ 大学</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		新教育制度	① 中学校	② 高校	③ 短大				④ 大学	⑤ 大学院				旧教育制度	⑥ 尋小	⑦ 高小	⑧ 高女				⑨ 専門学校	⑩ 大学			F 3 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>																															
	新教育制度	① 中学校	② 高校	③ 短大																																																					
		④ 大学	⑤ 大学院																																																						
	旧教育制度	⑥ 尋小	⑦ 高小	⑧ 高女																																																					
		⑨ 専門学校	⑩ 大学																																																						
	<専門学歴では>																																																								
専門学歴 免許取得 方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">新教育制度</td> <td style="width: 15%;">① 准看学院</td> <td style="width: 15%;">② 高校衛生看護科</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>③ 進学コース</td> <td>④ 高看学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑤ 保健婦学院</td> <td>⑥ 助産婦学院</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">⑦ (専門学院) 保健婦助産婦科</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑧ 短大(2年)</td> <td>⑨ 短大(3年)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑩ 大学</td> <td>⑪ 大学院</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>旧教育制度</td> <td>⑫ 看護婦養成所</td> <td>⑬ 助産婦養成所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑭ 保健婦養成所</td> <td>⑮ 専門学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑯ 大学</td> <td>⑰ 看護婦検定</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑱ 助産婦検定</td> <td>⑲ 保健婦検定</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">⑳ 保健婦規則附則</td> </tr> </table>		新教育制度	① 准看学院	② 高校衛生看護科				③ 進学コース	④ 高看学校				⑤ 保健婦学院	⑥ 助産婦学院				⑦ (専門学院) 保健婦助産婦科					⑧ 短大(2年)	⑨ 短大(3年)				⑩ 大学	⑪ 大学院			旧教育制度	⑫ 看護婦養成所	⑬ 助産婦養成所				⑭ 保健婦養成所	⑮ 専門学校				⑯ 大学	⑰ 看護婦検定				⑱ 助産婦検定	⑲ 保健婦検定				⑳ 保健婦規則附則			F 3 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
	新教育制度	① 准看学院	② 高校衛生看護科																																																						
		③ 進学コース	④ 高看学校																																																						
		⑤ 保健婦学院	⑥ 助産婦学院																																																						
		⑦ (専門学院) 保健婦助産婦科																																																							
		⑧ 短大(2年)	⑨ 短大(3年)																																																						
		⑩ 大学	⑪ 大学院																																																						
	旧教育制度	⑫ 看護婦養成所	⑬ 助産婦養成所																																																						
		⑭ 保健婦養成所	⑮ 専門学校																																																						
		⑯ 大学	⑰ 看護婦検定																																																						
		⑱ 助産婦検定	⑲ 保健婦検定																																																						
		⑳ 保健婦規則附則																																																							
F 4. 職位	① 管理職(課長など) ② 中間管理職(係長、主査、婦長など) ③ 非管理職	F 4 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>																																																							

あなたの勤務先のことについておうかがいします。

Q 1. あなたの身分上の所属先はどこですか。次の中で該当するものをお選び下さい。

① 県	② 政令市	③ ②以外の市町村国保	④ ②以外の市町村衛生	
⑤ その他()				

Q 1

→ Q 1 - S Q また、その所属先での勤続年数はどのくらいですか。次の中からお選び下さい。
(ただし、休職期間や所属先を変更した期間は除くものとする)

① 2年未満	② 2年以上5年未満		
③ 5年以上10年未満	④ 10年以上20年未満		
⑤ 20年以上30年未満	⑥ 30年以上40年未満		
⑦ 40年以上			

Q 1 S Q

Q 2. では、日頃勤務する主な場所はどこですか。次の中で該当するものをお選び下さい。

① 保健所所内	② 市町村役場内	③ 無医地区内にある駐在所
④ 無医地区外にある駐在所	⑤ その他 ()	

Q2

→ Q2-SQ1. また、その場所では何年くらい勤めていますか。次の中で該当するものをお答え下さい。
(ただし、休職期間や所属先を変更した期間は除くものとする)

① 2年未満	② 2年以上5年未満
③ 5年以上10年未満	④ 10年以上20年未満
⑤ 20年以上30年未満	⑥ 30年以上40年未満
⑦ 40年以上	

Q2 SQ1

(Q2で、①保健所所内や②市町村役場に勤務するとお答えになった方におたずねします。)

→ Q2-SQ2. あなたの勤務先の所属課での職種別人員(あなたも含める)について、常勤・非常勤別にお答え下さい。ただし、人員のいないところは、とお書き下さい。非常勤についても同様です。

		Q2 SQ2	
		常勤	非常勤
内 訳	① 総人員	① <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	② 医師(獣医師は含まない)	② <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	③ 保健婦	③ <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	④ 助産婦	④ <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	⑤ 看護婦(准看護婦を含む)	⑤ <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	⑥ 事務職	⑥ <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名
	⑦ その他 ()	⑦ <input type="text" value=""/> 名	<input type="text" value=""/> 名

【Q2-SQ3は、島を担当されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は、回答欄に斜線をひき、Q3へお移り下さい】

→ Q2-SQ3. その場所は次のうちどこですか。該当するものをお答え下さい。

① 本土内(内地)	② 島内(奄美大島は除く)	③ 奄美大島本島
-----------	---------------	----------

Q2 SQ3

Q 3. あなたのところには、保健衛生業務に関連した事務をおこない、あなたの方の仕事のパートナーとなっている事務職はいますか。次の中で該当するものをお答え下さい。

① いない	② 1人いる	③ 2人いる	④ 3人以上いる
-------	--------	--------	----------

Q3

Q 4. ところで、あなたのところでは、上司(課長格)の職種は何ですか。次の中から該当するものをお答え下さい。

① 医師(獣医師は含まない)	② 事務職	③ 保健婦
④ その他 ()		

Q4

Q 5. また、あなたのところでは、婦長あるいはそれに相当する係長などがいますか。そして、それは身分上、スタッフ以上の格づけがされていますか。該当するものをお答え下さい。

① 婦長などはいない
② 婦長などがあり、スタッフとは異なる格づけがされている
③ 婦長などはいるが、格づけ上、スタッフと同じである。

Q5

【 Q 6～7は、保健所に勤務されている方におたずねします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q 8にお移り下さい】

Q 6. あなたの勤務する保健所所長は専任ですか、それとも他保健所などを併任していますか。該当するものをお答え下さい。

① 専任	② 併任	③ その他 ()	Q 6	<input type="checkbox"/>
------	------	-----------	-----	--------------------------

Q 7. あなたの勤務する保健所は型別にわけると、次の何に相当しますか。該当するものをお答え下さい。

① U ₁ ～U ₅	② UR ₁ ～UR ₃	③ R ₂ ～R ₅	④ L ₄ ～L ₅	⑤ S	Q 7	<input type="checkbox"/>
----------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----	-----	--------------------------

次に、あなたが勤めておられる職場を日頃どのようにお感じになっているのかについてお聞きします。それぞれ、ご自分の感じられていることに該当する項目がありましたら、お選び下さい。

Q 8. あなたはこの職場につとめることに満足していますか。

① 満足している	② まあ満足している	③ どちらともいえない	Q 8	<input type="checkbox"/>
④ あまり満足でない	⑤ 不満に思っている			

Q 9. あなたはこの職場の一員であることを誇りに思っていますか。

① 大いに誇りにしている	② まあ誇りに思う	③ どちらともいえない	Q 9	<input type="checkbox"/>
④ あまり誇りに思わない	⑤ まったく誇りに思わない			

Q 1 0. あなたはこの職場につとめてよかったと思いますか。

① たいへんよかったと思う	② まあよかったと思う	Q 1 0	<input type="checkbox"/>
③ どちらともいえない	④ あまりよかったとは思わない		
⑤ よくなかった			

Q 1 1. あなたはできれば今後もこの職場で働き続けたいと思いますか。

① ぜひ続けたい	② 続けてもよいと思う	③ どちらともいえない	Q 1 1	<input type="checkbox"/>
④ あまり続けたくない	⑤ やめたい			

Q 1 2. ところで、現在、あなたは職場の看護職（保健婦・助産婦・看護婦）仲間との人間関係に気まずさを感じていますか。

① まったくない	② あまりない	③ どちらともいえない	Q 1 2	<input type="checkbox"/>
④ 少しはある	⑤ ある	⑥ 他に看護職はいない		

Q 1 3. 現在、あなたは職場の他職種（他職種）の仲間との人間関係に気まずさを感じていますか。

① まったくない	② あまりない	③ どちらともいえない	Q 1 3	<input type="checkbox"/>
④ 少しはある	⑤ ある			

次は、あなたが、あなたの上司を日頃どのようにお感じになっているのかについてお聞きします。回答はすべて統計的に処理されますので、それぞれご自分の感じられていることに該当する項目がありましたら、遠慮なくお答え下さい。

Q 1 4. あなたの上司（課長格）は、あなたの日頃している仕事を支援してくれますか。

① たいへん支援してくれる	② 支援してくれる	③ どちらともいえない	Q 1 4	<input type="checkbox"/>
④ あまり支援してくれない	⑤ 支援してくれない			

Q15. あなたの上司（婦長格）はあなたのしている仕事を支援してくれますか。

- | | | |
|---------------|------------|---------------|
| ① たいへん支援してくれる | ② 支援してくれる | ③ どちらともいえない |
| ④ あまり支援してくれない | ⑤ 支援してくれない | ⑥ 上司(婦長格)はいない |

Q15

Q16. あなたは、あなたが考える「保健婦活動とは何か」について、今の所属勤務先の理事者や上級幹部に理解されていると思いますか。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| ① たいへん理解されている | ② まあまあ理解されている | ③ どちらでもない |
| ④ あまり理解されていない | ⑤ 理解されていない | |

Q16

Q17. あなたは、あなたがたの保健婦活動が今の所属勤務先の理事者や上級幹部に評価されていると思いますか。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| ① たいへん評価されている | ② まあまあ評価されている | ③ どちらでもない |
| ④ あまり評価されていない | ⑤ 評価されていない | |

Q17

【Q18は、保健所及び市町村国保の保健婦におたずねします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q19にお移り下さい。】

Q18. あなたは、県の看護係長、あるいは指導保健婦に話しやすさを感じますか。なお、保健所保健婦などは看護係長について、国保保健婦などは指導保健婦について、それぞれお答え下さい。

- | | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| ① たいへん話しやすい | ② 話しやすい | ③ どちらでもない |
| ④ あまり話しやすくない | ⑤ 話しやすくない | ⑥ 指導保健婦はいない |
| ⑦ 接する機会がないのでわからない | | |

Q18

ここで、あなたが日頃、保健婦等の仕事をどのようにお考えになっているかについて、おたずねします。それぞれ、ご自分の考えられていることに該当する項目がありましたら、お選び下さい。

Q19. あなたは、今のお仕事に満足していますか。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| ① 満足している | ② まあ満足している | ③ どちらともいえない |
| ④ あまり満足していない | ⑤ 不満である | |

Q19

Q20. あなたは、今の仕事に生きがいを感じていますか。

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| ① 大いに感じている | ② やや感じる | ③ どちらともいえない |
| ④ ほとんど感じていない | ⑤ まったく感じていない | |

Q20

Q21. あなたは、今の仕事に誇りを感じていますか。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ① 大へん誇りに思う | ② まあ誇りに思う | ③ どちらともいえない |
| ④ ほとんど誇りに思わない | ⑤ 全く誇りに思わない | |

Q21

Q22. 仕事は、あなたの思いどおりにいっている方ですか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① かなり思いどおりにいっている | ② まあまあ思いどおりにいっている |
| ③ どちらともいえない | ④ ほとんど思いどおりにいかない |
| ⑤ 全く思いどおりにいかない | |

Q22

Q23. あなたは、今後もこの仕事を続けようと思っていますか。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ① ぜひ続けたいと思う | ② 続けてよいと思う | ③ どちらともいえない |
| ④ あまり続けたくない | ⑤ やめたい | |

Q23

次に、日頃のあなたの地域活動が、人々によってどのように感じられているかについておたずねします。それぞれ、ご自分の感じられていることに該当する項目がありましたら、お選び下さい。

Q 2 4. あなたの活動は、地域住民に支持され、期待されていると思われませんか。

- | |
|-------------------------|
| ① たいへん支持され、期待されていると思う |
| ② まあまあ支持され、期待されていると思う |
| ③ どちらともいえない |
| ④ あまり支持され、期待されているとは思わない |
| ⑤ 支持されても、期待されてもいない |

Q 2 4

Q 2 5. あなたの活動は、部落会、婦人会などの地区組織の人々に支持され、期待されていると思われませんか。

- | |
|-------------------------|
| ① たいへん支持され、期待されていると思う |
| ② まあまあ支持され、期待されていると思う |
| ③ どちらともいえない |
| ④ あまり支持され、期待されているとは思わない |
| ⑤ 支持されても、期待されてもいない |

Q 2 5

Q 2 6. また、あなたの活動は、地域の医師らに評価されていると思われませんか。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① たいへん評価されている | ② まあまあ評価されている |
| ③ どちらともいえない | ④ あまり評価されていない |
| ⑤ 評価されていない | ⑥ 私の活動する地域に医師はまったくいない |

Q 2 6

Q 2 7. あなたの役割は、ホームヘルパーの方々に期待されていると思われませんか。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① たいへん期待されている | ② まあまあ期待されている |
| ③ どちらともいえない | ④ あまり期待されていない |
| ⑤ 期待されていない | ⑥ ホームヘルパーは身近にいない |

Q 2 7

Q 2 8. ところで、あなたはご自分を「地元の人」と思っていますか。

- | | | |
|-------|-------------|---------|
| ① は い | ② どちらともいえない | ③ い い え |
|-------|-------------|---------|

Q 2 8

ここで、あなたが地域で保健婦活動をするうえでの条件やその実情についておうかがいします。それぞれ該当するものをお答え下さい。

Q 2 9. あなたが担当しているすべての地区の人口はどのくらいですか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① ~2000人未満 | ② 2000人~3000人未満 |
| ③ 3000人~5000人未満 | ④ 5000人~10000人未満 |
| ⑤ 10000人~20000人未満 | ⑥ 20000人以上 |
| ⑦ 地区担当制はない | |

Q 2 9

【Q 2 9-SQは、島を担当されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q 3 0へお移り下さい。】

→ Q 2 9-SQ その中で、島の人口が占める割合は全部あわせると何%くらいになりますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 0% | ② 1~10%未満 | ③ 10~20%未満 |
| ④ 20~30%未満 | ⑤ 30~40%未満 | ⑥ 40~50%未満 |
| ⑦ 50~60%未満 | ⑧ 60~70%未満 | ⑨ 70~80%未満 |
| ⑩ 80~90%未満 | ⑪ 90~100% | |

Q 2 9
SQ

Q 3 0. あなたが担当しているすべての地区の面積はどのくらいですか。

- | | | |
|---------------------------|-----------------|---------------------------|
| ① ~30 ㎦未満 | ② 30 ㎦～ 50 ㎦未満 | ③ 50 ㎦～ 90 ㎦未満 |
| ④ 90 ㎦～100 ㎦未満 | ⑤ 100 ㎦～200 ㎦未満 | ⑥ 200 ㎦以上 |
| ⑦ 地区担当制はない | | |

Q30

Q 3 1. あなたの日頃勤務している場所（駐在所などを含む）から一番遠くの担当地区の中心地に行くまでの所要時間は、片道おおよそどのくらいですか。次の中から該当するものを、夏・冬別にお答え下さい。但し、地区担当制でない場合は、あなたが訪問されている一番遠い地区の中心地までをお答え下さい。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ① 10 分未満 | ② 10～30 分未満 | ③ 30～60 分未満 |
| ④ 60 分～2 時間未満 | ⑤ 2～5 時間未満 | ⑥ 5～10 時間未満 |
| ⑦ 10～20 時間未満 | ⑧ 20 時間以上 | |

Q31-1
夏
Q31-2
冬

Q 3 2. あなたの職場の管轄になっている無医地区は何ヶ所ありますか。

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| ① 0 ヶ所 | ② 1～4 ヶ所 | ③ 5～9 ヶ所 | ④ 10～14 ヶ所 |
| ⑤ 15～19 ヶ所 | ⑥ 20～29 ヶ所 | ⑦ 30 ヶ所以上 | |

Q32

Q 3 3. では、あなたの担当している無医地区は全部で何ヶ所ありますか。具体的な数字でお答え下さい。なければ、ヶ所とお答え下さい。

Q33 ヶ所

(秋田県)

【Q 3 4～3 5は、積雪地区（北海道、新潟県全域）を担当されている保健婦さんなどに、おうかがいします。島を担当されている方はQ 3 6へ、その他の方はQ 3 7へ、それぞれ該当しない回答欄は斜線をひいてお移り下さい。】

Q 3 4. あなたの担当地区では、積雪のため、予定の訪問ができなかったことがありますか。あれば、昭和51年～52年にかけての冬期について、おおよそ何回くらいありましたかを具体的な数字

Q34 回

でお答え下さい。なければ 回とお答え下さい。

Q 3 5. あなたの担当地区では、積雪のため車が入れない時でも訪問しなければならないことがありましたか。あるとすれば、それは次の中のどのような交通手段をとることが多いですか。多いものから2つお選び下さい。

- | | | | |
|------------|-----------|---------|---------|
| ① そんなことはない | ② そ り | ③ 雪 上 車 | ④ ス キ ー |
| ⑤ 徒 歩 | ⑥ その他 () | | |

Q35

【Q 3 6は、島を担当している保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひいて、Q 3 7へお移り下さい。】

Q 3 6. あなたの担当地区では、季節風などによって予定の訪問ができなかったり、予定どおりに帰れなかったことがありますか。あれば、昭和51年について、おおよそ何回くらいありましたか

Q36 回

具体的な数字でお答え下さい。なければ 回とお答え下さい。

Q 3 7. ところで、あなたの職場では、出張する際、旅費はほぼ全額支給（バス券などを含む）されますか。

- | | |
|-------|---------|
| ① は い | ② い い え |
|-------|---------|

Q37

Q 3 8. では、その出張の際、日当はつきますか。あなたの場合、日当は1回につきどのくらいでしょうか。

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| ① 日当はつかない | ② ~500円未満 | ③ 500円～1000円未満 |
| ④ 1000円～2000円未満 | ⑤ 2000円以上 | ⑥ その他 () |

Q38

Q39. あなたは、地域活動のために日頃自動車を 이용하는ことが多いですか。また、それは公用車を利用することが多いですか、あるいは自家用車を利用することが多いですか。次の中であなたに該当するものをお答え下さい。

- ① 公用車を利用することが多い
- ② 自家用車を利用することが多い
- ③ 自動車を利用することはあまりない

Q39

(Q39で、①と答えられた方におうかがいします。)

→Q39-SQ1. あなたは、ご自分の地域活動のために公用車をスムーズに使うことができますか。次の中で該当するものをお選び下さい。

- ① スムーズに使うことができる
- ② どちらかといえば、スムーズに使うことができる
- ③ スムーズには使うことができない

Q39
SQ1

(Q39で、②と答えられた方におうかがいします。)

→Q39-SQ2. 一定の手続きをした自家用車を用いたときの事故については、公用車なみの補償がみとめられていますか。

- ① 認められている
- ② 認められていない
- ③ その他

Q39
SQ2

→Q39-SQ3. また、燃料費は支給されていますか。

- ① はい
- ② いいえ

Q39
SQ3

(Q39-SQ3で、①と答えられた方におうかがいします。)

→Q39-SQ3-SSQ その支給基準はどのようなのですか、具体的にお書き下さい。

()

Q40. ところで、あなたの職場には、住民がしばしば訪れ身近に相談できる部屋は確保されていますか。

- ① はい
- ② いいえ

Q40

Q41. その他、地域で活動するうえでの条件について問題がありましたら、具体的にお書き下さい。

()

ここでは、あなたが日頃おこなっている業務についておうかがいします。それぞれ該当するものをお答え下さい。

Q42. あなたは、今の職場で昭和51年度（昭和51年4月～昭和52年3月）の訪問件数（延）はどれくらいですか。また、その間の訪問日数はどれだけですか。それぞれについて該当するものをお答え下さい。ただし、計算方法は職場の基準で結構です。（なお、当年途中、今の職場に赴任された方は、質問に該当しないので回答欄に斜線をひき、Q43へお移り下さい。）

延 件 数

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① 0件 | ② 1～50件未満 | ③ 50～100件未満 |
| ④ 100～200件未満 | ⑤ 200～300件未満 | ⑥ 300～500件未満 |
| ⑦ 500件以上 | | |

Q42-1
延 件 数

延 日 数

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ① 0日 | ② 1～20日未満 | ③ 20～30日未満 |
| ④ 30～50日未満 | ⑤ 50～70日未満 | ⑥ 70～90日未満 |
| ⑦ 90～110日未満 | ⑧ 110日以上 | |

Q42-2
延 日 数

【無医地区を担当されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q43へお移り下さい。】

→Q42-SQ それらの訪問件数のうち、無医地区内への訪問件数はだいたい何%になりますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 0% | ② 1～5%未満 | ③ 5～10%未満 |
| ④ 10～20%未満 | ⑤ 20～30%未満 | ⑥ 30～40%未満 |
| ⑦ 40～50%未満 | ⑧ 50～80%未満 | ⑨ 80～100% |

Q42-SQ

Q43. ここ数年間にあなたの訪問件数はふえつつありますか。それともへっていますか。該当者のみお答え下さい。

- | | |
|-----------|---------|
| ① ふえつつある | ② かわらない |
| ③ へってきている | |

Q43

（Q43で、③へってきているとお答えになった方におうかがいします。）

→Q43-SQ その理由は何ですか、具体的にお書き下さい。

Q44. 次に、あなたの昭和51年度（昭和51年4月～昭和52年3月）の所内の健康相談の回数は、全部で何回ぐらいですか。次の中で該当するものをお答え下さい。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| ① 0回 | ② 1～5回未満 | ③ 5～10回未満 |
| ④ 10～20回未満 | ⑤ 20～50回未満 | ⑥ 50回以上 |

Q44

Q 4 5. では、あなたの所外での健康相談はどのくらいなされていますか。同様にお答え下さい。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| ① 0回 | ② 1～5回未満 | ③ 5～10回未満 |
| ④ 10～20回未満 | ⑤ 20～50回未満 | ⑥ 50回以上 |

Q 4 5

【Q 4 5 - S Qは、無医地区を担当されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q 4 6へお移り下さい。】

→Q 4 5 - S Q それらの所外での健康相談のうち、無医地区については具体的にはどのような形でおこなわれていますか。お答え下さい。

()

Q 4 6. 同様にあなたが昭和 5 1 年度の衛生教育に参加したすべての回数について、次の中からお答え下さい。

- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| ① 0回 | ② 1～4回 | ③ 5～9回 | ④ 10～19回 |
| ⑤ 20～49回 | ⑥ 50回以上 | | |

Q 4 6

Q 4 7. あなたの全業務の中で、事務業務は何%ぐらいをしめますか。また、その主な内容について具体的にお答え下さい。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 0% | ② 1～10%未満 | ③ 10～20%未満 |
| ④ 20～30%未満 | ⑤ 30～40%未満 | ⑥ 40～50%未満 |
| ⑦ 50～70%未満 | ⑧ 70%以上 | |

Q 4 7

主な事務内容

()

Q 4 8. あなたの全業務の中で、予防接種業務は何%ぐらいをしめますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 0% | ② 1～10%未満 | ③ 10～20%未満 |
| ④ 20～30%未満 | ⑤ 30～40%未満 | ⑥ 40～50%未満 |
| ⑦ 50～70%未満 | ⑧ 70%以上 | |

Q 4 8

Q 4 9. あなたの全業務の中で、集団検診業務は何%ぐらいをしめますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 0% | ② 1～10%未満 | ③ 10～20%未満 |
| ④ 20～30%未満 | ⑤ 30～40%未満 | ⑥ 40～50%未満 |
| ⑦ 50～70%未満 | ⑧ 70%以上 | |

Q 4 9

次に、日頃の保健指導や救急看護などで、あなたが感じられていることについておうかがいします。それぞれ該当するものをお選び下さい。

Q 5 0. あなたの担当されている地域に適切な医療施設あるいは十分な巡回診療がないため、対象の受療問題や療養生活上の問題で、保健活動上悩まれることが多いですか。

① 大変多い ② 多 ③ 多くはない ④ な ⑤ い Q50

→ Q50-SQ (①、②と答えた方におうかがいします。) その代表的な事例を具体的にお書き下さい。

()

Q 5 1. あなたは日頃、働く地域に、リハビリ施設など中間施設がないことで、対象の生活、社会復帰でうまくゆかないと感じられるケースは多いですか。

① 大変多い ② 多 ③ 多くはない ④ な ⑤ い Q51

→ Q51-SQ (①、②と答えた方におうかがいします。) その代表的な事例を具体的にお書き下さい。

()

Q 5 2. あなたは、救急事故、急病人の発生で、どの程度の応急処置を求められた経験がありますか。次の中で該当するものをお選び下さい。

① 医療行為に近い応急処置を求められたことがある
② 救急看護程度の処置を求められたことはある
③ 応急処置を求められたことはない Q52

→ Q52-SQ (①と答えた方におうかがいします。) そのことで、あなたは住民、医師などの間でトラブル(あるいはそれに近いこと)を経験されたことがありますか。あればその具体的な内容をお書き下さい。

()

【Q53では、積雪地域（北海道、新潟県^{秋田県}全域）で活動されている保健婦さんなどにおうかがいします。島で活動されている方はQ54へ、それ以外の方はQ55へ、それぞれ該当しない回答欄には斜線をひいてお移り下さい。】

Q53. あなたは、吹雪や雪崩によって地区が孤立したために、急を要するケガ人、急病人の搬送に、ヘリコプターなどを要請するなど、部落外の支援を求めるようなケースに直接かかわったことがありますか。

① あ る ② な い

Q53

（①と答えた方におうかがいします。）

→Q53-SQ そのような事例を具体的にお書き下さい。またその際、搬送上問題に感じられたことがあれば、そのこともお書き下さい。いくつかある場合は、その代表的なものをお書き下さい。

()

【Q54では、島で活動されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひき、Q55にお移り下さい。】

Q54. あなたは、救急事故、急病人について島内では解決できずに、ヘリコプターなどを要請するなど、島外の支援を求めるようなケースに、直接かかわったことはありますか。

① しばしばある ② ときたまある ③ な い

Q54

（Q54で、①、②と答えた方におうかがいします。）

→Q54-SQ そのような事例の具体的な状況とそこでのあなたのかかわりについてお書き下さい。いくつかある場合には、その代表的なものをお書き下さい。

()

Q55. ところで、客観的にみて、あなたは地域住民の健康問題を考え、もっと保健婦業務を拡大・充実する必要があると思いますか。お答え下さい。

① あ る ② な い

Q55

（Q55で、①ある、と答えられた方におうかがいします。）

→Q55-SQ では、あなたはその保健婦業務を拡大・充実することができると思いますか。お答え下さい。

① できると思う
② できないと思う

Q55
SQ

（Q55-SQで、②と答えられた方におうかがいします。）

→Q55-SQ-SSQ それはなぜですか。次の中で最もあなたの考え方に近いものを一つお選び下さい。

- ① これ以上、保健婦業務を拡大する能力も自信もないので
② 保健婦の人員が不足しているので
③ 本来の保健婦活動以外の業務が多く負担なため、これ以上仕事を増せない
④ この職場で活動する意欲が湧かない
⑤ その他 ()

Q55
SQ
SSQ

Q 5 6. その他、業務上のことで悩まれていることがありましたら具体的にお書き下さい。

()

次に、研修会などの参加について、おうかがいします。それぞれについて該当するものをお答え下さい。

Q 5 7. あなたが出席したい研修会・学会などは、年に何回ぐらいありますか。回答欄にだいたいの回数をお答え下さい。但し、希望がない場合は、0とお答え下さい。以下も同様にして下さい。(51年度についてお答え下さい)

→ Q 5 7-SQ そのうち、あなたが実際に出席できた回数は、年に何回ですか、具体的な数字で、お答え下さい。

→ Q 5 7-SQ-SSQ1. では、その中で出張扱いになったのは何回で、その期間の一番長いものは何日でしょうか。また、一番短いもので何日でしょうか。

→ Q 5 7-SQ-SSQ2. また、出張旅費(宿泊を含め)が、ほぼ全額支給されたのは、年何回でしょうか。

Q 5 7 年 回

Q 5 7 SQ 年 回

Q 5 7-SQ SSQ1 出張扱い・年 回

一番長い期間 日

一番短い期間 日

Q 5 7-SQ SSQ2 年 回

Q 5 8. ところで、研修会は講演会形式ではなく、グループワークなど、参加者の業務姿勢の改善を目的としたものがありましたか。該当するものをお選び下さい。

① 何回かあった ② 1～2回あった ③ なかった

(Q 5 8で、①、②とお答えになった方におうかがいします。)

→ Q 5 8-SQ では、従来あなたはそのような研修会に、どのような気持ちで参加されていますか。次の中で該当するものがあれば、一つお選び下さい。

① 上司や同僚にすすめられたので参加した

② なんとなく参加した

③ おもしろそうなので参加した

④ 自分に機会がまわってきたので参加した

⑤ 自分の適切な業務姿勢をさぐるため参加した

⑥ その他 ()

Q 5 8 SQ

Q 5 9. 研修会・学会などの参加について、上司は理解のよい方ですか。

① よい方 ② あまりよくない ③ わるい

Q 5 9

Q 6 0. 参加した研修会・学会などは、あなたにとって、どのように役に立ちましたか。次の中で該当するものがあれば、すべてお選び下さい。

① 知識や技術の向上 ② 仕事への意欲向上

③ 業務姿勢の改善 ④ 看護観・人間観がかわった

⑤ 役にたたなかった ⑥ その他 ()

Q 6 0

また、事例検討会などへの参加についておうかがいします。

Q 6 1. あなたは、日頃、事例検討会などによって、自分の業務をより客観的に反省してみる機会をもっていますか。該当するものをお選び下さい。

① 月に何回かもっている	② 月に1、2回もっている	Q 6 1 <input type="checkbox"/>
③ 年に数回ぐらいはもっている	④ あまりもっていない	

Q 6 2. あなたは、日頃の業務について相談にのってくれる相手がありますか。該当するものをお答え下さい。

① い る	② 多少相談にのってくれる人はいる	③ い な い	Q 6 2 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	---------	--------------------------------

Q 6 3. あなたは、あなたの職場と同じようなところや関連している職場を訪れる機会がしばしばありますか。年間についてお答え下さい。

① しばしばある	② 少しはある	③ な い	Q 6 3 <input type="checkbox"/>
----------	---------	-------	--------------------------------

次に、あなたの職場での勤務、生活条件などについておうかがいします。それぞれについて該当するものをお答え下さい。

Q 6 4. まず、給与についてですが、あなたは手取りで月いくら支給されていますか。

① ~ 59,999円	② 6万~ 79,999円	③ 8万~ 99,999円	Q 6 4 <input type="checkbox"/>
④ 10万~119,999円	⑤ 12万~139,999円	⑥ 14万~159,999円	
⑦ 16万~179,999円	⑧ 18万~199,999円	⑨ 20万~219,999円	
⑩ 22万以上			

→Q 6 4-SQ それはあなたの生活に支障ない額ですか。

① そういえる	② まあそういえる	③ そうはいえない	Q 6 4-SQ <input type="checkbox"/>
---------	-----------	-----------	-----------------------------------

Q 6 5. あなたは現在、退職勧奨や定年の時期のことで悩み、不安がありますか。

① あ る	② な い	Q 6 5 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--------------------------------

→Q 6 5-SQ では、あなたの職場では、保健婦の場合、定年などで退職する時期は何才くらいですか。

① 34才以下	② 35~44才	③ 45~49才	④ 50~54才	Q 6 5-SQ <input type="checkbox"/>
⑤ 55~59才	⑥ 60~64才	⑦ 65才以上	⑧ 結婚時	
⑨ 妊娠・出産時	⑩ 不定・その他			

Q 6 6. ところで、あなたの勤務している今の職場は、あなたが望んでいたところですか。

① あ い	② い い え	Q 6 6 <input type="checkbox"/>
-----------------------------	---------	--------------------------------

Q 6 7. では、あなたは昇格上のことで不満をもっていますか。

① たいへん不満	② やや不満	③ どちらともいえない	Q 6 7 <input type="checkbox"/>
④ 不満はもっていない			

Q 6 8. また、あなたは配置転換（昇格は含まない）上のことで不満をもっていますか。

① たいへん不満	② やや不満	③ どちらともいえない	Q 6 8 <input type="checkbox"/>
④ 不満はもっていない	⑤ 配置転換されることはない		

Q 6 9. あなたの今住んでいる地域は、生活の不便さを感じる場所ですか。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| ① 強く感じる | ② やや感じる | ③ あまり感じない |
| ④ 感じない | | |

Q 6 9

(Q 6 9で、①、②、③と答えられた方におたずねします。)

→Q 6 9-SQ それ、具体的にどのようなことですか。

Q 7 0. 公舎供与についておうかがいします。あなたには供与されていますか。

- | |
|---------|
| ① は い |
| ② い い え |

Q 7 0

(Q 7 0で、②いいえと答えられた方におたずねします。)

→Q 7 0-SQ1. あなたは、そのことで困られていますか。

- | | |
|-------|---------|
| ① は い | ② い い え |
|-------|---------|

Q 7 0
SQ1

(Q 7 0で、①はいと答えられた方におたずねします。)

→Q 7 0-SQ2. その公舎(あるいはそれに類する宿舎)では、生活上必要なものは確保されていますか。現在、次の中で必要と思われるもので確保されていないものがあれば、すべてお答え下さい。

Q 7 0-SQ2

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| ① 整理ダンス | ② 風 呂 | ③ 洗 濯 機 |
| ④ テ レ ビ | ⑤ ラ ジ オ | ⑥ 冷 蔵 庫 |
| ⑦ 暖 房 器 具 | ⑧ 机 | ⑨ 鍵のかかる私室 |
| ⑩ その他 () | | |

最近3年間(昭和49年4月以来)に仕事を続けながら妊娠、又は出産を経験された方にうかがいます。それ以外の方は回答欄に斜線をひいて、Q 7 4に進んで下さい。

Q 7 1. 産前・産後の休暇は何日ずつとりましたか。別々に該当するものを選んでお答え下さい。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ① 13日以下 | ② 14~27日 | ③ 28~41日 | ④ 42~55日 |
| ⑤ 56~69日 | ⑥ 70~83日 | ⑦ 84日以上 | |

Q 7 1

産前	
産後	

Q 7 2. 産前・産後休暇期間の給与は全額支払われましたか。全額でない場合は、何割位支払われたかを、別々にお答え下さい。

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| ① 全 額 | ② ふだんの80%以上 | ③ 79%~60% |
| ④ 59%~40% | ⑤ 39%以下 | ⑥ 無 給 |

Q 7 2

産前	
産後	

Q73. 現在の職場では育児休業制（休暇制）が認められていますか。該当するものを選んで正確にお答え下さい。また、その期間は何ヶ月までとれますか。

① 育児休業制はない	③ 2ヶ月以上4ヶ月未満	④ 4ヶ月以上6ヶ月未満	Q73 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
② ある 2ヶ月未満	⑥ 8ヶ月以上1年未満	⑦ 1年以上	

（Q73で、②～⑦を答えた人におうかがいします。）

→Q73-SQ そのうち有給の期間がありますか。ある場合はその割合もお答え下さい。

① 有給の期間はない（無給）	② 有給の期間あり、全額支給	Q73 SQ <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
③ 75%以上支給	④ 50%以上75%未満支給	
⑤ 50%未満支給		

Q74. 日頃、あなたの身体の調子はどうですか。次のうち該当するものがあればお選び下さい。

① いつも具合が悪い	② しばしば具合が悪いことがある	Q74 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
③ どちらともいえない	④ まあ調子がいい方	
⑤ 調子がよい		

Q75. その他、勤務条件・生活条件などのことで不満や悩みがあれば、具体的にお書き下さい。

最後に、あなたやご家族の生活のことについておたずねします。それぞれについて該当するものをお答え下さい。

Q76. まず最初に、あなたの配偶関係についておたずねします。次の中に該当する数字があれば回答欄にご記入下さい。

① 既 婚 有 夫	Q76 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
② 既 婚 離 別、死 別	
③ 未 婚	

（Q76で、①、②と答えた既婚の方におたずねします。）

→Q76-SQ1. ご家族とは同居されていますか。

① 同 居	Q76 SQ1 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>
② 別 居	
③ その他 ()	

→Q76-SQ1-SSQ よろしければ、その理由をお書き下さい。

↓ SQ2へ
↓ SQ5へ

(Q76で、①、②と答えた既婚の方におたずねします。)

→Q76-SQ2. あなたはお子さんをおもちでしょうか。

- | | |
|-----|-----|
| ① 有 | ② 無 |
|-----|-----|

Q76
SQ2

(お子さんのある方におたずねします。)

→Q76-SQ2-SSQ 仕事をしていて、お子さんのことで悩まれていることがおありですか。次の中で該当するものがあればすべてお答え下さい。

- | |
|---------------------------------|
| ① 乳幼児がいて、現在悩んでいることがある |
| ② 病弱児(者)がいて、現在悩んでいることがある |
| ③ 進学をひかえた就学児(者)がいて、現在悩んでいることがある |
| ④ 心身障害児(者)がいて、現在悩んでいることがある |
| ⑤ 悩んでいることはない |
| ⑥ その他() |

Q76
SQ2
SSQ

→Q76-SQ2-SSQ-SSSQ よろしければ、具体的にその内容をお書き下さい。

()

(Q76で、①と答えた御主人のある方におたずねします。)

→Q76-SQ3. 御主人のお仕事は何ですか。次の中からお選び下さい。 → 記入の手びき(2) 参照

- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| ① 農林漁業 | ② 自営業 | ③ 専門技術職 | ④ 管理職 |
| ⑤ 大企業事務 | ⑥ 中小企業事務 | ⑦ 大企業労務 | ⑧ 中小企業労務 |
| ⑨ 単純労働 | ⑩ その他、無職 | | |

Q76
SQ3

(Q76で、①と答えた御主人のある方におたずねします。)

→Q76-SQ4. 御主人は身体の丈夫な方ですか、それとも病気がちな方ですか。

- | |
|-----------|
| ① 身体は丈夫な方 |
| ② 病気がちな方 |
| ③ どちらでもない |

Q76
SQ4

(Q76-SQ4で、②病気がちな方と答えた方におたずねします。)

→Q76-SQ4-SSQ 御主人が病気がちなことで、なにかお悩みのことがありますか、よろしければ、具体的にお書き下さい。

()

【Q76で、③未婚と答えられた方で、島や山間豪雪地などの地域に勤務されている保健婦さんなどにおうかがいします。それ以外の方は回答欄に斜線をひいて、Q77へお移り下さい。】

→ Q76-SQ5. 「島や山間豪雪地などの地域では、適当な交際相手がみつからなく結婚困難」ということを聞きますが、あなたの場合そんなことがありますか。次の中であなたの考え方に最も近いものを1つお選び下さい。

- ① そのとおりで、内心悩んでいるがやむをえないと思う
- ② そのとおりで、職場をかえようかと思っている
- ③ そのとおりで、いずれ保健婦をやめようかと思っている
- ④ そんなことはない
- ⑤ 結婚しようと思わないから、関係ない
- ⑥ その他 ()

Q76
SQ5

Q77. あなたのご家族には自分や配偶者の親がいますか。

- ① 自分の親がいる
- ② 配偶者の親がいる
- ③ 両方の親がいる
- ④ 両方ともいない

Q77

→ Q77-SQ では、親がいること、あるいはいないことが、仕事を続ける上であなたの悩みになっていますか。

- ① なっている
- ② なっていない

Q77
SQ

→ Q77-SQ-SSQ 具体的にお教え下さい。

()

Q78. お宅では、家事の分担は、どのようになさっていますか。次のうち、該当するものをお答え下さい。

- ① 家事はすべて私がやっている
- ② 家事は私がするが、ほかにも手伝ってくれる人がいる
- ③ 私は家事を部分的にひきうけている
- ④ 家事はすべて私以外のものがやっている

Q78

(Q78で、③と答えられた方に、おたずねします。)

→ Q78-SQ1. それはどのような家事ですか。次のうち該当するものを、すべてお答え下さい。

- ① 献立決定
- ② 炊事
- ③ 買物
- ④ 洗濯
- ⑤ 裁縫
- ⑥ 掃除
- ⑦ 子どもの養育
- ⑧ 雪ふみ・除雪
- ⑨ その他 ()

Q78-SQ1

(Q78で、④と答えられた方に、おたずねします。)

→ Q78-SQ2. 家事をやっているのは、主にどなたですか。該当するものを、1つお答えください。

- ① 夫
- ② 子ども
- ③ 嫁
- ④ 家政婦
- ⑤ 兄弟姉妹
- ⑥ 配偶者の親
- ⑦ 自分の親
- ⑧ その他 ()

Q78
SQ2

Q79. ところで、家族（同居、別居の区別なく）は、あなたのお仕事に協力的な方ですか。次の中から、該当するものを、お答え下さい。

- ① 家族はいない ② 大変協力的である ③ まあまあ協力的な方
④ 協力的ではない

Q79

（Q79で、④と答えた方に、おたずねします。）

→Q79-SQ そのことで、悩んでおられることがあれば、具体的にお教え下さい。

()

——— どうも、長い間、調査にご協力ありがとうございました。 ———